Printia LASER

B5WY-1491-01

Printia LASER XLシリーズ

ハードウェアガイド

ページプリンタ　XL-9320

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」（→ P.9）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラス 1」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

クラス1レーザ製品

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因になることがあります。
表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。

矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品の粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の拡散については、エコマーク No.122「プリンタ version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
トナーは本製品にて推奨しておりますプロセスカートリッジを使用し、印刷を行った場合について、試験方法 : RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しております。
推奨プロセスカートリッジについては、「サプライ品一覧」（→ P.203）をご覧ください。

梱包物の確認とプリンタの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンタの設置、および動作確認が済んでいない場合は、添付の『設置ガイド』をご覧になり、プリンタを使用するための準備を行ってください。

第 1 章 お使いになる前に

本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1

第 2 章 プリンタを設置・接続する

本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

2

第 3 章 オプションを取り付ける

本製品のオプションであるプリンタ RAM モジュール、両面ユニット、拡張給紙ユニットの取り付け方法を説明します。

3

第 4 章 日常の操作

本製品を使って印刷するときに必要となる、用紙のセットやプロセスカートリッジの交換、プリンタ本体の清掃など、日常的な操作について説明します。

4

第 5 章 オペレータパネルの操作

液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

5

第 6 章 使用できる用紙と保管方法

本製品で使用できる用紙、使用できない用紙、用紙保管上のご注意について説明します。

6

第 7 章 こんなときには

故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

7

第 8 章 付録

本製品を使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

8

目次

このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください

プリンタドライバのインストール方法など、このマニュアル以外の情報については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。添付の◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」画面で、「画面で見るマニュアル」をクリックすると次の画面が表示されます。

「XL-9320」を選択後、ご覧になりたいマニュアル名をクリックすると、マニュアルが表示されます。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をよくお読みになったうえで本製品を正しくお使いください。

製品寿命（耐用期間）について

本製品の耐用期間（寿命）は、次のいずれか早いほうです。

・60 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（□ LEF））
　「LEF」については、「用紙をセットする向きについて」（→ P.62）をご覧ください。
・5 年（8 時間 / 日）

詳しくは、「本体仕様」（→ P.194）をご覧ください。

重要

- **耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。**
- **A4 LEF より長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。**

サプライ品（消耗品）について

プロセスカートリッジや用紙などは、本製品専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
詳しくは、「サプライ品一覧」（→ P.203）をご覧ください。

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。

表：定期交換部品の交換時期の目安

定期交換部品	交換時期の目安
定着器	10 万ページ印刷ごとを目安に「定期交換キット（テイキコウカンキット）」で交換
用紙搬送ロールキット （給紙トレイ・給紙カセット用）	
転写ロール	

［注］上記は、A4 サイズ横送り（□LEF）／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。
A4 LEF より長い用紙を使用した場合、寿命は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本製品に関するお問い合わせをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンをお聞きする場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法については、「ソフトウェアガイド」の「第 5 章　プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

冷却ファンについて

冷却ファンは、機内冷却のため回転したままになることがあります。冷却ファン回転中は、電源を切らないでください。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

表：安全にお使いいただくための絵記号

記号	内容
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

表：危害や損害の内容を示す絵記号

記号	内容
⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
●	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

表：本文中で使用する記号

記号	内容
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。起動方法は、「このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください」（→ P.5）をご覧ください。
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

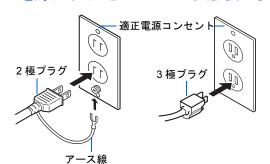
このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

表：製品名称の表記

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">このマニュアルでの表記</th></tr>
<tr><td>Windows® 7 Ultimate（64 ビット版／ 32 ビット版）</td><td rowspan="5" colspan="2">7</td><td rowspan="24">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Enterprise（64 ビット版／ 32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Professional（64 ビット版／ 32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Home Premium（64 ビット版／ 32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Starter</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard</td><td rowspan="2">2008 R2</td><td rowspan="6">2008</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Standard（64-bit/32-bit）</td><td rowspan="4">2008
（R2 以外）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™（64-bit/32-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise（64-bit/32-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™（64-bit/32-bit）</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Ultimate（64 ビット版／ 32 ビット版）</td><td rowspan="5" colspan="2">Vista</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Enterprise（64 ビット版／ 32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Business（64 ビット版／ 32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Premium（64 ビット版／ 32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Basic（64 ビット版／ 32 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition</td><td rowspan="8" colspan="2">2003</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition</td></tr>
</table>

表：製品名称の表記

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows® XP Professional x64 Edition	XP	Windows
Windows® XP Professional		
Windows® XP Home Edition		
Microsoft® Windows® 2000 Professional	2000	
Microsoft® Windows® 2000 Server		

電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品には、「平行 2 極プラグ」「3 極プラグ」の 2 本の電源プラグを添付しています。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。お使いのコンセントの形状に合わせて使用してください。
必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に、火災や感電の原因となります。

搭載ソフトウェアの IPv6 対応について

本製品は、IPv6 Ready Logo Phase-2 テストに合格しています。

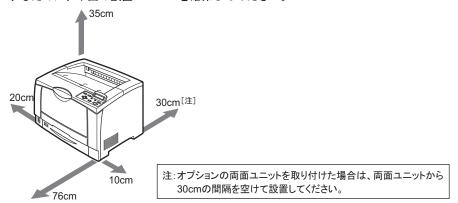
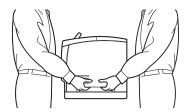
安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

警告

・次の場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
火気のある場所
ストーブやヒーター等の発熱器具に近い場所、高温になる場所
アルコール、シンナー、ガソリン等の揮発性可燃物やカーテン等の燃えやすい物に近い場所
風呂場、シャワー室等の水場、水気のある場所
・プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。
花瓶、植木鉢、コップ等の水や液体の入った容器
クリップ、アクセサリー等の金属物

⚠注意

・プリンタの吸気口、および排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

・本製品は、オプションや消耗品、用紙がない状態で約 20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。
くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動する際は足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。

・プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
本製品は本体のみで約 20kg、最大で約 57kg（フルオプション、消耗品含む）の重さがあります。

・次の場所には設置しないでください。火災や感電、けが、または故障の原因になります。
湿気・ほこり・油煙の多い場所
通気性の悪い場所
直射日光の当たる場所
振動の激しい場所や傾いた場所等の不安定な場所
温泉地など、硫黄の影響を受ける場所

・プリンタの上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。
・プリンタを移動する場合は、10°以上傾けないでください。
転倒などによりけがの原因になることがあります。

・プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブル等も外してください。作業中は、足元に充分注意してください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本製品が倒れたりしてけがの原因になることがあります。

・給紙カセットを伸ばした状態 (A3 用紙などをセットした状態) で、プリンタの前後を持って移動しないでください。
落下によるけがの原因となったり、カセットが破損するおそれがあります。

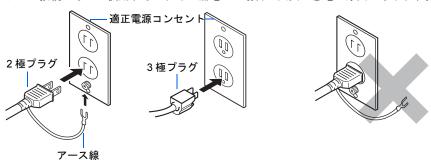
電源に関するご注意

- 添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは、交流 100V、15A 以上のコンセント以外には差し込まないでください。本製品の定格電源は 100V、11A です。また、タコ足配線はしないでください。
火災や感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- 延長コードは、定格（125V、15A）未満の物は使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
- 矩形波が出力される機器に接続しないでください。
火災の原因になります。

- 電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると火災の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
ほこりが付いたりして、火災や故障の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

- 次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。
ガス管（引火や爆発の危険があります。）
電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
水道管や蛇口（配管の途中がプラスチック等になっている場合は、アースの役目を果たしません。）

- 電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。
電源コンセントのアース線端子
銅片等を 650 ㎜以上地中に埋めたもの
D 種（旧：第 3 種）接地工事を行っている接地端子
- アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。

⚠警告

・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因になります。

・近くで落雷が起きたときは､電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

⚠注意

・プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因になることがあります。

・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。

・1ヶ月に一度は、次のようなことを点検してください。
電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
電源プラグに異常な発熱および錆、変形などはありませんか？
電源プラグやコンセントにほこりが付いていませんか？
電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか？
アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？
なお異常があるときは､「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。

・長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。

・プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

 警告

・プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
・吸気口や排気口などの開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因になります。
・カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
・プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

・次のようなときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき
その後「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

・プリンタ、オプション品、サプライ品（プロセスカートリッジなど）を分解したり改造したりしないでください。このマニュアルで指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になったり、レーザ光漏れにより失明するおそれがあります。

・プロセスカートリッジを火中に投じないでください。
トナー粉が跳ねてやけどの原因になります。使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。
詳しくは、「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（→ P.210）をご覧ください。

注意

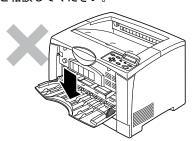
・「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。

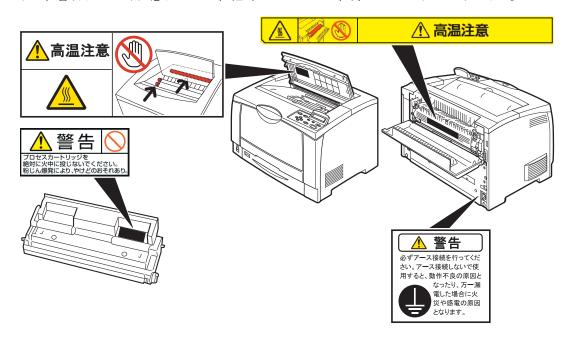
・詰まった用紙を取り除くときは次の点に注意してください。
このマニュアル内の「紙詰まりになったとき」（→ P.144）をよくお読みください。
ネクタイやネックレス等を身に着けている場合は、プリンタ内部に巻き込まれないように、外してから操作してください。
鋭利部に触れないよう注意してください。
プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災などの原因になることがあります。
定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでただちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。

・使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。
・プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因になることがあります。
・プロセスカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
・換気の悪い部屋で長時間ご使用になる場合や、大量印刷する場合は、充分な換気を行ってください。

・用紙排出部のローラが作動しているときは作動部には触れないでください。
指をはさみ、けがをする原因になることがあります。

・トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。
万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。
万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

・給紙トレイのカバーに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せたりしないでください。カバーの破損の原因になります。また、カバーが破損した場合、落下によるけがの原因となるおそれがあります。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。
なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。
ウイングアーク テクノロジーズ、SVF、Super Visual Formade、RDE、Report Director Enterprise は、ウイングアーク テクノロジーズ株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
ESC/P、ESC/Page は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

第 1 章

お使いになる前に

この章では、本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1　本製品の特長

本製品の特長は次のとおりです。

■省エネの実現

スリープモードの採用により、待機時消費電力 0.9W を実現しています。

■高速で高品位な印刷

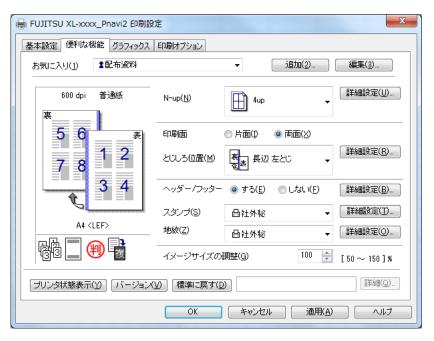
最大 32 ページ / 分の高速での印刷が可能です。また、1200dpi の高解像度で印刷できます。

■3 つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応）の 3 つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

■高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

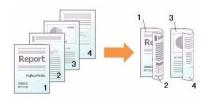
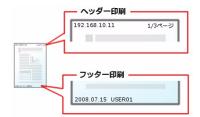
・拡大／縮小印刷
　印刷する用紙サイズに合わせてデータを拡大または縮小して印刷します。

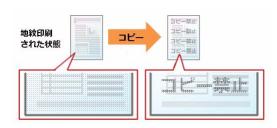
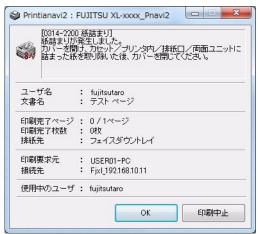
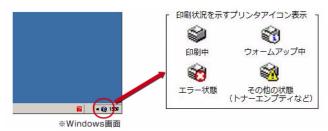
・部単位印刷
　2 部以上印刷をする際に部単位で印刷します。

・お気に入りの設定

よく使うドライバの設定を「お気に入り」として登録できます。
登録した設定は 1 クリックで呼び出すことができます。

・N-up 印刷

印刷データを 1 枚に印刷できます。

・両面印刷（オプション）

・ヘッダー／フッター印刷

- スタンプ印刷

- 地紋印刷

- プリンタ管理ソフト「Printianavi2」

双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を利用することで Printia LASER XL シリーズプリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などの統合的な管理をパソコンで行うことができます。

- ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

詳しくは、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■さまざまな用紙サイズに対応

- 給紙トレイ（標準）を使用することで、簡単に用紙サイズを変更できます。
- 定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、ユーザ定義サイズ（長尺紙を含む）、厚紙（91g/ ㎡～ 216g/ ㎡）といった、さまざまな種類の用紙へ印刷することも可能です。

■便利な機能

・給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です（定形サイズ印刷時のみ）。
・給紙カセットからのユーザ定義サイズ（長尺紙除く）の用紙への印刷が可能です。

■優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。
・両面ユニットを取り付けることにより、用紙の両面に印刷することができます。
・拡張給紙ユニットを 2 段まで取り付けることができ、給紙トレイを合わせると最大 1550 枚の用紙をセットすることができます。

■次世代通信プロトコル IPv6 に対応

本製品に割り当てられた IPv6 アドレスや、設定したホスト名を用いることによって、対応アプリケーションから IPv6 通信で印刷できます（7/2008/Vista）。詳しくは、「IPv6 アドレスの場合」（→ P.124）をご覧ください。

■セキュリティ機能の充実

ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザーがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなど、セキュリティ面でも優れた機能をもっています。

■E メール送信機能

消耗品や定期交換部品の交換要求やハードエラーが発生したときに、設定した E メールアドレスに、E メールを送信してお知らせします。E メールの送信先は 3 つまで設定できます。

■ユーザビリティへの配慮

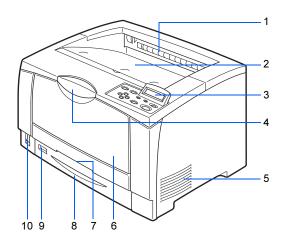
用紙搬送経路に透明な部材を使用しているため、紙詰まりが発生したときに、詰まった用紙をみつけやすくなっています。

■SVF 帳票基盤ソリューションと連携

ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時は、プリンタの「機種」を「EPSON ESC/Page」にすることで、本製品への印刷が可能です。

2 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能は、次のとおりです。

前面

1 排紙口

印刷された用紙が、おもて面を下にして排出されます。

2 排紙トレイ（上部カバー）

排紙口から排出された用紙が、おもて面を下にして積み重なっていきます。

3 オペレータパネル

操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。
「オペレータパネルの操作」（→ P.103）をご覧ください。

4 排紙延長トレイ

A4 サイズより大きな用紙を印刷するときに引き出します。

5 吸気口

プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込みます。吸気口をふさがないでください。

6 給紙トレイ

はがき～ A3 サイズの用紙（普通紙）を 200 枚までセットします。

7 給紙トレイ引き抜き用取っ手

閉じた状態の給紙トレイを、引き抜くときに使用します。

8 給紙カセット

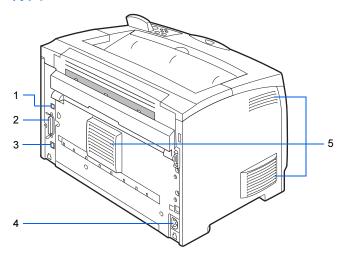
A5 ～ A3 サイズの用紙（普通紙）を 250 枚までセットします。

9 用紙サイズカード

セットした用紙のサイズに合わせて、差し替えます。

10 電源スイッチ

電源を入／切します。

背面

1 USB ケーブルコネクタ

プリンタとパソコンをプリンタ USB ケーブルで接続するためのコネクタです。

2 パラレルケーブルコネクタ

プリンタとパソコンをパラレルケーブルで接続するためのコネクタです。

3 LAN ケーブルコネクタ

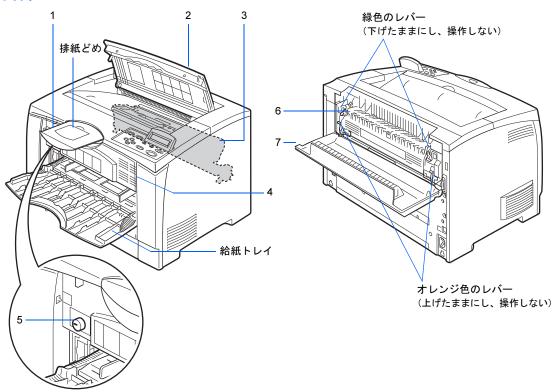
プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。

4 電源コードコネクタ

電源コードを差し込むコネクタです。

5 排気口

プリンタ内部の熱を排気します。排気口をふさがないでください。

内部

1 排紙延長トレイ

A4 サイズより大きな用紙に印刷する場合に引き出します。排出された用紙が落ちないよう、排紙どめを立てて使用してください。

2 上部カバー（排紙トレイ）

プロセスカートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開きます。

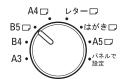
3 プロセスカートリッジ

感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。

4 吸気口

プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込みます。吸気口をふさがないでください。
なお、給紙トレイを閉じて使用しても問題ありません。

5 給紙トレイダイヤル

給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定するダイヤルです。

「パネルで設定」の位置に設定すると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。

6 定着器

用紙にトナーを定着させる機構です。プリンタ使用時は、高温になっているので手を触れないように注意してください。

重要

- 定着器左右の緑色のレバーは操作せず、下げた状態で使用してください。
- 定着器左右下部のオレンジ色のレバーは定着器を固定するものです。通常は操作せず、上げたままの状態で使用してください。

7 背面カバー

詰まった用紙を取り除くときに開きます。

第 2 章

プリンタを設置・接続する

この章では、本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

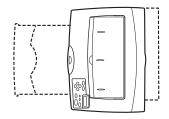
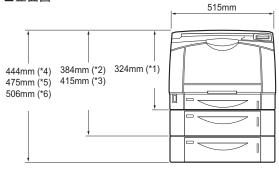
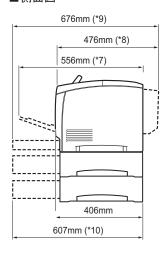
1 設置時の注意事項

本製品を設置し、単体で動作確認する手順については、『設置ガイド』をご覧ください。ここでは、設置時に注意していただきたいことや、補足情報を記載します。

本製品のサイズ

本製品のサイズは次のとおりです。設置時のスペース確認にご利用ください。
また、設置スペースについては、「安全上のご注意」(→ P.9)をご覧ください。

■上面図

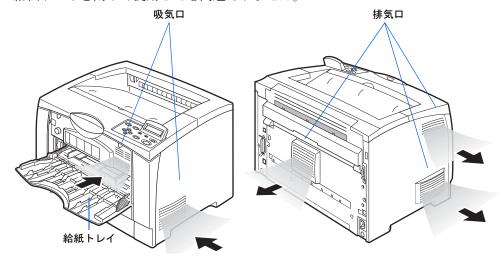
■側面図

■正面図

*1 : 標準構成時
*2 : 拡張給紙ユニットA(250枚)を1段搭載時
*3 : 拡張給紙ユニットB(550枚)を1段搭載時
*4 : 拡張給紙ユニットA(250枚)を2段搭載時
*5 : 拡張給紙ユニットA(250枚)と拡張給紙ユニットB(550枚)を搭載時
*6 : 拡張給紙ユニットB(550枚)を2段搭載時
*7 : 給紙トレイを開いて使用したとき
*8 : 両面ユニットを搭載時
*9 : 給紙カセットを延長、両面ユニットを搭載時
*10: 給紙カセットを延長時

設置～動作確認までの注意事項

設置時

安全に快適に本製品をご利用いただくために、「安全上のご注意」（→ P.9）と共に、次の点に注意して設置してください。

・ご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
  温度：10 ～ 32 ℃、湿度：15 ～ 85%RH
  また、いつも良い状態でご使用いただける温度・湿度（推奨温度／推奨湿度）は、温度：18 ～ 27 ℃、湿度：20 ～ 65%RH です。
  温度 32 ℃のときは湿度 70%RH 以下、湿度が 85%RH 前後のときは温度 28 ℃以下でご使用ください（ただし、結露しないこと）。
  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
・サーバー接続などにより本製品の 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
  また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
・本製品を前後左右に 5°以上傾けないでください。
  トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
・本製品は凹凸のない、平らな場所に設置してください。
  斜行などにより印字ずれが大きくなったり、故障の原因となったりします。
・ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなどの電波や磁気による障害が発生し、原因が本製品であると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
・化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
・プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。

・本製品の右側面および前面内部には吸気口、左側面および背面には排気口があります。吸気口、排気口をふさがないよう、壁から充分離して設置してください。設置スペースについては、「安全上のご注意」（→ P.9）をご覧ください。なお、装置前面の吸気口は、給紙トレイを閉じて使用しても問題ありません。

・本製品を設置する台は、本製品の底面全体が充分載る大きさのものを準備してください。
・移転など、本製品を今後運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

重要

超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器を使用するときに水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出されて本製品の内部に付着し、画像不良の原因となります。使用時は、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

プロセスカートリッジ取り付け時

⚠注意

・プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となるおそれがあります。

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
・直射日光や強い光に当てないでください。
・プロセスカートリッジの取り付け作業は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。
・感光体（ドラム）の表面には絶対に手を触れないでください。
・トナーシールは水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

電源コード接続時・電源投入時

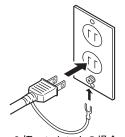
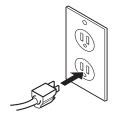
 警告

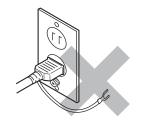
・電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「O」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

・電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。
電源コンセントのアース線端子
銅片等を 650 ㎜以上地中に埋めたもの
D 種（旧：第 3 種）接地工事を行っている接地端子

・危険ですので、次の箇所にアース線を接続しないでください。
ガス管（引火や爆発の危険があります。）
電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）

・プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

本製品の電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

2 極コンセントの場合

3 極コンセントの場合

アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

2 パソコンやネットワークに接続する

本製品をパソコンやネットワークに接続する方法を説明します。お使いの環境に合わせて接続方法を選択してください。

POINT

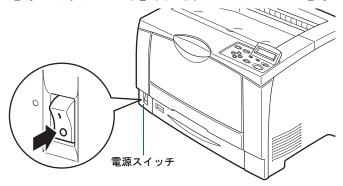
・接続、運用形態は、次の基準を目安に選択してください。
　・LAN ケーブルで接続
　　プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
　・パラレルケーブル／プリンタ USB ケーブルで接続
　　1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。より速く印刷したい場合は、プリンタ USB ケーブルによる接続をお勧めします。
・サーバー経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
・本製品は、パラレル／ USB ／ LAN ケーブルを同時に接続できます。
　接続時は、「複数のポートに同時接続するときの注意事項」（→ P.34）もあわせてご覧ください。

LAN ケーブル接続の場合

本製品をネットワーク経由で接続するときは、ハブユニットとツイストペアケーブルで接続します。通信速度に応じた適切なケーブルを選択してください。

表：利用できる LAN ケーブル

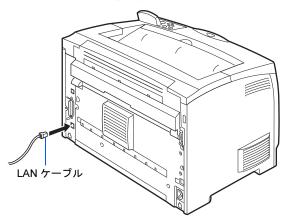
通信速度	利用できる LAN ケーブル
1000Base-T	エンハンスドカテゴリー 5 以上に対応したツイストペアケーブル
100Base-TX	カテゴリー 5 以上に対応したツイストペアケーブル
10Base-T	カテゴリー 3 以上に対応したツイストペアケーブル

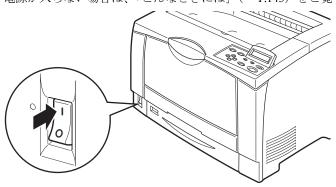
また、「LAN 接続時の注意事項」（→ P.34）もあわせてお読みください。

1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切ります。

重要

・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）をご覧ください。
・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。

2 LAN ケーブルを背面の LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

ハブユニット側の接続は、ハブユニットのマニュアルをご覧ください。

3 電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れます。

電源が入らない場合は、「こんなときには」（→ P.143）をご覧ください。

この後は、「ソフトウェアガイド」の「第 2 章 ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

POINT

・LAN ケーブルで接続した場合は、本製品に IP アドレスを設定する必要があります。
・IPv4 アドレスは、「Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されている「IP アドレス設定ユーティリティ 2」から設定するか、オペレータパネルから直接設定することができます。「IP アドレス設定ユーティリティ 2」については「ソフトウェアガイド」を、オペレータパネルの操作方法については「オペレータパネルの操作」（→ P.103）をご覧ください。

・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。
オペレータパネルの LED 表示がすべて消灯したことを確認してから、再度電源を入れてください。
・IPv6 アドレスは、「リンクローカルアドレス」「グローバルアドレス」の 2 種類の IPv6 アドレスの設定ができます。また、手動で IPv6 アドレスを設定する方法があります。IPv6 アドレスの設定方法については「IPv6 アドレスの場合」（→ P.124）をご覧ください。

LAN 接続時の注意事項

・LAN ケーブルをハブユニットに接続しても、ハブユニット側や本製品のリンクランプが点灯せず、ネットワークサーバーなどに接続できなかったり、印刷速度が低下したりすることがあります。
このようなときは、プリンタの Ethernet タイプの設定を変更してください。本製品では Ethernet タイプとして「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選択できます（本製品の「10Mbps」は「10Mbps Half」を意味します）。本製品のオペレータパネルのメニューモードで、「ショキ セッテイ」→「LAN セッテイ」→「Ethernet タイプ」を選択し、値を変更してください。オペレータパネルの操作方法については、「操作方法」（→ P.109）をご覧ください。プリンタの Ethernet タイプを変更しても改善されない場合は、プリンタを接続しているハブユニットの設定も変更してみてください。ハブユニットの Ethernet タイプの設定方法については、お使いのハブユニットのマニュアルをご覧ください。
・ハブユニットに STP（スパニングツリープロトコル）の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。また、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。
・ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  - ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバーなどに接続できないことがあります。
  - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご相談ください。
  ラベルはハブユニットの底面に貼られており、次のように表記されています。

A8の例	A7の例	A6の例
SER.NO.000001 DATE:2007-5 AB-0123456789	SER.NO.000001 DATE:2007-5 AB-0123456789	SER.NO.000001 DATE:2007-5 AB-0123456789

該当するものに消し線（＝）がつけられます。

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバープリンタとして動作すると共に、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。
・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・「Printianavi2」および「Printianavi ネットワークポートモニタ」を使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、複数台のうちの 1 台が印刷中のときは、残りのパソコンには「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージが表示されます。
・使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

・ポートの切り替え時間については、「設定項目一覧」(→ P.112)の「ポート セッテイ」の「タイムアウト ジカン」をご覧ください。

重要

・印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

2

プリンタ USB ケーブル接続の場合

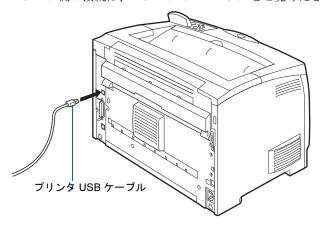
USB インターフェースをサポートする PC/AT 互換機に接続できます。対応 OS は、7/2008/Vista/2003/XP/2000 日本語版です。

なお、本製品にプリンタ USB ケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタ USB ケーブル」(→ P.43)をご覧ください。

重要

・お使いの OS により、プリンタ USB ケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
  ・7/2008 R2 の場合
    「ソフトウェアガイド」の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続してください。
  ・2008(R2 以外)/Vista/2003/XP/2000 の場合
    プリンタ USB ケーブルを接続してから、「ソフトウェアガイド」の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。
・パソコンとプリンタの接続に使用するプリンタ USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中にプリンタ USB ケーブルを抜き差ししないでください。
・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
・本製品と接続したプリンタ USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ(電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ)のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・USB2.0 でお使いになるには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
・USB ケーブルを接続している場合、節電モードの「スリープ」(→ P.114)には移行しません。

1 プリンタ USB ケーブルを、背面の USB ケーブルコネクタに差し込みます。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。

パラレルケーブル接続の場合

⚠警告

・パラレルケーブルを接続または取り外すときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

⚠注意

・接続時はこのマニュアルをよく読み、間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、本製品およびパソコンが故障する原因になることがあります。

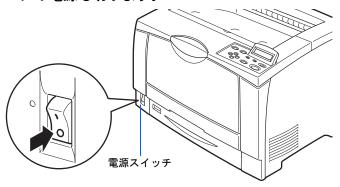
重要

・お使いの OS により、パラレルケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
  ・7/2008 R2 の場合
  『ソフトウェアガイド』の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてから、パラレルケーブルを接続してください。
  ・2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合
  パラレルケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。
・パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中にパラレルケーブルを抜き差ししないでください。
・パラレルケーブルを接続している場合、節電モードの「スリープ」（→ P.114）には移行しません。ただし、接続しているパソコンが低消費電力モードに移行している場合は、「スリープ」に移行します。

POINT

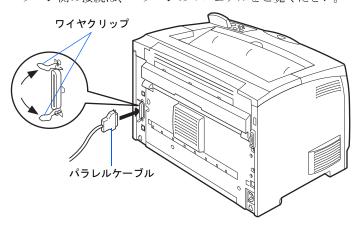
・パラレルケーブル接続時の環境は、次のとおりです。
　・パソコン：双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
　・OS：7/2008/Vista/2003/XP/2000 日本語版
・本製品には、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタケーブル」（→ P.43）をご覧ください。

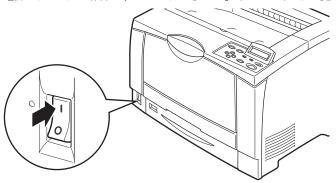
2

1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切ります。また、パソコンの電源も切ります。

重要

・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）をご覧ください。

2 パラレルケーブルを背面のパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。

3 電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れます。

電源が入らない場合は、「こんなときには」（→ P.143）をご覧ください。

4 パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。

第 3 章

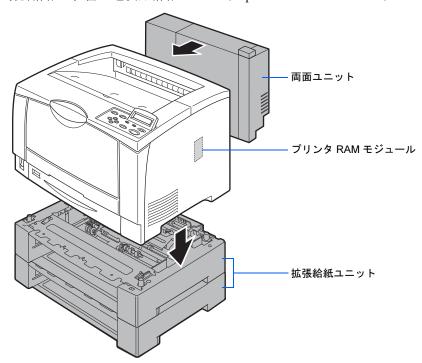
オプションを取り付ける

本製品のオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。この章では、これらのオプションの取り付け方法を説明します。

1 取り付け可能なオプションとご注意

本製品に取り付け可能なオプションと、取り付け時に注意していただきたいことを説明します。

取り付け可能なオプション

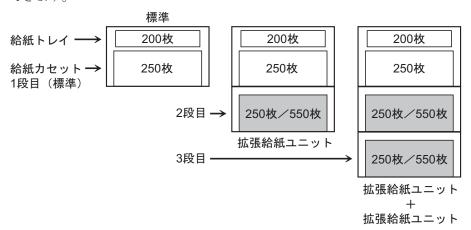
本製品には、次のオプションを取り付け可能です。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。大量文書の印刷時にご利用ください。

表：拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25MF	収容枚数は約 250 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。（給紙カセット添付）
拡張給紙ユニット -B	XL-EF55MF	収容枚数は約 550 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。（給紙カセット添付）

■取り付け形態

拡張給紙ユニットは、1 段目（標準）の給紙カセットとあわせて、次の取り付け形態を選択できます。

POINT

- 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、使用していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

両面ユニット

本製品背面に取り付けることで、A3、A4 横（LEF）、A4 縦（SEF）、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

表：両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPMF	両面印刷用のユニットです。

プリンタ RAM モジュール

本製品に内蔵します。プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、サポートするすべての用紙サイズ、解像度、両面印刷の組み合わせで確実に印刷できるようになります。プリンタに転送されるデータサイズが 35MB 以上の文書を部単位印刷する場合は、プリンタ RAM モジュールを増設することをお勧めします。

表：プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール - 256MB	XL-EM256MC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

■プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

プリンタ RAM モジュールの有無により、印刷できる用紙サイズが異なります。搭載量と印刷可能範囲の対応は、次の表のとおりです。

表：プリンタ RAM モジュール搭載量と印刷可能範囲の対応

	128MB（プリンタ RAM モジュールなし）						384MB（プリンタ RAM モジュールあり：256MB）					
用紙サイズ / 解像度 (dpi)	片面			両面			片面			両面		
	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200
A3	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
B4	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
Legal	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
Letter	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
はがき	○	○	○	―	―	―	○	○	○	―	―	―
ユーザ定義サイズ	○	○	○	―	―	―	○	○	○	―	―	―
長尺紙	○	―	―	―	―	―	○	―	―	―	―	―

○：どのデータも確実に印刷できます。

▲：データの内容によっては、印刷できない場合があります（プロテクトモード使用時は印刷できません）。

―：印刷できません。

解像度、プロテクトモード：プリンタドライバで設定します。詳しくは、プリンタドライバのヘルプ、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

プリンタケーブル

本製品とパソコンを接続します。
接続インターフェースに応じて、パラレルケーブル、またはプリンタ USB ケーブルを使用できます。本製品にはプリンタケーブルは添付されていませんので、次の別売ケーブルをお使いください。

■パラレルケーブル

表：パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	富士通製パソコン、各社 PC/AT 互換機に接続できます。

■プリンタ USB ケーブル

表：プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	7/2008/Vista/2003/XP/2000 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

・プリンタケーブルは、次の長さのシールドケーブルをお使いください。
  ・パラレルケーブル：1.5m 以下
  ・プリンタ USB ケーブル：5m 以下

取り付け時のご注意

オプションを取り付けるときは、次の点をお守りください。

⚠警告

・オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠注意

・オプション類の取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因になることがあります。

・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源を切った状態で作業してください。

2 プリンタ RAM モジュールの取り付け

プリンタ RAM モジュールの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。
なお、本作業にはコインなどが必要です。あらかじめ用意しておいてください。

⚠警告

・プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

重要

・静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
・本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
・モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
・モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分には、手を触れないでください。

取り付け

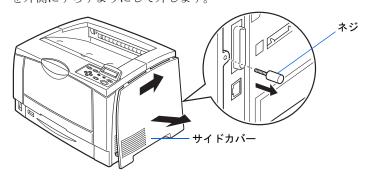
1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

・電源スイッチを「○」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

重要

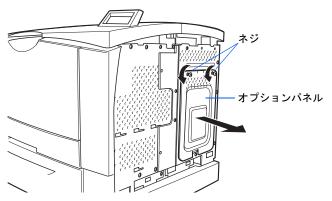
・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。

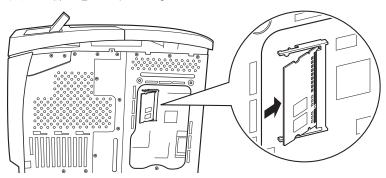
2 サイドカバーを取り外します。

背面のネジを外した後、サイドカバーを本体に沿って背面側へスライドし、カバーの下部を外側にずらすようにして外します。

POINT

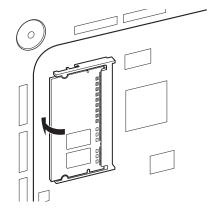
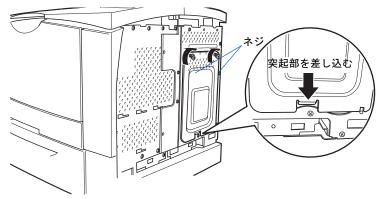
・ネジを完全に取り外さなくても、サイドカバーを取り外すことができます。

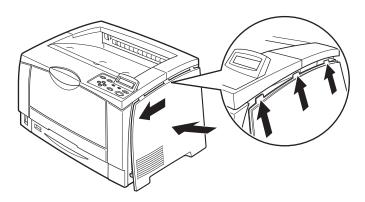
3 ネジ（2ヶ所）をコインなどでゆるめてから、オプションパネルを外します。

3

4 コネクタの溝に合わせてプリンタ RAM モジュールをゆっくりと差し込みます。

向きに注意して差し込みます。プリンタ RAM モジュールの金色の端子がほとんど見えなくなるまで押し込んでください。

重要

・プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには充分注意してください。

5 プリンタ RAM モジュールをカチッと音がするまで押し倒し、固定します。

6 **パネル下部の突起部を本体内部に差し込んでから、コインなどでネジ（2ヶ所）を固定します。**

7 **サイドカバーのすべてのツメ（計9ヶ所）を本体の穴に差し込んでから、プリンタ本体に沿って前面側にスライドさせて取り付けます。**

サイドカバーの9ヶ所のツメは、カバー内部／前面／上面にそれぞれ3ヶ所あります。

8 **プリンタ背面のネジを締めます。**

動作確認

次の操作でプリンタ RAM モジュールをチェックし、プリンタが問題なく動作することを確認してください。

1 **電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。**

重要

・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約10秒かかります。
オペレータパネルのLED表示がすべて消灯したことを確認してから、再度電源を入れてください。

2 オペレータパネルの「リセット」スイッチを押しながら、電源スイッチをオン（「｜」側）に倒して電源を入れます。

RAM モジュールのチェックが開始されます。

POINT

・「RAM1　チェック」と表示されたら、「リセット」スイッチを放してもかまいません。

3 オペレータパネルの表示が次のように変化することを確認します。

1. 標準 RAM（RAM1）のチェックが開始された後、増設した RAM モジュール（RAM2）のチェックが開始されます。

■標準 RAM のチェック開始

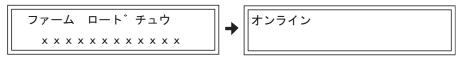
ＲＡＭ１　チェック　　　００％

➔

■増設 RAM モジュールのチェック開始

ＲＡＭ２　チェック　　　００％

2. RAM モジュールチェック後、増設した RAM 容量（320MB）が表示されることを確認します。

3. ファームがロードされ、「オンライン」と表示されることを確認します。

「オンライン」と表示されれば、RAM モジュールに問題はありません。

次のメッセージが表示された場合は、増設したプリンタ RAM モジュールが正常に取り付けられているか確認してください。

９１０１カクチョウ　メモリエラー
　メモリ　ヲ　コウカン

その他のメッセージが表示された場合は、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）をご覧ください。

重要

・プリンタ RAM モジュールを増設した場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。設定方法は『ソフトウェアガイド』の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

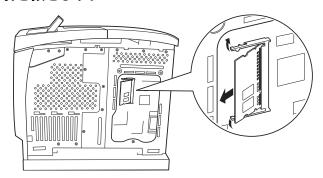
取り外し

1　電源を切り、ケーブル類を取り外します。

・電源スイッチを「○」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

重要

・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。

2　左右のレバーを開いてロックを外し、プリンタ RAM モジュールを手前に引き抜きます。

サイドカバー、オプションパネルの取り外し・取り付け方法は、「取り付け」（→ P.44）をご覧ください。

3 両面ユニットの取り付け

両面ユニットの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

⚠警告

・両面ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「〇」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠注意

・「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。

警告ラベル

取り付け

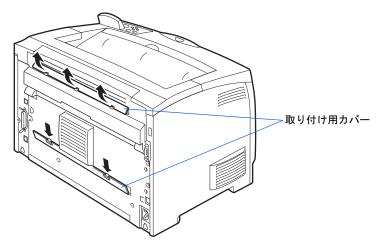
1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

・電源スイッチを「〇」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

重要

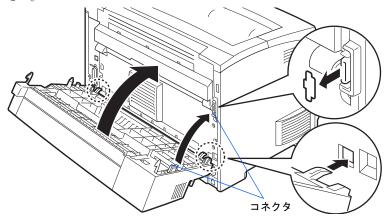
・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。

3

2 背面にある両面ユニット取り付け用カバー（2ヶ所）を外します。

重要

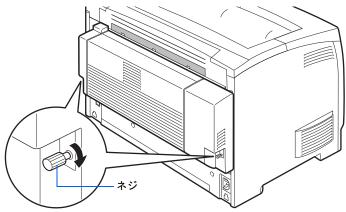
・取り外したカバーは、両面ユニットを取り外した後に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。

3 コネクタのカバーを外し、両面ユニットの突起部（2ヶ所）を本体背面の穴（2ヶ所）に合わせて取り付けます。

このとき、両面ユニットのコネクタとプリンタ側のコネクタが接続されるようにしてください。

重要

・取り外したコネクタカバーは、両面ユニットを取り外した後に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。

4 両面ユニットの左右 2ヶ所にあるネジで固定します。

3

重要

・両面ユニットを取り付けた場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。
設定方法は「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

・両面ユニットを取り付けた場合は、プリンタの電源投入後に次のいずれかの操作を行い、取り付けた両面ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
  ・オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「設定」スイッチを押します。
    液晶ディスプレイの下段に「DUP アリ」と表示されていることを確認してください。

ＸＸＸＸヘ゜ーシ゛：Ａ４ＬＥＦ
ＦＤＲナシ／ＤＵＰアリ

「DUP ナシ」と表示されている場合は、両面ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」に戻ります。
  ・設定の一覧（→ P.121）を印刷し、「システム情報」欄に「両面ユニット＝あり」と印刷されていることを確認してください。「両面ユニット＝なし」と印刷された場合は、両面ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。

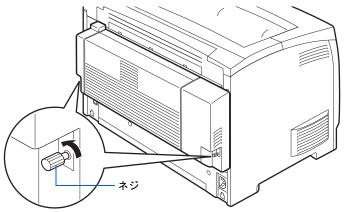
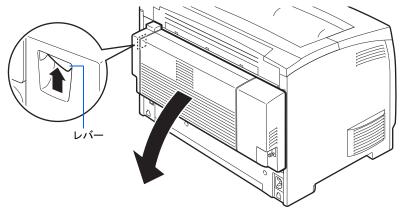
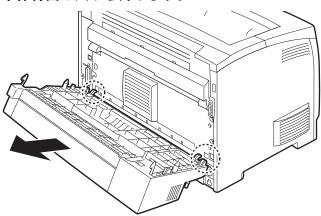
取り外し

1 **電源を切り、ケーブル類を取り外します。**

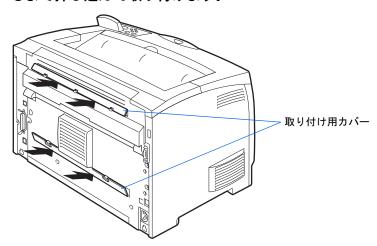
・電源スイッチを「○」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

重要

・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。

2 **両面ユニット左右 2ヶ所のネジをゆるめます。**

3 **両面ユニットを手で支えながら、左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニット上部を本体から外します。**

4 **両面ユニットを持ち上げるようにしながら、両面ユニット左右の突起部を本体背面の穴から外します。**

5 **コネクタのカバーを取り付けます。**

「取り付け」(→ P.49)の手順 3 で外したコネクタのカバーを、元通りに取り付けてください。

6 **両面ユニット取り付け用カバー（2ヶ所）を、本体背面にカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。**

4 拡張給紙ユニットの取り付け

拡張給紙ユニットの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

本製品に取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット -A（A3 ユニバーサル・250 枚）と拡張給紙ユニット -B（A3 ユニバーサル・550 枚）があります。プリンタへの取り付け／取り外し方法や用紙のセット方法は、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。
本製品には、最大 2 段まで取り付けることができます。

⚠警告

・拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠注意

・拡張給紙ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、充分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。
・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動するときに足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。
・取り付け時は、指をはさまないように注意してください。

取り付け

1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

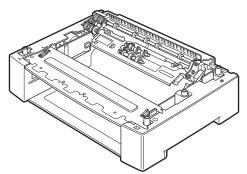
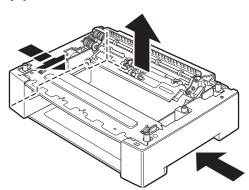
・電源スイッチを「○」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

重要

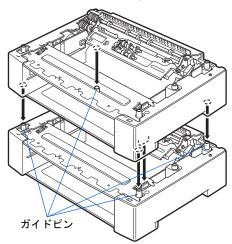
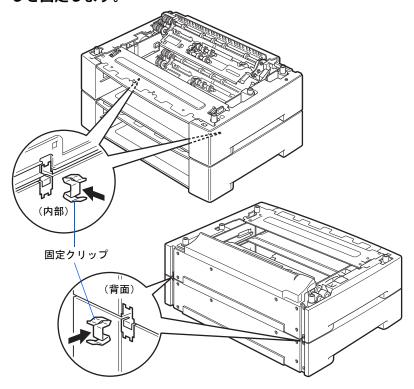
・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。

2 拡張給紙ユニットから給紙カセットを引き抜きます。

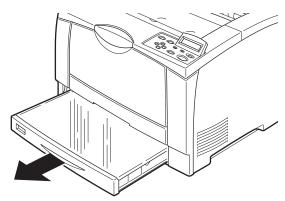
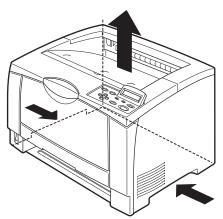
3 下段に取り付ける拡張給紙ユニットを平らな場所に置きます。

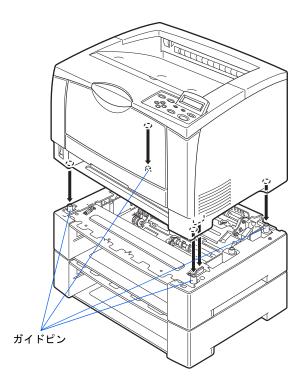
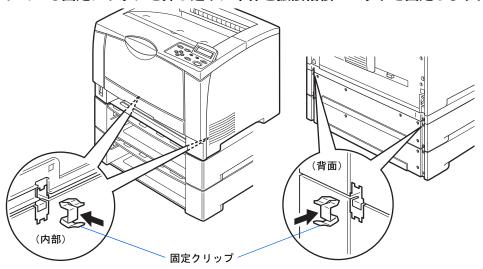
取り付ける拡張給紙ユニットが 1 段のみの場合は、手順 7（→ P.56）へ進んでください。

4 上段に取り付ける拡張給紙ユニット側面のくぼみを持って、持ち上げます。

5 上下の拡張給紙ユニットの前面と後面の角を合わせます。

下段の給紙ユニットの四隅にあるガイドピンが、上の拡張給紙ユニットの底面にある穴に入るようにしてください。

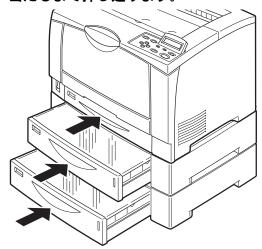
6 拡張給紙ユニットの内部 2ヶ所、背面 2ヶ所の差し込み部に、拡張給紙ユニットに添付されている固定クリップを押し込み、拡張給紙ユニットどうしを固定します。

重要

・固定クリップで拡張給紙ユニットどうしをしっかりと固定してください。
・固定クリップが正常に押し込まれていないと、給紙カセットに引っかかり、給紙カセットの抜き差しができない場合があります。

7 本体に取り付けられているカセットを引き抜きます。

8 本体下部のくぼみを持ち、本製品を持ち上げます。

9 本体を拡張給紙ユニットの上にゆっくりおろします。

本体と拡張給紙ユニットの角を合わせます。次に給紙ユニットの四隅にあるガイドピンを本体底面の穴に差し込みます。

10 本体の内部 2ヶ所、後部 2ヶ所の差し込み部に、拡張給紙ユニットに添付されている固定クリップを押し込み、本体と拡張給紙ユニットを固定します。

重要

- 固定クリップで本体と拡張給紙ユニットをしっかりと固定してください。固定しにくい場合は、本体から給紙トレイを引き抜いてください。給紙トレイを引き抜く方法については、「給紙トレイの紙送りローラの清掃」（→ P.94）の手順 1 をご覧ください。
- 固定クリップが正常に押し込まれていないと、給紙カセットに引っかかり、給紙カセットの抜き差しができない場合があります。

11 本体から取り外したカセットと拡張給紙ユニットのカセットを、奥に突き当たるまで押し込みます。

重要

- 拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。
  設定方法は「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

- 拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、プリンタの電源投入後に次のいずれかの操作を行い、取り付けた拡張給紙ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
  - オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「設定」スイッチを押します。
    液晶ディスプレイ下段の、「FDR」と表示されている部分を確認してください。

    ```
    ＸＸＸＸペ゚ージ゛ ：Ａ４ＬＥＦ
    ＦＤＲ＝１／ＤＵＰアリ
    ```

    拡張給紙ユニットを 1 段取り付けたときは「FDR=1」、2 段取り付けたときは「FDR=2」と表示されます。「FDR ナシ」と表示されている場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
    確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」に戻ります。
  - 設定の一覧（→ P.121）を印刷し、「システム情報」欄の給紙口情報を確認してください。
    取り付けた段数に応じて、次のように印刷されます。印刷されない場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
    - 1 段取り付けたとき：「カセット 1 ＝（用紙サイズ）」「カセット 2 ＝（用紙サイズ）」
    - 2 段取り付けたとき：「カセット 1 ＝（用紙サイズ）」「カセット 2 ＝（用紙サイズ）」「カセット 3 ＝（用紙サイズ）」

取り外し

1　電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- 電源スイッチを「○」側に倒します。
- 電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

重 要

- スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 10 秒かかります。

2　拡張給紙ユニットから給紙カセットを引き抜きます。

3　「取り付け」（→ P.54）と逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外します。

3

第 4 章

日常の操作

この章では、本製品を使って印刷するときに必要となる、日常的な操作について説明します。

1 用紙をセットする

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。

重要

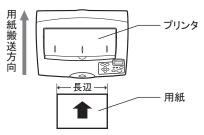
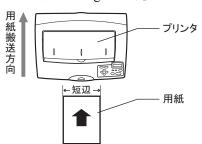
- ラベル紙、郵便はがき、長尺紙は、給紙トレイから印刷してください。給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。詳しくは「給紙トレイにセットする」（→ P.72）をご覧ください。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
- 給紙カセット、給紙トレイ（小サイズの用紙をセットした場合）は、必ずふたを閉めてご使用ください。ふたを閉めずに使用した場合、給紙カセット、給紙トレイの出し入れに支障をきたすことがあります。

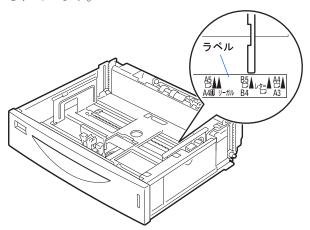
POINT

- 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。

用紙をセットする向きについて

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットするときは、用紙を「横送り」または「縦送り」されるように置きます。

- 「横送り」とは、用紙の長辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「LEF（Long Edge Feed の略）」とも表記されます。

- 「縦送り」とは、用紙の短辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「SEF（Short Edge Feed）」とも表記されます。

用紙サイズと送り方向のラベル

給紙カセットや給紙トレイには、さまざまな用紙をセットするときの目安となるラベルが貼られています。

このラベルには、用紙サイズやマークが記載されていて、セットする用紙に合わせて給紙カセットを伸縮したり、用紙の縦／横ガイドのクリップを移動したりするときに使用します。

表：ラベルの内容

記載	説明
(用紙サイズ) □	表示されているサイズの用紙を、横送り方向でセットする位置を示しています。
(用紙サイズ)	表示されているサイズの用紙を、縦送り方向でセットする位置を示しています。
A4 □	A4 用紙は、横送り方向にも、縦送り方向にもセットできます。 □ のマークは、A4 サイズの用紙を横送り方向でセットする位置を示します。
A4 [SEF]	A4 用紙は、横送り方向にも、縦送り方向にもセットできます。 [SEF] のマークは、A4 サイズの用紙を縦送り方向でセットする位置を示します。

POINT

- このマニュアルでは、A4 サイズの用紙を「横送り」と「縦送り」で区別して説明する箇所で、次のように表記します。
  - 横送り：「A4 サイズ横送り（□ LEF）」
  - 縦送り：「A4 サイズ縦送り（[SEF] SEF）」
- 横送り（□ LEF）のほうが高速に印刷できます。
- 排紙のカールが大きい、または両面印刷時に紙詰まりしやすい場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 L」（トナーの定着温度を少し低くする設定）にすることで、改善される場合があります。また、A4 サイズであれば LEF と SEF を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。

用紙ごとのセット方向

用紙ごとのセット方向は次のとおりです。

表：用紙ごとのセット方向

セット方向	用紙の種類
横送り（LEF）	A4、A5、B5、レター、はがき
縦送り（SEF）	A4、A3、B4、リーガル

給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする

ここでは、給紙カセットに用紙をセットする手順を説明します。

重要

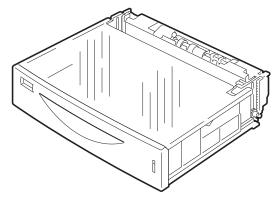
・レターサイズの用紙を使用する場合
プリンタのオペレータパネルから、メニューモード「インサツ　セッテイ」→「カセットサイズ　ニンシキ」（→ P.117）で「レター→レター」の設定が必要です。
メニューモードについて、詳しくは「操作方法」（→ P.109）をご覧ください。

POINT

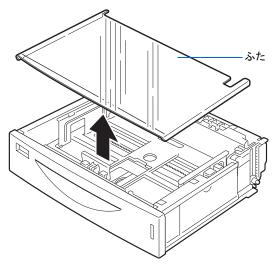
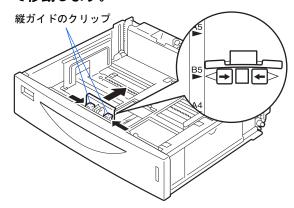
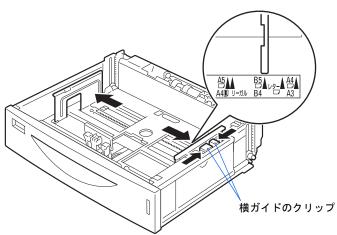
・拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も、給紙カセットと同じ手順でセットできます。

A4 横送り（LEF）、A5、B5、レターサイズの場合

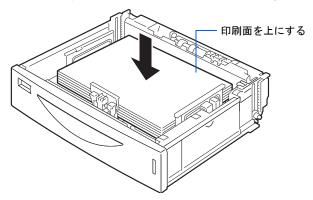
横送り方向にセットする用紙は、次の手順でセットします。ここでは、B5 サイズの用紙を例に説明します。

1 **給紙カセットを平らな場所に置きます。**

POINT

・給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。上斜め方向に持ち上げながら引っ張ると、スムーズに引き抜けます。

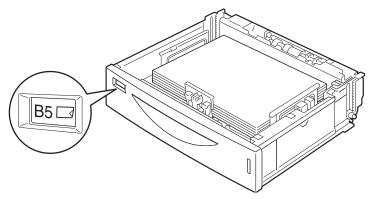
2 ふたを持ち上げて取り外します。

3 縦ガイドのクリップを指でつまみながら、縦ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。

4 横ガイドのクリップを指でつまみながら、横ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。

5 用紙の四隅を揃え、印刷する面（包装された用紙の開封面）を上にしてセットします。

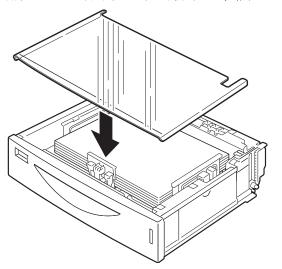
横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

重要

- 反り、シワ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 収容枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

POINT

- 給紙カセットに収容できる枚数は、250 枚給紙カセットの場合は約 250 枚、550 枚給紙カセットの場合は約 550 枚（64g/ ㎡の場合）です。
- 550 枚収容できる給紙カセットに少数枚の用紙をセットした場合、用紙がたわむことがあります。異常ではありませんので、そのままお使いください。

6 セットした用紙サイズに合わせて、用紙サイズカードを差し替えます。

7 ふたを取り付けます。

用紙にほこりや湿気がつくのを防ぐため、給紙カセットのふたは必ず閉めてください。

8 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込みます。

重要

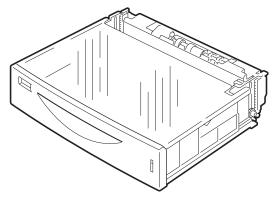
・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

A4 縦送り（SEF）、A3、B4、リーガルサイズの場合

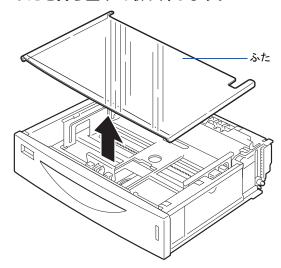
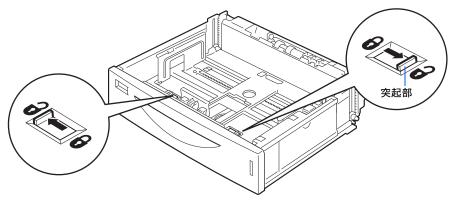
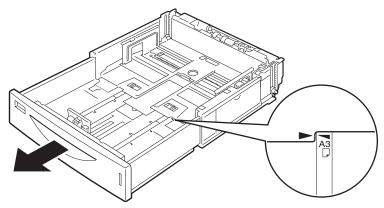
縦送り方向で用紙をセットする場合は、用紙サイズに合わせ、カセットを縦方向に延長してセットします。
ここでは、A3 サイズの用紙を例に説明します。

POINT

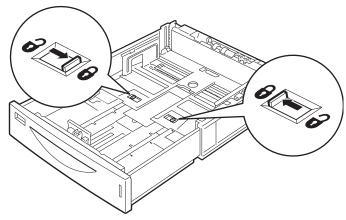
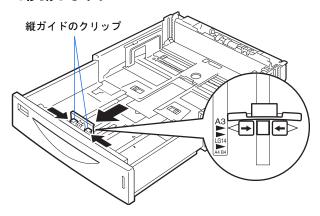
・拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も、給紙カセットと同じ手順でセットできます。

1 給紙カセットを平らな場所に置きます。

POINT

・給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。上斜め方向に持ち上げながら引っ張ると、スムーズに引き抜けます。

2 ふたを持ち上げて取り外します。

3 カセットの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除します。

4 カセットの持ち手部分を持って延長部を引き出し、用紙サイズに合わせます。

POINT

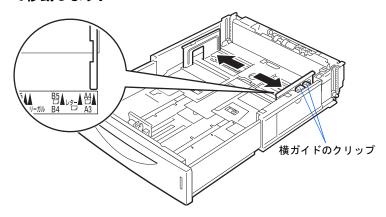
・ユーザ定義サイズの用紙をセットする場合は、用紙サイズの長さに合わせて、適切なロック位置で固定してください。用紙サイズに合わせて、縦ガイド／横ガイドを調整してください。

5 カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックします。

6 縦ガイドのクリップを指でつまみながら、縦ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。

7 横ガイドのクリップを指でつまみながら、横ガイドを用紙サイズの位置まで移動します。

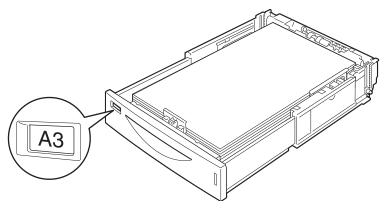
8 用紙の四隅を揃え、印刷する面（包装された用紙の開封面）を上にしてセットします。

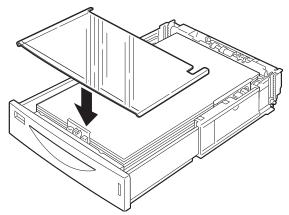
横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

重要

- 反り、シワ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 収容枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

POINT

- 給紙カセットに収容できる枚数は、250 枚給紙カセットの場合は約 250 枚、550 枚給紙カセットの場合は約 550 枚です（64g/ ㎡の場合）。

9 セットした用紙に合わせて、用紙サイズカードを差し替えます。

10 ふたを取り付けます。

用紙にほこりや湿気がつくのを防ぐため、給紙カセットのふたは必ず閉めてください。

11 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込みます。

重要

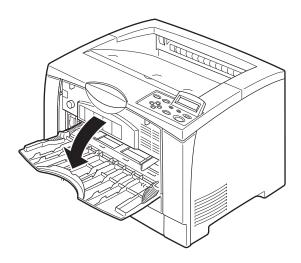
・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

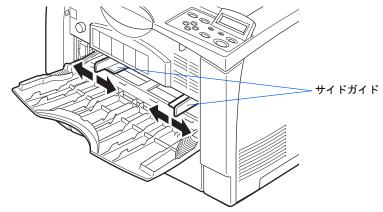
給紙トレイにセットする

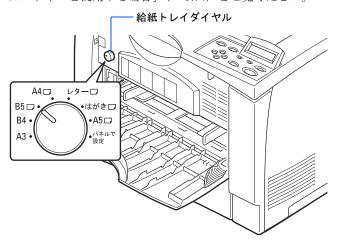
ここでは、給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

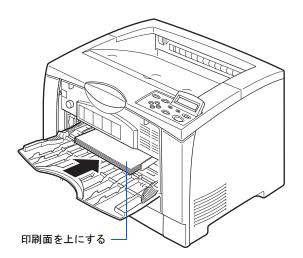
重要

・給紙トレイに用紙をセットする場合は、プリンタの電源を入れてからセットしてください。

1 **給紙トレイのカバーを開きます。**

2 **サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

サイドガイドはセットする用紙の幅に正しく合わせてください。サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

3 給紙トレイダイヤルを、セットする用紙のサイズと向きに合わせます。

該当するサイズや向きがない場合は、ダイヤルを「パネルで設定」に合わせ、オペレータパネルで設定してください。設定方法について詳しくは、「A4 サイズ縦送り（SEF）、リーガルサイズを使用する場合」（→ P.74）をご覧ください。

4 用紙の四隅を揃え、印刷する面（包装された用紙の開封面）を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

重要

・反り、シワ、折り目の入った用紙は、使用しないでください。
・収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

POINT

・セットした用紙の、給紙方向の寸法が A4 サイズ短辺以下の場合は、給紙トレイのカバーを閉めて印刷ができます。
・給紙トレイに収容できる枚数は、約 200 枚です（64g/ ㎡の場合）。

A4 サイズ縦送り（SEF)、リーガルサイズを使用する場合

A4 サイズ縦送り（SEF）、またはリーガルサイズの用紙を給紙トレイにセットした場合は、オペレータパネルの設定が必要になります。

1 **給紙トレイに、A4 サイズまたはリーガルサイズの用紙を縦送り方向でセットします。**

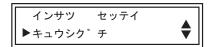
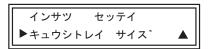
2 **給紙トレイダイヤルを「パネルで設定」に合わせます。**

3 **オペレータパネルを次のように操作し、用紙サイズを「A4　SEF」または「リーガル SEF」に切り替えます。**

オペレータパネルについて詳しくは、「オペレータパネルの操作」(→P.103)をご覧ください。

1. オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにします。

2. 「▶」スイッチを 2 回押して「インサツ　セッテイ」を表示します。

3. 「▼」スイッチを押して「キュウシグチ」を表示します。

4. 「▶」スイッチを 3 回押して「キュウシトレイ　サイズ」を表示します。

5. 「▼」スイッチを押して「*Ａ ４　ＬＥＦ」を表示します。

6. A4 サイズ縦送り（SEF）の場合は、「▶」スイッチを 1 回押して「Ａ ４　ＳＥＦ」を表示します。リーガルサイズの場合は、「▶」スイッチを 4 回押して「リーガル　ＳＥＦ」を表示します。

7. 「設定」スイッチを押してから、「オンライン」スイッチを押します。

A4 サイズ縦送り（SEF)、またはリーガルサイズのモードに切り替わります。

2 印刷する

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

1 印刷を行う前に、プリンタドライバをインストールします。

インストール方法は、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

2 本製品が印刷できる状態であることを確認します。

- 正しく接続されているか
- 本製品の電源が入っているか
- 用紙がセットされているか（「用紙をセットする」（→ P.62））

3 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

4 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2)「プロパティ」をクリックします。

POINT

- アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

5 各項目を設定し、「OK」をクリックします。

各設定項目について詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

6 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。
正常に印刷できないときは、「こんなときには」（→ P.143）をご覧ください。

プリンタの状態確認（ポップアップ）

Printianavi 機能を使うと、本製品の状態をパソコン上で確認できます。
Printianavi 機能は、印刷が実行されると本製品のモニタを開始します。本製品でエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法が、パソコンの画面にポップアップ表示されます。

Printianavi 機能によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、およびポップアップについて詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

3 印刷を中止する

印刷開始後（オペレータパネルのオンラインランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データアリ」と表示されている場合）に、印刷を中止する方法を説明します。

印刷を中止するには、パソコンから中止する方法と、本製品のオペレータパネルから中止する方法の 2 通りがあります。

パソコンの画面から中止する（双方向通信が有効なとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、プリンタのプロパティウィンドウの「Printianavi2」タブの表示方法の設定によって異なります。
詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

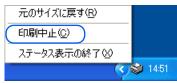
ポップアップ表示のとき

「印刷中止」をクリックします。

エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

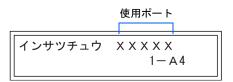
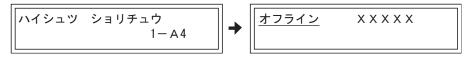
画面右下の通知領域（タスクトレイ）のアイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで「印刷中止」をクリックします。

POINT

・画面右下の通知領域（タスクトレイ）のアイコンを右クリックし、表示されるメニューで「印刷中止」をクリックして、印刷を中止することもできます。

オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。
リセットすると、本製品はプリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

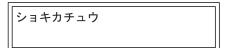
1 印刷中に「オンライン」スイッチを押します。

オペレータパネルの操作について詳しくは、「オペレータパネルの操作」（→ P.103）をご覧ください。

オペレータパネルに「ハイシュツ ショリチュウ」と表示されて印刷中の用紙が排出され、オフライン状態になります。

2 「リセット」スイッチを押します。

「ショキカ シマスカ（Y,N）？」と表示されます。このとき、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開できます。

ショキカ　シマスカ（Ｙ，Ｎ）？
リセット→Ｙ　オンライン→Ｎ

3 再度「リセット」スイッチを押します。

「ショキカチュウ」と表示され、初期化されます。

受信データがあると、オンラインランプが点滅します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

POINT

- プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。「Printianavi2」を使用しているときは、パソコン上の Printianavi2 メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

4 プロセスカートリッジの交換と注意事項

プロセスカートリッジの交換方法と、使用時の注意事項を説明します。

プロセスカートリッジを交換する

プロセスカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB319A/LB319AF が約 6000 ページ、LB319B/LB319BF が約 10000 ページです（JIS X 6931（ISO/IEC19752）に基づく）。
トナー残量が少なくなると、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されます。また、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあっても、感光体（ドラム）の寿命が近づいたり、感光体（ドラム）の寿命に達したりすると、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。メッセージが表示されたら、新しいプロセスカートリッジに交換してください。
サプライ品については、「サプライ品一覧」（→ P.203）をご覧ください。

重要

プロセスカートリッジ（環境共生トナーを含む）は、安定した画質を維持するために、製造から 30ヶ月 (開封後は 1 年間) の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ / 汚れ / かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

⚠警告

・プロセスカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねてやけどの原因になります。
・使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（→ P.84）をご利用ください。

・トナーが目や口に入らないように注意してください。
プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

・上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手をはさまないように注意してください。けがをすることがあります。
・上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手をはさんでけがをする原因になりますので、触れないようにしてください。

・プロセスカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

⚠注意

・プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。指定外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
・プロセスカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。

・プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。

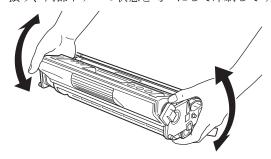
交換に関する留意事項

プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

・直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
・常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。
・純正品以外のプロセスカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージがオペレータパネルに表示される場合があります。

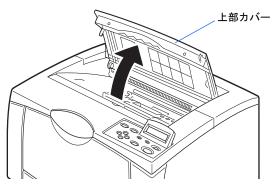
```
Ｋ００４　カートリッシ゛　エラー
フ゜ロセスカートリッシ゛フイッチ
```

・プロセスカートリッジ内のトナーがかたよっていると、交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。
・交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。

- 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  プロセスカートリッジを取り出して、次の図のように左右にゆっくり 7 〜 8 回傾けるようにして振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき

- 不鮮明な印刷状態が発生した場合
  適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

交換方法

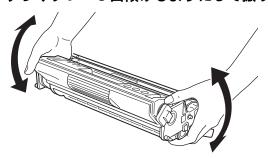
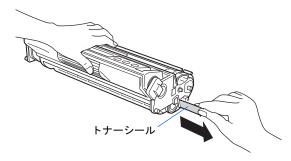
1 上部カバーを開きます。

上部カバーを開くときは、必ず上部カバー開閉用のくぼみを使って開いてください。

2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。

取り外したプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（「使用済みカートリッジの回収サービス」（→ P.84））をご利用ください。

POINT

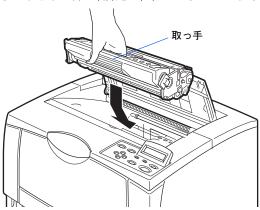
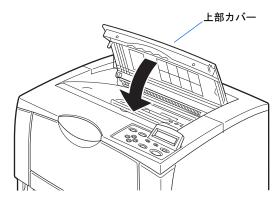
・トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

3 プロセスカートリッジを梱包袋から取り出して、次の図のように左右にゆっくり 7 〜 8 回傾けるようにして振ります。

4 トナーシールを引き抜きます。

重要

・トナーシールを引き抜くときは、プロセスカートリッジを平らな場所に置き、トナーシールを水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。トナーシールの全長は、約 67cm です。
・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、プロセスカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

5 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入します。

取っ手を下に押し、所定の位置にセットします（手ごたえがあるまで押し込んでください）。

6 上部カバーを閉じます。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。
回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。
当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

- エコ受付センター
  通話料無料：0120-300-693
  平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
- プリンタ消耗品無償回収サービス
  http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/solution/eco/recovery/

ご協力をお願いいたします。

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点に注意してください。

- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- 直射日光を避け、次の環境で保管してください。
  温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80%RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 小さなお子様の手が届かない所に保管してください。

5 プリンタを清掃する

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1ヶ月に 1 回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジ交換時や紙詰まりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠注意

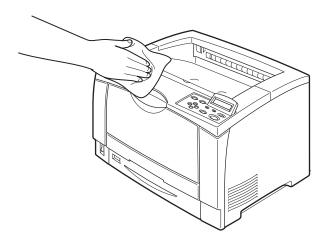
・プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

・電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

重要

・清掃時には、次の点にご注意ください。
  - ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分くらいたって内部の温度が下がってから作業してください。
  - ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形のおそれがあります。
  - ・油をさす必要はありません。注油はしないでください。
  - ・トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。
  - ・清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。

プリンタ外部を清掃する

カバー表面の汚れは、水または薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭き取ります。その後、柔らかい乾いた布で拭きます。

プリンタ内部を清掃する

プリンタ内部の清掃方法を、清掃場所ごとに説明します。

内部の点検

紙詰まりの処置や、プロセスカートリッジ交換（→ P.82）の後、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

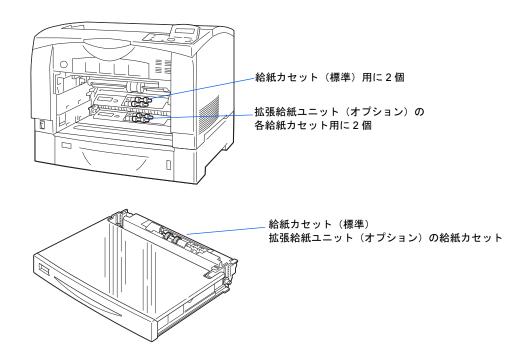
1 上部カバーを開き、プロセスカートリッジをゆっくり引き上げます。

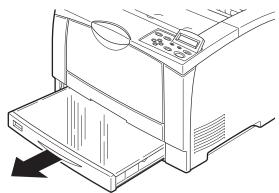
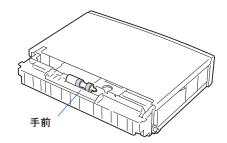
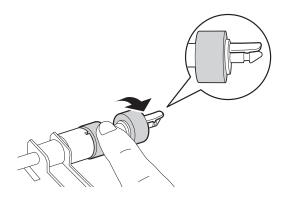
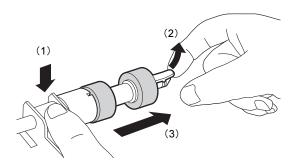
上記操作の手順については、「交換方法」（→ P.82）の手順 1 〜手順 2 をご覧ください。

2 内部の点検を行います。

・紙片が残っていれば取り除きます。
・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

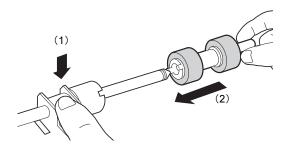
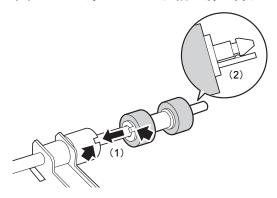
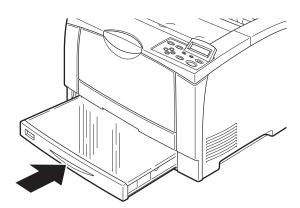
プリンタ内部の紙送りローラ、給紙カセットの紙送りローラを清掃する

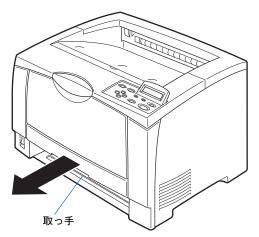
紙粉により送り不良が発生することがあります。給紙カセット（オプションの拡張給紙ユニットを含む）を取り外し、紙送りローラ（ゴムローラ（2 個））を清掃してください。
紙送りローラは、プリンタ内部に 2 個と、給紙カセットに 1 個あります。オプションの拡張給紙ユニットと増設カセットを取り付けている場合は、各拡張ユニットにつき、同じ数の紙送りローラがあります。

給紙カセットの紙送りローラの清掃

1　カセットを本体から引き抜きます。

2　カセットの紙送りローラ側を手前に向けます。

3 **ツメが上にくるまで紙送りローラを回転させます。**

4 **(1) ローラ横の黒い部分を左手で下に押しながら**
(2) 右手人差し指で給紙ロールのツメを手前に浮かせてロックを外し、
(3) 給紙ロールを給紙カセットの軸から横にスライドさせ、ゆっくり取り外します。

5 **水で濡らして固く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分を円周方向にていねいに拭きます。**

重要

・水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

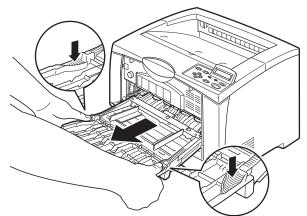
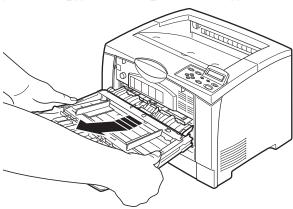
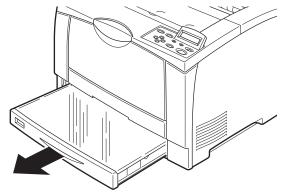
6 **（1）ローラ横の黒い部分を左手で下に押しながら**
（2）清掃したローラを軸に差し込みます。

7 **（1）紙送りローラの突起を軸の溝に合わせるようにして**
（2）ツメを浮かせながら軸の溝に合うように、しっかり差し込みます。

8 **カセットを、本体の奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。**

プリンタ内部の紙送りローラの清掃

1 給紙トレイを本体から引き抜きます。

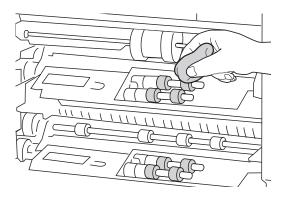
■給紙トレイを開いていない場合

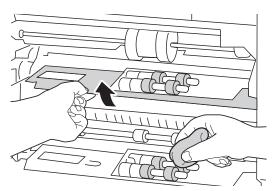
給紙トレイ引き抜き用取っ手を持ち、引き抜きます。

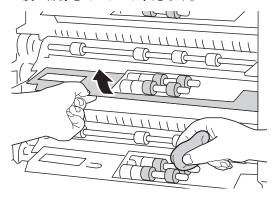
■給紙トレイを開いている場合

1. 両側のくぼみの部分を持ちながら、給紙トレイを途中で止まる位置まで引き出します。

2. 給紙トレイを持つ手の位置を、図のように持ち替えて引き抜きます。

2 カセットを本体から引き抜きます。

3 各給紙カセットに対応する紙送りローラを清掃します。

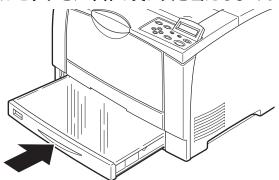
■給紙カセット（標準）の紙送りローラ

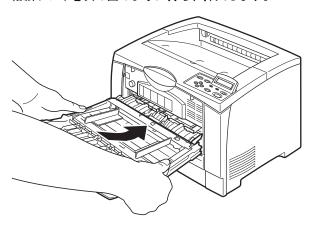
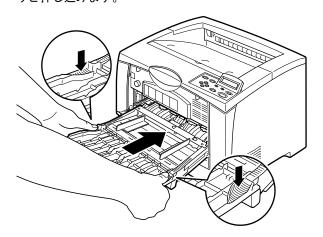
水で濡らし固く絞った柔らかい布で、紙送りローラを少しずつ回転させながら、ゴム製の部分をていねいに拭きます。

■拡張給紙カセット（オプション）1段目の紙送りローラ

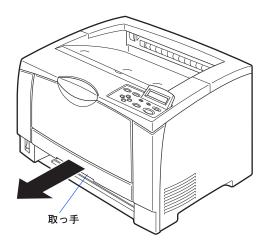
給紙カセット（標準）の給紙部を左手で持ち上げて、水で濡らし固く絞った柔らかい布で、紙送りローラを少しずつ回転させながら、ゴム製の部分をていねいに拭きます。

■拡張給紙カセット（オプション）2 段目の紙送りローラ

拡張給紙カセット（オプション）1 段目のカセットフィーダーの給紙部を左手で上に持ち上げて、水で濡らし固く絞った柔らかい布で、紙送りローラを少しずつ回転させながら、ゴム製の部分をていねいに拭きます。

重要

・水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

4 **カセットを、本体の奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。**

5 **給紙トレイを本体に取り付けます。**

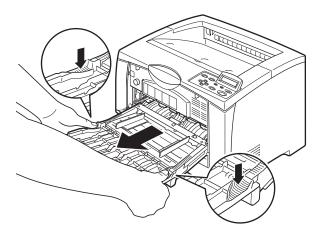
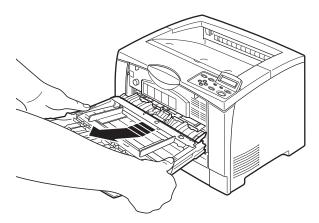
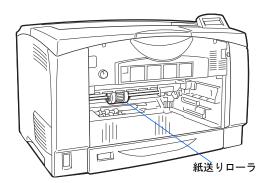
1. 給紙トレイを次の図のように持ち、挿入します。

2. 給紙トレイの両側にあるくぼみの部分を持ち、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

給紙トレイの紙送りローラの清掃

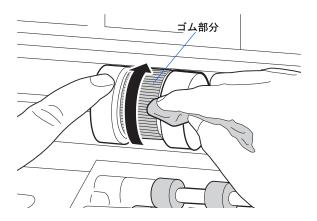
年賀はがきなど、絵入り郵便はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。給紙トレイの紙送りローラを清掃してください。

1 給紙トレイを本体から引き抜きます。

■給紙トレイを開いていない場合

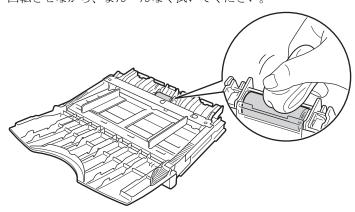
給紙トレイ引き抜き用取っ手を持ち、引き抜きます。

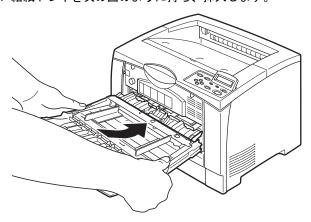
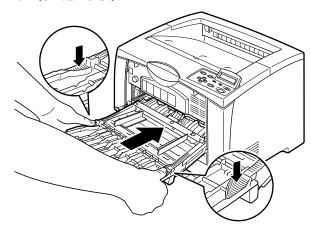
■給紙トレイを開いている場合

1. 両側のくぼみの部分を持ちながら、給紙トレイを途中で止まる位置まで引き出します。

2. 給紙トレイを持つ手の位置を、図のように持ち替えて引き抜きます。

2 図中の位置にある紙送りローラの位置を確認します。

3 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、紙送りローラを奥へ少しずつ回転させながらゴム部分をていねいに拭きます。

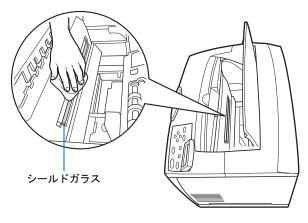
重要

・水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

4 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、給紙トレイの図中の位置にあるゴム部分をていねいに拭きます。

回転させながら、まんべんなく拭いてください。

5 給紙トレイを本体に取り付けます。

1. 給紙トレイを次の図のように持ち、挿入します。

2. 給紙トレイの両側にあるくぼみの部分を持ち、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

1 シールドガラスを、乾いた布でていねいに拭きます。

6 プリンタを長時間使用しないとき

1 週間以上プリンタを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

⚠警告

・電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1　プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

重要

・エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）をご覧ください。

2　用紙を取り出します。

給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」（→ P.133）をご覧ください。

7 プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

注意

・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

POINT

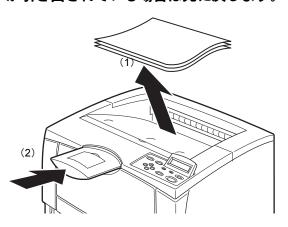
・拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、本体から拡張給紙ユニットを取り外します。本体や拡張給紙ユニットは傷が付かないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

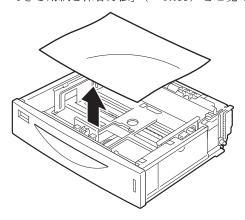
近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、となりの部屋に移動させたりする場合は、次の手順に従ってください。

1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

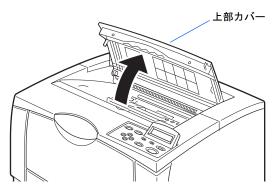
・電源スイッチを「○」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 （1）排紙トレイに用紙がある場合は用紙を取り除き、（2）排紙延長トレイが引き出されている場合は元に戻します。

3 給紙カセットと給紙トレイから用紙を取り除きます。

取り除いた用紙は、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」（→ P.133）をご覧ください。

POINT

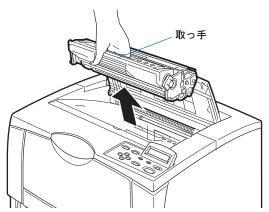
・用紙の入っている給紙カセットは重いため、注意してプリンタから抜いてください。

4 上部カバーを開きます。

上部カバーを開くときは、必ず上部カバー開閉用のくぼみを使って開いてください。

重要

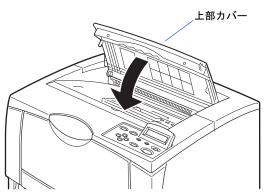
・内部の部品には、手を触れないでください。

5 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。

重要

- プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- 取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないよう、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などで包んでください。

POINT

- トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

6 上部カバーを閉じます。

7 適切な場所に設置し直します。

設置方法については、『設置ガイド』をご覧ください。

梱包して運搬する

本製品を運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。次の手順に従ってください。

1 **「近くに移動する」（→ P.99）をご覧になり、用紙やプロセスカートリッジなどを取り外します。**

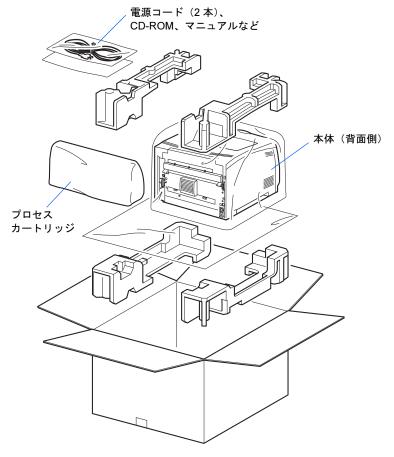
重 要

・プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。

2 **次の図のように梱包し直して、運搬します。**

精密機械のため、梱包や運搬するときは次の点に注意し、ていねいに取り扱ってください。

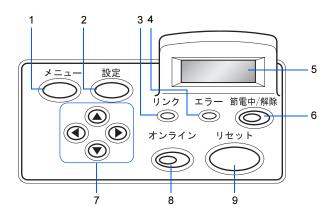
・梱包時は、ご購入時に使用していた梱包材を使用してください。

・取り出したプロセスカートリッジはビニール袋などに入れて運搬してください。プロセスカートリッジの取り扱いについては、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（→P.84）をご覧ください。

第 5 章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

1　各部の名称と機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

1　メニュースイッチ

プリンタをメニューモードにします。メニューモードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。メニューモードを終了するときも使用します。詳しくは、「操作方法」（→ P.109）をご覧ください。

2　設定スイッチ

メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。

液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「設定」スイッチを押すと、総印刷ページ数、プリンタの装置構成が、液晶ディスプレイに表示されます。

```
ＸＸＸＸＸＸＸヘ゜ーシ゛：Ａ４ＬＥＦ
ＦＤＲ＝１／ＤＵＰアリ
```

確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」に戻ります。

3　リンクランプ

ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。

・点灯：ネットワークと接続されていることを示します。

・消灯：ネットワークと接続されていないことを示します。

4　エラーランプ

プリンタの異常を知らせます。

・点灯：プリンタでエラーが発生していることを示します。

・消灯：プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。

5　液晶ディスプレイ

プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などが表示されます（1 行 16 文字の 2 段に表示されます）。

6 節電中ランプ／解除スイッチ

節電中ランプは、プリンタの節電状態を次のように知らせます。

・点灯：プリンタは節電状態です。解除スイッチを押すと、節電状態を解除します。
・消灯：プリンタは節電状態ではありません。

POINT

・「エミュレーションセッテイ」（→ P.115）で「ESC/P」に設定している場合は、プリンタがオフライン状態のときに解除スイッチを押すと、未処理のデータを印刷します。

7 ▲▼◀▶スイッチ

メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。詳しくは、「操作方法」（→ P.109）をご覧ください。

なお、液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「▲」「◀」「▶」スイッチを押すと、次のメニューが液晶ディスプレイに表示されます。

・「▲」スイッチ：「システム　インサツ」（→ P.112）
・「◀」スイッチ：「ショキ　セッテイ」（→ P.112）
・「▶」スイッチ：「インサツセッテイ」（→ P.115）

8 オンラインランプ／オンラインスイッチ

オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。なお、オンラインスイッチを押すと、「オンライン」「オフライン」が切り替わります。

・点灯：印刷できる状態、または印刷中です。
・点滅：データ受信中です。
・消灯：印刷できない状態です。

9 リセットスイッチ

印刷を中止します。また、テスト印刷（連続印刷）を中断します。

重要

**・液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「セツデン」のときに、「▲」「◀」「▶」「設定」「オンライン」スイッチのいずれかを1回押すと、メニューモードまたはオフライン状態に移行します。
この状態では印刷データを受け付けませんが、このまま、オペレータパネルを操作せずに90秒経過すると、以降は印刷データを受信した時点で印刷が開始されるようになります。
なお、印刷終了後はオンライン状態に戻ります。**

2 液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1 行 16 文字で 2 段に表示されます。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

POINT

・メッセージ（エラーを含む）の表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）をご覧ください。

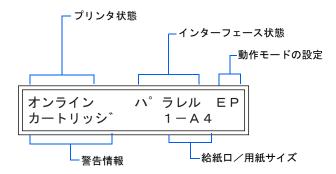
電源を入れたときの表示内容

本製品の電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。
電源を入れたときの表示内容については、『設置ガイド』をご覧ください。

オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、以下をご覧ください。
・「エラーメッセージ一覧」（→ P.175）
・「警告メッセージ一覧」（→ P.184）

表：表示内容一覧

項目	表示内容	説明
プリンタ状態	プリンタの状態が表示されます。	
	オンライン	オンライン状態または印刷データを受信中です。
	オフライン	オフライン状態です。
	インサツチュウ	印刷を行っています。
	ジュンビ	ウォームアップ中です。
	クールダウン	クールダウン中［注 1］です。
	セツデン	節電中です。
インターフェース状態	データを受信したポート状態が表示されます（データを受信していないときは表示されません）。	
	パラレル	パラレルポート経由でパソコンと通信しています。
	LAN	LAN ポート経由でパソコンと通信しています。
	USB	USB ポート経由でパソコンと通信しています。
動作モードの設定	プリンタの動作モードが表示されます。エミュレーション設定が「ESC/P」の場合は、Printia XL ドライバからの印刷時、動作モードを自動で切り替えます（初期値はエミュレーション設定「カイジョ」）。	
	EP	ESC/P モード
	HX	HEX ダンプ印刷モード
	表示なし	Printia XL ドライバの印刷動作中です。
	MW	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中です。
	MR	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中です。
警告情報	警告情報が表示されます。詳しくは、「警告メッセージ一覧」（→ P.184）をご覧ください。	
	表示なし	警告なし
	データアリ	未処理データがある状態です。［注 2］
	カセットカクニンn	カセットなし状態です。
	カートリッジ	プロセスカートリッジの交換時期が近づいた状態です。［注 3］
	テイキコウカン［注 4］	定期交換キットの交換時期です。 詳しくは、「定期交換部品について」（→ P.202）をご覧ください。
	ソウチジュミョウ［注 5］	プリンタが装置寿命に近づいた状態です。 残り寿命が 20%（消耗率 80%）になると、20%、10%、0% と 10% 単位で残り寿命を表示します。

5

表：表示内容一覧

項目	表示内容	説明
給紙口／用紙サイズ	印刷中の給紙口と用紙サイズが表示されます。	
	【給紙口】	
	1-	給紙カセット 1 から、給紙、印刷中です。
	2-	給紙カセット 2 から、給紙、印刷中です。
	3-	給紙カセット 3 から、給紙、印刷中です。
	M-	給紙トレイから、給紙、印刷中です。
	M*	給紙トレイ（ダイヤル設定）から給紙、印刷中です。
	【用紙サイズ】	
	A3	A3 用紙を給紙、印刷中です。
	A4	A4 用紙を給紙、印刷中です。
	A5	A5 用紙を給紙、印刷中です。
	B4	B4 用紙を給紙、印刷中です。
	B5	B5 用紙を給紙、印刷中です。
	LG	リーガル用紙を給紙、印刷中です。
	LTR	レター用紙を給紙、印刷中です。
	ハガキ	郵便はがきを給紙、印刷中です。
	ユーザ	ユーザ定義サイズの用紙を給紙、印刷中です。
	ユーザ L	長尺紙を給紙、印刷中です。

注 1 ： 大量の連続印刷中や、異なる用紙設定に切り替えて印刷する場合に、定着器の過熱を防ぐために冷やしています。

注 2 ： 「エミュレーションセッテイ」（→ P.115）を「ESC/P」に設定している場合は、次の表示になります。
「データガ　アリマス」

注 3 ： オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「カートリッジ　ジュンビ」：プロセスカートリッジの交換準備
「カートリッジ　コウカン」：プロセスカートリッジの交換時期

注 4 ： オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「テイキコウカンキット」

注 5 ： オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「ソウチジュミョウ　ノコリ xx%」（xx：20、10）

節電時の表示内容

メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「ソノタ　ノ　セッテイ」→「セツデン　モード」（→ P.114）で選択した設定により、表示が異なります。

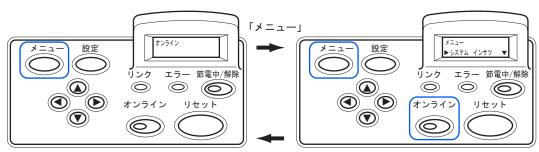
- 「セツデン 1」を選択している場合
  印刷待機状態のまま、設定時間が経過すると、液晶ディスプレイに「セツデン」と表示され、節電中ランプが点灯します。
- 「セツデン 2」／「スリープ」を選択している場合
  印刷待機状態のまま、設定時間が経過すると、液晶ディスプレイに「セツデン」といったん表示された後、表示が消え、オンラインランプが消灯して、節電中ランプが点灯します。
  ただし、冷却ファンが回転中の場合は、回転が停止するまで「セツデン」と表示されたままになります。

節電時は、印刷データを受信するか、解除スイッチを押すことにより、ウォームアップが開始され、オンライン状態となります。

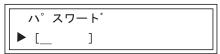
3 操作方法

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

基本的な操作方法

メニューモードに入るときは、「メニュー」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「メニュー」または「オンライン」スイッチを押します。

メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

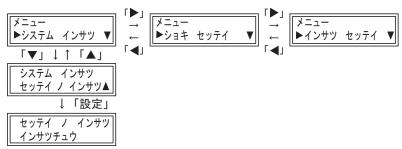
POINT

- プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、「メニュー」スイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（オペレータパネルのオンラインランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データアリ」と表示されている場合）は、メニューモードには移行できません。
- 電源を入れてからしばらくたつと、オペレータパネルに「セツデン」と表示されることがありますが、メニューモードに移行できます。
- オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。詳しくは、「オペレータパネルの操作制限」（→ P.130）をご覧ください。

使用するスイッチ

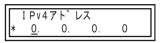
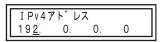
メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

表：使用するスイッチ

スイッチ	説明
「◀」または「▶」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「▲」または「▼」スイッチ	上のレベルまたは下のレベルに移動します。
「設定」スイッチ	表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。

■各スイッチによる切り替え例

スイッチの使い分けと設定例

「◀」「▶」スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は「▲」「▼」スイッチを使用します。
IPv4 アドレスの設定を例に、設定方法を説明します。

1 「◀」「▶」スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動します。

2 「▲」（加算）、「▼」（減算）スイッチで値を設定します。

3 各ブロックの設定が終わったら「◀」「▶」スイッチでカーソルを左端に移動し、「設定」スイッチを押します。

4 「メニュー」スイッチ、または「オンライン」スイッチを押します。

プリンタのリセット

「IP アドレス設定」および「LAN 設定」内の設定値を変更し、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチでメニューモードを終了した場合、本製品はリセットされます。

テスト印刷（連続印刷）の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、「リセット」スイッチを押すと終了します。

設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧は次のとおりです。設定値に記載された「*」および数値は、ご購入時に登録される初期設定を示します。
各項目を選択して値を設定する方法については、「基本的な操作方法」（→ P.109）をご覧ください。

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能（範囲）
システム　インサツ	セッテイ　ノ　インサツ				現在のプリンタの設定内容を印刷します。
	HEX ダンプインサツ［注 1］				ヘキサダンプ形式で印刷します。
	テスト　インサツ			5%サンプル	A4 サイズ横送り（LEF）、300dpi で印字率約 5% のテスト印刷（→ P.122）をします。
				ESC/P　インサツ［注 1］	ESC/P モードで使用する文字をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
	ショウモウヒン　レポート				消耗品の交換履歴および、警告発生の履歴レポートを印刷します。詳しくは、「消耗品の管理」（→ P.131）をご覧ください。
ショキ　セッテイ	IPv4 アドレス　セッテイ［注 2］	DHCP ジドウシュトク		* セッテイ	IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得します。
				カイジョ	IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得しません。
		IPv4 アドレス［注 4］		XXX.XXX.XXX.XXX	IPv4 アドレスを設定します。
		サブネットマスク［注 4］		XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ［注 4］		XXX.XXX.XXX.XXX	ゲートウェイを設定します。 ゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 に設定してください。
	IPv6 アドレス　セッテイ［注 3］	IPv6 アドレス［注 3］		0000：0000：0000 0000：0000：0000 0000：0000	IPv6 アドレスを設定します。 ：で区切られたアドレスを 0000 ～ FFFF で設定できます。 オペレータパネルの設定は、3 つ（1/3 ～ 3/3）に分かれています。
	LAN セッテイ	MAC アドレス		表示	MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ［注 8］		* ジドウ	自動検出して動作します。
				100Mbps Full	100Mbps（Full）で動作します。
				100Mbps Half	100Mbps（Half）で動作します。
				10Mbps	10Mbps で動作します。
		TCP/IPv4　プロトコル		* ユウコウ	TCP/IPv4 を有効にします。
				ムコウ	TCP/IPv4 を無効にします。
		TCP/IPv6　プロトコル		ユウコウ	TCP/IPv6 を有効にします。
				* ムコウ	TCP/IPv6 を無効にします。

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能（範囲）
ショキ　セッテイ	LAN セッテイ	ポートバンゴウ［注 2］	インサツポートバンゴウ		9313	印刷を行うときに使用するポート番号を設定します。 ［1 ～ 65535］
			ケンサクポートバンゴウ		9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定します。 ［1 ～ 65535］
		サービスセッテイ［注 2］［注 10］	プリンタケンサク	*	ユウコウ	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を有効にします。
					ムコウ	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を無効にします。
			インターネットサービス	*	ユウコウ	Web ブラウザでプリンタの状態を確認することや設定を更新することができます。
					ムコウ	Web ブラウザでのプリンタの状態確認や、設定が無効になります。
			SNMP	*	ユウコウ	SNMP を有効にします。
					ムコウ	SNMP を無効にします。
			プリンタキドウツウチ	*	テイキ　ツウチ	プリンタ起動後、15 秒ごとにネットワークに通知します。
					キドウジノミ	プリンタ起動時のみ、ネットワークに通知します。
					ムコウ	プリンタ起動時にネットワークに通知しません。
			BPP インサツ	*	ユウコウ	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を有効にします。
					ムコウ	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を無効にします。
			IPP インサツ	*	ユウコウ	IPP による印刷を有効にします。
					ムコウ	IPP による印刷を無効にします。
			LPR インサツ	*	ユウコウ	LPR 印刷を有効にします。
					ムコウ	LPR 印刷を無効にします。
			RAW インサツ	*	ユウコウ	RAW 印刷を有効にします。
					ムコウ	RAW 印刷を無効にします。
		アクセスカンリ［注 2］［注 9］［注 11］			ユウコウ	プリンタにアクセスするホストをIPv4アドレスで制限します（IPv4 アドレスの範囲は「Printia LASER Internet Service」で設定します）。
				*	ムコウ	プリンタへのアクセスを制限しません。
	ポートセッテイ	パラレルポート　セッテイ	ソウホウコウ　モード	*	セッテイ	双方向インターフェースを有効にします。
					カイジョ	双方向インターフェースを無効にします。
			INIT ジュシン	*	ユウコウ	INIT 信号を受信したときの初期化動作を有効にします。
					ムコウ	INIT 信号を受信したときの初期化動作を無効にします。
			タイムアウト　ジカン		30 ビョウ	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
		USB ポートセッテイ	タイムアウト　ジカン		30 ビョウ	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位

5

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能（範囲）
ショキ　セッテイ	カンリ／ショキカ	メニューソウサ　セイゲン［注 10］			セッテイ	オペレータパネルをロックし、パスワードの入力を要求します。
				*	カイジョ	オペレータパネルの操作が有効になります。
		LAN　ショキカ				LAN に関する設定値をご購入時の値に戻します。
		セッテイショキカ				すべての設定値をご購入時の値に戻します（LAN に関する設定を除きます）。
		パスワードヘンコウ				オペレータパネルをロックしているときに要求されるパスワードを変更します。パスワードは 4 桁以内の数字を入力します。
		ショウモウヒンリレキショキカ				消耗品レポートに表示される消耗品の交換履歴および警告発生履歴をクリアします。
	ソノタ　ノセッテイ	セツデンモード		*	スリープ	節電 2 に移行後、約 70 秒経過するとコントローラの受信部以外の電源をオフにして消費電力を最低の値にします。 USB ケーブル、パラレルケーブルを接続している場合は、「スリープ」には移行しません。ただし、パラレルケーブル接続時に、接続しているパソコンが、低消費電力モードに移行している場合は、プリンタも「スリープ」に移行します。また、「スリープ」に移行しない状態のときは、「セツデン２」までの移行となります。このとき設定の一覧を印刷すると、節電モード欄に「＊節電２」と表示されます。
					セツデン 1	印刷待機状態のまま、「セツデン　ジカン」で設定した時間を経過すると、自動的に定着器をオフにします。
					セツデン 2	印刷待機状態のまま、「セツデン　ジカン」で設定した時間が経過すると、自動的に定着器と液晶ディスプレイの表示をオフにします。
		セツデン　ジカン		*	10 ビョウ	設定した時間が経過すると、「セツデンモード」（→ P.114）に遷移します。
					1 プン	
					15 フン	
					30 プン	
					60 プン	
					240 プン	
		ブザー			パターン 1	エラー時に鳴動するブザー音を設定します。
				*	パターン 2	
					パターン 3	
					OFF	エラー時にブザーを鳴動させません。
		タッチオン		*	ON	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らします。
					OFF	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らしません。
		インジノウドチョウセイ			8	印刷濃度を設定します。 ［0 ～ 15］数値が大きくなると濃くなります。

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能（範囲）
ショキセッテイ	ソノタ　ノ　セッテイ	シュソウサホウコウ　イチ	キュウシトレイ	0.0 mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットのスキャンする方向（横ライン）の位置を調整します。 ［-3.5 ～ 3.5 ㎜］0.5 ㎜単位
			カセット 1		
			カセット 2［注 5］		
			カセット 3［注 5］		
			リョウメンユニット［注 6］		「リョウメンユニット」の中にレベル 5 として、次のメニューがあります（設定値および設定範囲は他のメニューと同じです）。 ・キュウシトレイ ・カセット 1 ・カセット 2 ・カセット 3
		フクソウサホウコウ　イチ	キュウシトレイ	0.0 mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットの紙送り方向（縦ライン）の位置を調整します。 ［-3.5 ～ 3.5 ㎜］0.5 ㎜単位
			カセット 1		
			カセット 2［注 5］		
			カセット 3［注 5］		
			リョウメンユニット［注 6］		「リョウメンユニット」の中にレベル 5 として、次のメニューがあります（設定値および設定範囲は他のメニューと同じです）。 ・キュウシトレイ ・カセット 1 ・カセット 2 ・カセット 3
		エミュレーションセッテイ		* カイジョ	プリンタを XL ドライバモードで動作させます。
				ESC/P［注 12］	プリンタを ESC/P エミュレーションモードで動作させます。
		カートリッジ　ジュンビ		* ゾッコウ	プロセスカートリッジの交換時期が近づいても印刷を停止しません。
				テイシ	プロセスカートリッジの交換時期が近づくと印刷を停止します。
		カブリテイゲン		ON	用紙全体が薄く汚れているようなときに ON にすると改善する場合があります。ただし ON にすると、印字濃度が薄くなる場合があります。
				* OFF	
インサツセッテイ	キュウシグチ			* カセット 1	標準の給紙カセットから給紙します。
				カセット 2［注 5］	2 段目の給紙ユニット（拡張給紙ユニット上段）から給紙します。
				カセット 3［注 5］	3 段目の給紙ユニット（拡張給紙ユニット下段）から給紙します。
				キュウシトレイ	給紙トレイから給紙します。

5

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能（範囲）
インサツセッテイ	ジドウキュウシ　セッテイ	キュウシトレイ		*	ユウコウ	自動給紙を行います。
		カセット 1			ムコウ	自動給紙を行いません。
		カセット 2［注 5］				
		カセット 3［注 5］				
	ヨウシ　シュルイ	キュウシトレイ		*	ドライバユウセン	ドライバで設定した用紙種類に設定します。
		カセット 1			フツウ	用紙種類を普通紙／再生紙（→ P.134）に設定します。
		カセット 2［注 5］			フツウ L	薄めの普通紙／再生紙、あるいはカールしやすい普通紙／再生紙での印刷トラブルを軽減するために、トナーの定着温度を少し低く設定します。
		カセット 3［注 5］			アツガミ 1	用紙種類を厚紙 1（→ P.134）に設定します。
					アツガミ 2	用紙種類を厚紙 2（→ P.134）に設定します。
					OHP	用紙種類を OHP（→ P.134）に設定します。なお、OHP は、給紙トレイとカセット 1 から印刷可能です。
					ラベルシ 1	用紙種類をラベル紙 1（→ P.134）に設定します。なお、ラベル紙 1 は、給紙トレイからのみ印刷可能です。
					ラベルシ 2	用紙種類をラベル紙 2（→ P.134）に設定します。なお、ラベル紙 2 は、給紙トレイからのみ印刷可能です。
	キュウシトレイ　サイズ			*	A4 LEF	A4 サイズを横置きに設定します。
					A4 SEF	A4 サイズを縦置きに設定します。
					B5 LEF	B5 サイズを横置きに設定します。
					A5 LEF	A5 サイズを横置きに設定します。
					リーガル SEF	リーガルサイズを縦置きに設定します。
					レター LEF	レターサイズを横置きに設定します。
					ハガキ LEF	はがきサイズを横置きに設定します。
					ユーザテイギ	ユーザ定義サイズに設定します。このときの用紙サイズは、「ユーザ定義サイズ」で設定します。
					A3 SEF	A3 サイズを縦置きに設定します。
					B4 SEF	B4 サイズを縦置きに設定します。
	ユーザテイギ　サイズ［注 1］	ユーザテイギ　ハバ			297 mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。［100 ～ 297 ㎜］1 ㎜単位
		ユーザテイギ　ナガサ			420 mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。［148 ～ 420 ㎜］1 ㎜単位
	リョウメンインサツ［注 6］			*	カイジョ	システム印刷時およびESC/P印刷時に両面印刷を行いません（片面印刷）。
					セッテイ	システム印刷時およびESC/P印刷時に両面印刷を行います。

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能（範囲）
インサツセッテイ	インサツ　ホウコウ［注 1］			*	タテ	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。上端／左端の余白は固定になります。
					タテヨハク	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
					ヨコ	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。上端／左端の余白は固定になります。
					ヨコヨハク	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。横余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
	シュクショウ　インサツ［注 1］			*	100%	縮小せずに印刷します。
					75%	75% に縮小して印刷します。
					70%	70% に縮小して印刷します。
					リストインサツ A4	ストックフォーム用の印刷データを 75% に縮小して A4 用紙に横方向で印刷します。
					リストインサツ B4	ストックフォーム用の印刷データを B4 用紙に横方向で印刷します。
	コピー　マイスウ［注 1］				1 マイ	印刷する部数を設定します。［1 ～ 999 枚］
	トジシロ　ホウコウ［注 1］			*	チョウヘン　トジ	長辺側をとじしろとします。
					タンペン　トジ	短辺側をとじしろとします。
	トジシロ　モード［注 1］			*	ヒダリ／ウエ　トジ	左側、または上側をとじます。
					ミギ／シタ　トジ	右側、または下側をとじます。
	トジシロ　リョウ［注 1］	オモテ			0 mm	表面のとじしろ量を設定します。［0 ～ 30 ㎜］ 1 ㎜単位
		ウラ［注 6］			0 mm	裏面のとじしろ量を設定します。［0 ～ 30 ㎜］ 1 ㎜単位
	スムージング［注 1］			*	セッテイ	印刷結果をなめらかにします。
					カイジョ	印刷結果をなめらかにしません。
	トナーセーブ［注 1］			*	カイジョ	トナーを節約しません。
					セッテイ	輪郭部分はそのままに、濃度を抑えて印刷し、トナーの消費を約 30% 節約します。［注 13］ 試し印刷など、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。
	データ　ナシ　インサツ［注 1］			*	カイジョ	データのないページを印刷しません。
					セッテイ	データのないページを印刷します。
	タイマー　カンシ　インサツ［注 1］			*	カイジョ	タイマー監視印刷を行いません。
					30 ビョウ	監視時間を 30 秒にします。
					10 ビョウ	監視時間を 10 秒にします。
	カセットサイズ　ニンシキ			*	レター→ A4	給紙カセットのレター設定を A4 として認識します。
					レター→レター	給紙カセットのレター設定をレターと認識します。

5

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能（範囲）
EP モード セッテイ［注 1］	モジ　コード			* カタカナ	カタカナコード表を使用します。詳しくは「エミュレーション編」をご覧ください。
				グラフィック	拡張グラフィックコード表を使用します。詳しくは「エミュレーション編」をご覧ください。
	キュウシ　イチ［注 7］			* 8.5 mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 8.5 ㎜に設定します。
				22 mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 22 ㎜に設定します。
	ミギ　マージン　イチ			* ヨウシ　ハバ	用紙幅に合わせて右マージンを設定します。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域右端までです。
				136 ケタ	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）に設定します。用紙幅が 136 桁に満たない場合、印刷領域を超えた部分は印刷されません。
	ANK モジ			* ローマン	ANK 文字の書体をローマンにします。
				サンセリフ	ANK 文字の書体をサンセリフにします。
	カンジ　ショタイ			* ミンチョウ	漢字の書体を明朝体にします。
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にします。
	CR コード			* CR ノミ	CR 動作（復帰のみ）を行います。
				CR & LF	CR 動作（復帰）と LF 動作（改行）を行います。
	タテ　ヨハク	タテ　ジョウタン　ヨハク		8.5 mm	縦印刷のときの上端余白を設定します。［給紙位置［注 7］～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
		タテ　サタン　ヨハク		5.0 mm	縦印刷のときの左側余白を設定します。［5.0 ～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
	ヨコ　ヨハク	ヨコ　ジョウタン　ヨハク		8.5 mm	横印刷のときの上端余白を設定します。［給紙位置［注 7］～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
		ヨコ　サタン　ヨハク		5.0 mm	横印刷のときの左側余白を設定します。［5.0 ～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
	インジ　イチ　チョウセイ	タテ　インジ　イチ		0.0 mm	印刷時の縦印字位置を設定します。［-30.0 ㎜～ 30.0 ㎜］0.1 ㎜単位
		ヨコ　インジ　イチ		0.0 mm	印刷時の横印字位置を設定します。［-30.0 ㎜～ 30.0 ㎜］0.1 ㎜単位

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能（範囲）
ソウチジョウホウ	インサツ ページスウ			XXXXX ページ	総印刷ページ数を表示します。
	カウンタ（A4LEF）			XXXXX ページ	A4 サイズ横送り（LEF）換算ページ数を表示します。
	メモリ　ヨウリョウ			XXX MB	標準メモリおよび増設メモリの合計のメモリ容量を表示します。
	メイン　ROM ハンスウ			Ver XX.XX	プリンタのファームウェアの版数を表示します。
	ネットワーク ハンスウ			Ver X.XX	プリンタのネットワーク版数を表示します。
	セイギョチップ　ハンスウ			Ver XX.XX	プリンタの制御チップ版数を表示します。
	エンジン ROM　ハンスウ			Ver X.XX	プリンタのハードウェア制御プログラムの版数を表示します。
	エンジン　ステータス			STATUS XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	センサ　ステータス			STATUS XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	NV コード			XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	カートリッジ　ステータス			XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	カートリッジ　ジョウホウ			ジョウホウ =X	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	USB　ステータス			表示	USB の接続状態を表示します（HIGH SPEED、FULL SPEED、未接続）。
	LAN　ステータス			a.bbb.ccc.dd	LAN の通信状態を表示します。「TCP/IP の動作確認」（→ P.127）をご覧ください。
	IPv4 アドレス　ヒョウジ［注 2］			IPv4 アドレス	現在の IPv4 アドレスを表示します。
				サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
				ゲートウェイ	現在のゲートウェイを表示します。
	IPv6 アドレス　ヒョウジ［注 3］			シュドウ セッテイ	IPv6アドレス設定で手動設定されたIPv6アドレスを表示します。
				グローバル	グローバルアドレスを表示します。
				リンクローカル	リンクローカルアドレスを表示します。
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチ　X-X		* OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。変更しないでください。
				ON	

注 1　:　「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。
アプリケーションで PrintiaXL ドライバを使用して印刷する場合には、オペレータパネルの設定は無効になります。プリンタドライバ側で設定してください。詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

注 2　:　「TCP/IPv4 プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。

注 3　:　「TCP/IPv6 プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。

注 4　:　「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

注 5　:　拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているときに表示されます。

注 6　:　両面ユニット（オプション）を取り付けているときに表示されます。

注 7　:　給紙位置が余白の最小値となります。

注 8　:　Ethernet タイプを設定した場合、電源を切ってから数秒経過後に再び電源を入れてください。

注 9　:　「Printia LASER Internet Service」のアクセス許可リストの許可設定がすべて「無効」になっているときは表示されません。

注10　:　設定について詳しくは、「セキュリティに関する設定」（→ P.130）をご覧ください。
設定を無効にした場合について詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」の説明をご覧ください。

注 11　:　機能について詳しくは「IPv4 アドレスによるアクセス管理」（→ P.130）をご覧ください。

注12　:　ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時に、プリンタの機種を「EPSON ESC/Page」にして印刷するときは、エミュレーション設定を「ESC/P」にします。
なお、プリンタの機種を「Dot Printer」（ ESC/P）や「FUJITSU VSP」（FM シーケンス）にして印刷することはできませんので、ご注意ください。

注13　:　「テスト印刷（印字率約 5% サンプル）」（→ P.122）を使用した場合のトナーセーブ率です。トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。

4 代表的な設定項目とその操作方法

ここでは、オペレータパネルで行える、代表的な機能の設定方法や操作方法について説明します。

設定の一覧印刷

プリンタおよび LAN ポートの、現在の設定内容の一覧を印刷します。設定の一覧は、メニューモードの「システム　インサツ」→「セッテイ　ノ　インサツ」で印刷します。

■印刷例

FUJITSU　XL－xxxx

システム情報

項目		値	項目		値
装置号機	＝	xxxxxxxxx	カートリッジ情報	＝	X
総印刷ページ数	＝	xxxページ	メモリ容量	＝	xxMB
カウンタ(A4LEF換算)	＝	xxxページ	ＵＳＢステータス	＝	HIGH SPEED
／装置寿命ページ数	＝	／xx万ページ	両面ユニット	＝	あり
装置寿命カウンタ	＝	残り　xx％(消耗率　xx％)	給紙トレイダイヤル位置	＝	パネルで設定
定期交換キットカウンタ	＝	残り　xx％(消耗率　xx％)	給紙口情報		
電源投入後総印刷ページ数	＝	xxxページ	給紙トレイ	＝	A4 LEF(横置き)
メインＲＯＭ版数	＝	Ver　X.xx	カセット１	＝	A4 LEF(横置き)
ネットワーク版数	＝	Ver　X.xx	カセット２	＝	A4 LEF(横置き)
制御チップ版数	＝	Ver　X.xx	カセット３	＝	A4 LEF(横置き)
エンジンＲＯＭ版数	＝	Ver　X.xx			

IPアドレス設定

IPv4アドレス設定			IPv6アドレス設定		
ＤＨＣＰ自動取得	＝	設定	固定アドレス	＝	xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx
ＩＰアドレス	＝	xxx.xxx.xxx.xxx	リンクローカル	＝	xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx
サブネットマスク	＝	xxx.xxx.xxx.xxx	グローバル	＝	xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx
ゲートウェイ	＝	xxx.xxx.xxx.xxx	ゲートウェイ	＝	xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx

LAN設定

項目		値	サービス設定		
ＭＡＣアドレス	＝	xxxxxxxxxxxx			
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ	＝	自動認識（100Mbps）	プリンタ検索	＝	有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ４プロトコル	＝	有効	インターネットサービス	＝	有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ６プロトコル	＝	有効	ＳＮＭＰ	＝	有効
印刷ポート番号	＝	9313	プリンタ起動通知	＝	有効
検索ポート番号	＝	9313	ＢＰＰ印刷	＝	有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ４動作状態	＝	0（エラーなし）	ＩＰＰ印刷	＝	有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ６動作状態	＝	0（正常動作中）	ＬＰＲ印刷	＝	有効
ＬＡＮステータス	＝	1.111.111.11	ＲＡＷ印刷	＝	有効
アクセス管理	＝	無効			
プリンタのＵＲＬ(ＩＰｖ４)	＝				
プリンタのＵＲＬ(ＩＰｖ６)	＝				

POINT

・印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、A4SEF、A5SEF、はがきサイズより小さいユーザ定義サイズの用紙は印刷できません。
　印刷した場合は、「サイズ　フイッチ」または「サイズフソク」と表示されますので、オペレータパネルに表示されたサイズの用紙をセットして再度印刷するか、いったん印刷をキャンセルして、他の用紙サイズに変更してから、再度印刷してください。
・用紙がない場合は「ヨウシ ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
・印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
・LAN 設定で「TCP/IPv4 プロトコル」、「TCP/IPv6 プロトコル」を「ムコウ」にしたときは、詳細な LAN 設定内容は印刷されません。また、「エミュレーションセッテイ」を「ムコウ」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

IP アドレスの設定

ここでは、プリンタに IP アドレスを設定する方法を説明します。
設定方法は、お使いの環境（IPv4 アドレス環境／ IPv6 アドレス環境）により異なります。

IPv4 アドレスの場合

本製品に IPv4 アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法があります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

・プリンタに直接設定する手動設定
・プリンタの電源を入れたときに DHCP サーバーから自動的に取得する自動取得設定

なお、IPv4 アドレスの設定は、ネットワークに接続されたパソコンから、添付の「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法については、「ソフトウェアガイド」の「第 2 章 ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

■手動設定の場合

設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「IPv4 アドレス　セッテイ」で、まず「DHCP ジドウシュトク」を解除してから、IPv4 アドレスの設定を行います。
メニューモードで DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

1 DHCP 自動取得を解除します。

「▶」または「◀」スイッチを押して、「カイジョ」と表示させます。「設定」スイッチを押すと「*」が表示され、値が設定されます。初期設定は「* セッテイ」です。

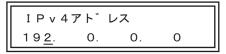
2 IPv4 アドレスを設定します。

1. 「▲」スイッチを押して、次の表示にします。

IPv4アト゛レス　セッテイ
▶DHCPシ゛ト゛ウシュトク

2. 「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

3. 「▶」または「◀」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロックを選択して、「▲」「▼」スイッチで値を設定します。

5

4. 各ブロックすべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが * に移動しているのを確認します（この操作では、IPv4 アドレスはまだ反映されません）。

```
 ＩＰｖ４アドﾞ レス        ▲
*１９２．１６８．   ０．  １０
```

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順 2 の表示に戻した後、「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で手順3～手順4の操作を行ってください。

3 設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、設定を終了します。

本製品に設定値を反映します。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

■DHCP による自動取得の場合

メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「IPv4 アドレス　セッテイ」→「DHCP ジドウシュトク」が「* セッテイ」になっていることを確認します。いったん本製品の電源を切ってから、DHCP サーバーと本製品をネットワークに接続し、本製品の電源を入れてください。プリンタの起動時に IPv4 アドレスを DHCP サーバーから取得します。

POINT

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本製品の電源を再度入れたときに同じ IP アドレスを取得できるように、DHCP サーバーにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「MAC アドレス」をご覧になるか、設定の一覧を印刷してください。
- DHCP による自動取得の場合、IPv4 アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
  取得した IPv4 アドレスは、メニューモードの「ソウチジョウホウ」→「IPv4 アドレス　ヒョウジ」で確認することができます。
- IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IPv4 アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「IPv4 アドレス セッテイ」→「DHCP ジドウシュトク」（「手動設定の場合」（→ P.123）の手順 1 ～手順 2 参照）が「* セッテイ」になっているか確認します。「* カイジョ」の場合は、「* セッテイ」に変更してください（初期値は「* セッテイ」です）。
  設定変更後、メニューモードを解除するとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

IPv6 アドレスの場合

本製品に IPv6 アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法で自動取得できます。また、手動で IPv6 アドレスを設定する方法もあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

- リンクローカルアドレス
  同一ネットワーク内での通信に使用されるアドレスです。リンクローカルアドレスは、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「TCP/IPv6 プロトコル」を「ユウコウ」に設定すると、「fe80::」から始まるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。なお、本製品に設定できるリンクローカルアドレスは 1 つです。

・グローバルアドレス
インターネット経由の通信に使用されるアドレスです。グローバルアドレスの設定には、RA（Router Advertisement）と呼ばれるパケットを送信できるルーターとの接続が必要です。グローバルアドレスは、ルーターから送信された RA に含まれるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。

重要

・リンクローカルアドレスは、ルーターを越えた通信はできません。
・グローバルアドレスは、DHCPv6 を用いたステートフルアドレスを設定できません。ステートレスアドレスのみ設定できます。

■ 自動設定された IPv6 アドレスの確認方法

自動設定された IPv6 アドレスは、メニューモードの「システム　インサツ」→「セッテイノ　インサツ」で設定一覧を印刷し、「IP アドレス設定」内の「IPv6 アドレス設定」欄で確認できます。

■ 手動設定の場合

設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN　セッテイ」で、「TCP/IPv6 プロトコル」を「有効」にしてから、IPv6 アドレスの設定を行います。
メニューモードで「ショキ　セッテイ」→「IPv6　アドレス　セッテイ」の順にクリックし、次の手順で設定してください。

重要

次の IPv6 アドレスは、他の装置等で、すでに用途が定められている予約アドレスのため使用できません。
プリンタに設定しないでください。
・FE80 ～ FEFF で始まるアドレス（リンクローカルアドレス）
・FF00 ～ FFFF で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）
間違って IPv6 アドレスを設定した場合は、正しい IPv6 アドレスに 設定し直してください。

1 プリンタのオペレータパネルの表示が「オンライン」または「セツデン」になっていることを確認します。

POINT

プリンタの「節電中」ランプが点灯し、液晶表示が消えている場合は、「節電解除」スイッチを押して、節電状態を解除してから設定してください。

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードに入ります。

```
メニュー
▶システム　インサツ
```

5

3 「▶」スイッチを押します。

```
メニュー
▶ショキ　セッテイ
```

4 「▼」スイッチを押して「IPv4　アドレス　セッテイ」と表示し、「▶」スイッチを押します。

```
　ショキ　セッテイ　　　　　▲
▶ＩＰｖ６アト゛レス　セッテイ▼
```

5 「▼」スイッチを押して「IPv6　アドレス　セッテイ」と表示し、「▼」スイッチを押します。

```
　ＩＰｖ６アト゛レス（１／３）▲
＊００００：００００：００００▼
```

6 「▶」「◀」スイッチで、カーソルを移動して「▲」「▼」スイッチで（0 ～ F）を 1 桁ずつ設定します。

```
　ＩＰｖ６アト゛レス（１／３）▲
　２００１：００００：００００▼
```

7 （1 ／ 3）画面の設定が終わったら、「▶」スイッチを押して、（2 ／ 3）、（3 ／ 3）も設定します。

8 すべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが「＊」に移動しているのを確認します。

ここではまだ IPv6 アドレスは反映されていません。

```
　ＩＰｖ６アト゛レス（１／３）▲
＊２００１：ＤＢ８０：ＦＦＦＦ▼
```

9 設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、設定を終了します。

本製品に設定値を反映します。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

設定するアドレスは、ルーターに設定されている、ＲＡ と同じアドレスを設定してください。
合わせていない場合は、プリンタと通信できません。

例)

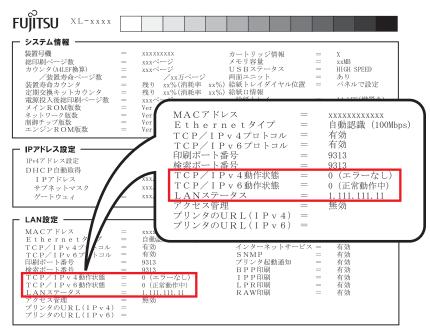
ルーターの RA で設定しているアドレス：
2001:0DB8:1111:1000::

ルーターアドレス：
2001:0DB8:1111:1000:B494:35D0:8F88:2A3A

設定アドレス：
2001:0DB8:1111:1000:0217:42FF:FE78:A974

設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

TCP/IP の動作確認

TCP/IPv4、TCP/IPv6 が正常に動作しているかどうかの確認は、メニューモードの「システム　インサツ」→「セッテイ　ノ　インサツ」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IPv4, TCP/IPv6 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。

TCP/IPv4 動作状態

表：TCP/IPv4 の動作状態一覧

コード	内容と処置
0	TCP/IPv4 は正常に動作しています。
1	IPv4 アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。

5

表：TCP/IPv4 の動作状態一覧

コード	内容と処置
2	DHCP により TCP/IPv4 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IPv4 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバーの電源が入っているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切り、再び入れてください。
5	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバーの電源が入っているか確認してください。
6	IPv4 アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IPv4 アドレスを設定してください。 DHCP で IPv4 アドレスを自動取得している場合は、電源を再度入れてください。 STP（スパニングツリープロトコル）の設定があるハブユニットを使用している場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると、プリンタの IPv4 アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

TCP/IPv6 動作状態

表：TCP/IPv6 の動作状態一覧

コード	内容と処置
0	TCP/IPv6 は正常に動作しています。
1	IPv6 グローバルアドレス取得中です。

LAN ステータス

LAN の接続状態を「a.bbb.ccc.dd」の形式で表示します。各部の意味は次のとおりです。

表：LAN ステータス一覧

各部	意味
a	ネットワークに接続されているかどうかを表します。 ・1：ネットワークに接続されています。 ・0：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
bbb	プリンタのデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0：Half/Full 無効／ 2：Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 3：Half/Full 有効） 注：メニューモードの「LAN セッテイ」→「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。
ccc	ハブなど、プリンタの接続先のデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 2：Full 有効／ 3：Half/Full 有効） 注：ハブによっては「000」と表示される場合があります。このときは、ハブのマニュアルで転送能力を確認してください。
dd	現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…0：Half ／ 1：Full ・2 桁目…0：10Mbps ／ 1：100Mbps ／ 2：1000Mbps 注：a が 0 のときは、「－－」と表示されます。

5

セキュリティに関する設定

ここでは、本製品を使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

POINT

- セキュリティに関するすべての機能は、「Printia LASER Internet Service」から設定することができます。詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。
  「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、「Printia LASER Internet Service」からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート／サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効／無効を設定します。
設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「サービス　セッテイ」から行います。

POINT

- 各設定を無効にした場合について詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」のネットワークサービスの説明をご覧ください。

IPv4 アドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン（IPv4 アドレス）を制限するかしないかを設定します。
設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「アクセスカンリ」から行います。

POINT

- IP アドレスによるアクセス管理は、IPv4 アドレスのみ使用できます。
- IPv4 アドレスを制限する場合は、あらかじめ「Printia LASER Internet Service」のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザーによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワード（4 桁以内の数字）で制限します。
設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「カンリ／ショキカ」→「メニューソウサ　セイゲン」から行います。
パスワードの初期値は、「9999」です。パスワードの変更は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「カンリ／ショキカ」→「パスワード　ヘンコウ」から行ってください。
「メニューソウサ　セイゲン」を有効にすると、オペレータパネルでメニューモードに移行するときにパスワードの入力を要求されます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
▶ [_        ]
```

「▶」または「◀」スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、「▲」または「▼」スイッチで値を設定した後、「設定」スイッチを押してください。

POINT

- パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。
  - 「Printia LASER Internet Service」で新しいパスワードを設定
    「管理者モード」→「オプション情報」→「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。
  - オペレータパネル操作制限無効モードで起動
    「メニュー」スイッチと「設定」スイッチを同時に押しながら、本製品の電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニューモードに入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

消耗品の管理

プリンタのプロセスカートリッジなど、消耗品の警告発生履歴の保存と出力を行うことができます。

POINT

- プロセスカートリッジの交換時期が近づいたときには印刷を停止し、通知する方法もあります。メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「ソノタ　ノ　セッテイ」→「カートリッジ　ジュンビ」で「テイシ」を選択してください。
- 「Printia LASER Internet Service」の「E メール送信設定」を利用すると、消耗品や定期交換部品の交換要求、ハードエラーの発生などを、E メールで受信することができます。
  詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

■履歴の保存

履歴は最大 500 件まで自動的に保存されます。500 件以上になった場合は、古いものから順に削除され、最新の 500 件を保存します。

■履歴の出力

履歴は次の方法で出力できます。

5

・ レポート印刷
　メニューモードの「システム　インサツ」→「ショウモウヒン　レポート」で消耗品履歴レポートの印刷を行います。
　消耗品履歴レポートの出力例

```
XL-XXXX  消耗品履歴レポート

装置情報
MACアドレス：xxxxxxxxxxxx
ROM版数    ：Ver xx.xx

[ID] [履歴採取日時]      [総印刷頁数] [カウンタ(A4換算)] [電源投入時間]    [ログ情報]      [要因]
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX        定期交換部品    交換キット警告発生
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX        定期交換部品    交換キット警告解除
     :
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX        カートリッジ    準備警告発生
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX        装置寿命        寿命残り20%
```

・「電源投入時間」では、電源が入れられていた累積時間が表示されます。単位は、時間になります。

・「Printia LASER Internet Service」による CSV ファイル出力
　「管理者モード」→「オプション情報」→「消耗品履歴の保存」で CSV ファイルとして保存することができます。詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

■履歴の消去

履歴は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「カンリ／ショキカ」→「ショウモウヒンリレキショキカ」で「ジッコウ」を選択すると消去できます。

第 6 章

使用できる用紙と保管方法

この章では、本製品で使用できる用紙とその保管方法について説明します。

1 使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係は、次の表のとおりです。

表：給紙方法と用紙サイズ

給紙方法	用紙種類	重量	収容枚数	用紙サイズ
給紙トレイ	普通紙／普通紙 L［注 1］（再生紙含む）	60 ～ 90g/ ㎡	約 200 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）	A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、A5LEF、リーガル SEF、レター LEF、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 297 ×長さ 148 ～ 432 ㎜）
	厚紙 1	91 ～ 157g/ ㎡	横ガイドの上限線まで	
	厚紙 2	158 ～ 216g/ ㎡		
	ラベル紙 1	60 ～ 90g/ ㎡	約 75 枚	
	ラベル紙 2	91 ～ 135g/ ㎡		
	郵便はがき	190g/ ㎡	約 60 枚	ハガキ LEF
	OHP フィルム	—	約 75 枚	A4LEF、A4SEF、レター LEF
	長尺紙	60 ～ 135g/ ㎡	1 枚ずつ手でセット	幅 297（固定）×長さ 432.1 ～ 900 ㎜
給紙カセット（標準）	普通紙／普通紙 L［注 1］（再生紙含む）	60 ～ 90g/ ㎡	約 250 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）	A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、A5LEF、リーガル SEF、レター LEF、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 297 ×長さ 148 ～ 432 ㎜）
	厚紙 1	91 ～ 157g/ ㎡	横ガイドの上限線まで	
	厚紙 2	158 ～ 216g/ ㎡		
	OHP フィルム	—	約 100 枚	A4LEF、A4SEF、レター LEF
拡張給紙ユニット（オプション）	普通紙／普通紙 L［注 1］（再生紙含む）	60 ～ 90g/ ㎡	約 250 枚または 550 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）	A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、A5LEF、リーガル SEF、レター LEF、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 297 ×長さ 148 ～ 432 ㎜）
	厚紙 1	91 ～ 157g/ ㎡	横ガイドの上限線まで	
	厚紙 2	158 ～ 216g/ ㎡		

注 1　：　普通紙 L は、薄めの普通紙／再生紙、またはカールしやすい普通紙／再生紙での印刷トラブルを軽減するために、トナーの定着温度を少し低く設定します。

重要

- 用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認することをお勧めします。
- はがきは、郵便はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- ラベル紙、郵便はがき、長尺紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
- ラベル紙を印刷する場合は、ラベル紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。重量が 60 ～ 90g/ ㎡の場合は「ラベル紙 1」を、91 ～ 135g/ ㎡の場合は「ラベル紙 2」を選択してください。
- ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定にあわせてください。
- プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- A4 LEF より長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

・厚紙を印刷する場合は、厚紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。重量が 91 ～ 157g/ ㎡の場合は「厚紙 1」を、158 ～ 216g/ ㎡の場合は、「厚紙 2」を選択してください。指でこすると、印字がはがれることがありますので、「普通紙」または「普通紙 L」は選択しないでください。
・OHP フィルムを印刷する場合、プリンタドライバの用紙サイズと給紙方向の設定は、「A4LEF、A4SEF、レター LEF」のいずれかを選択してください。
・ユーザ定義サイズ用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、本製品が故障するおそれがあります。
・ユーザ定義サイズ用紙に印刷する場合は、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。詳しくは、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.196）をご覧ください。
・幅が 297 ㎜未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
・OHP フィルム、ラベル紙、郵便はがきは拡張給紙ユニットから印刷できません。
・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
・用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。
・ユーザ定義サイズ用紙の印刷において、シワ／斜行／角折れ／二重送り／紙詰まりなどが発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール／反りを直してから用紙をセットしてください。
また、高温／高湿環境や低温／低湿環境を避けて、保管／運用してください。
・用紙の状態によっては、紙詰まりやシワ／カールが発生する場合があります。
次のように対処することで軽減できる場合がありますので、お試しください。改善されない場合は、「用紙保管上のご注意」（→ P.142）をご確認ください。
1. 印刷方向を変えてみる（90°または 180°）。
2. 用紙を裏返して印刷する面を変えてみる。
3. プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 L」（トナーの定着温度を少し低くする設定）にしてみる。
・A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。
A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

使用できる用紙の種類

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用できます。本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。
一般の市販品には、本製品に適さないものもあります。できるだけ「印刷確認済みの用紙」の推奨用紙をご使用ください。詳しくは、「印刷確認済みの用紙」（→ P.205）をご覧ください。

表：推奨する普通紙の仕様

項目	測定方法	推奨仕様［注 1］
坪量	－	64 ～ 68g/ ㎡
連量	－	55 ～ 58 kg
紙厚	JIS P-8118	88 ～ 94 μ m
密度	－	0.68 ～ 0.74g/cm³
平滑度	JIS P-8119	表：23 ～ 47 秒、裏：20 ～ 37 秒
剛度	JIS P-8143	縦：70 ～ 123cm³/100、横：28 ～ 60cm³/100
水分	JIS P-8127	4 ～ 5%
摩擦係数	JIS P-8147	静止：0.45 ～ 0.75、動：0.40 ～ 0.70
紙質	－	中性紙
すき目方向	－	用紙の搬送方向と同じすき目の用紙［注 2］

注 1　：　開封直後の用紙を常温常湿環境（23 ℃、50%RH）で測定した値

注 2　：　A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙、A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 230 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものを使用してください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、紙詰まり、装置破損の原因となります。
また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送／印刷／定着に関係する部品が汚損／変質／摩耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。
用紙全面にプレプリントされた用紙を使用する場合は、プレプリントは、ベタ印刷ではなく、網点印刷された用紙をお使いください。

重要

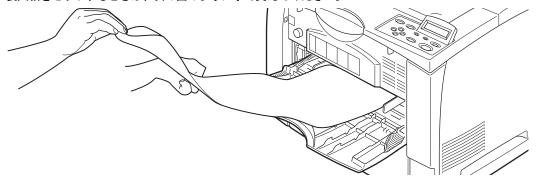
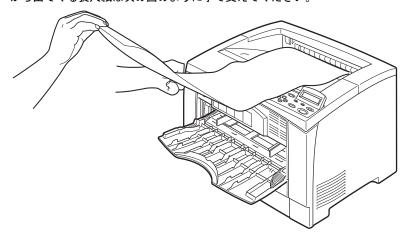
- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度：A4 サイズで± 2 ㎜程度（普通紙推奨用紙の場合）
  - 用紙の傾き：100 ㎜あたり± 1 ㎜程度（普通紙推奨用紙の場合）
  - 画像の伸縮：100 ㎜あたり± 1 ㎜程度（普通紙推奨用紙の場合）

  ［注］：普通紙推奨用紙以外の用紙では、バラツキはより大きくなります。

長尺紙

- 縦や横に長いデータ（900 ㎜の長さまで）を印刷することができます。印刷は Printia XL ドライバのみ使用可能です。
- 長尺紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
  給紙トレイに用紙をセットする方法は、「給紙トレイにセットする」（→ P.72）をご覧ください。
- 長尺紙は、「印刷確認済みの用紙」に記載の長尺紙をご使用ください。その他の用紙を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。
  本製品で使用できる長尺紙については、「印刷確認済みの用紙」（→ P.205）をご覧ください。
- 長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

重要

- 幅が 297 ㎜未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- アプリケーションによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- 長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を充分に（10 ㎜以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- 用紙サイズスイッチは「パネルで設定」に合わせてください。
- 長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。
- 長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。

- 長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- 印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙詰まりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

郵便はがき

郵便はがきは、郵便局から発売されている通常はがきをご使用ください（ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く）。はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください（両面印刷機能には、対応していません）。
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2 ㎜以内の反りになるように修正してから印刷してください。

郵便はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- 印刷面を上にしてセットしてください。
- 給紙トレイに横送り（LEF）でセットしてください。
- 使用するアプリケーションの設定内容と印刷方向に合わせて郵便はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

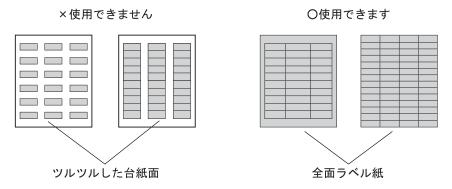
OHP フィルム

定着時の熱（約 230 ℃）で溶けたり、変質したりしないものを使用してください。
本製品で使用できる OHP フィルムについては、「印刷確認済みの用紙」（→ P.205）をご覧ください。

POINT

- OHP フィルムは、給紙カセット（標準）および給紙トレイで印刷できます。

ラベル紙

・ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものを使用してください。また、粘着剤が定着時の熱（約 230 ℃）で溶けたり変質したりしないものを使用してください。

本製品で使用できるラベル紙については、「印刷確認済みの用紙」（→ P.205）をご覧ください。

重要

・OHP フィルムやラベル紙を使用するときは、レーザプリンタ用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認したうえで使用してください。
・ラベル紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定に合わせてください。

6

2 使用できない用紙

次の用紙は、本製品では使用できません。

紙詰まり、二重送り、斜行を起こしやすい用紙

- 厚すぎる用紙（216g/ ㎡より厚い用紙）や、薄すぎる用紙（60g/ ㎡未満）
- 湿っている用紙、濡れている用紙、乾燥しすぎている用紙
- 一度印刷された用紙（複写機や、他のプリンタで印刷された用紙、本製品で印刷済みの用紙）
  ※両面印刷は、本製品で両面ユニット（オプション）を使用しての自動両面印刷に限ります。
- カール（反り）・シワ・折り目・角折れのある用紙・破れている用紙・波打っている用紙
- 表面が平滑（ツルツル）すぎる用紙
- 静電気で用紙どうしが密着している用紙、静電気を帯びている用紙
- 四角い形状（長方形、正方形）でない用紙
  ※四角形でも、ひし形や平行四辺形などの用紙は使えません
- 裁断部のバリが大きい用紙
- バインダー穴や、ミシン目のある用紙
- 用紙の搬送方向と異なるすき目の用紙
  A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙、
  A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

印刷品質低下の原因となる用紙

- ざら紙や和紙、繊維質の多い用紙、表面が滑らかでない用紙
- 封筒
- 酸性紙（中性紙を使用してください）

プリンタの故障の原因となる用紙

- 表面を加工、または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、メールシール紙など）
- 貼り合わせた用紙や、糊などが付いている用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙など）
- 紙粉の多い用紙
- インクジェット専用紙、インクジェットプリンタ共用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
- 水転写紙、布地転写紙
- 絵入りはがき
- クリーンルーム用の用紙（無塵紙）
- 炭酸カルシウムを多く含んだ用紙
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外の「ラベル紙」（→ P.139）
- タックフィルム

・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230 ℃の熱でガスが発生したりするインクを使用したプレプリント用紙
・230 ℃の熱で溶けたり、変質する用紙

両面印刷できない用紙

次の用紙は両面印刷では使用できません。

・厚紙（91g/ ㎡～ 216g/ ㎡）、OHP フィルム、ラベル紙、ユーザ定義サイズ用紙、長尺紙、郵便はがき

給紙カセットで使用できない用紙

ラベル紙、郵便はがき、長尺紙は、給紙カセットでは使用できません。給紙トレイを使用してください。

6

3 用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。次の保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

保管場所

用紙は次のような場所に保管してください。

・暗く、湿気の少ない、平らな書棚のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

■保管場所として適さない場所

次のような場所は避けてください。

・床の上（直接置く）
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生する場所
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
・複写機、空調機、ヒーター、ダクトの近く

保管方法

次のような状態で保管してください。

・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・本製品を長期間にわたり使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

POINT

・長時間放置した用紙を使用した場合、次のような現象が発生し、うまく印刷できない場合があります。
　・印刷した用紙が丸まり、排出不良となる
　・印刷した用紙にシワが発生する
　・紙詰まりが発生する
・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
　また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
・用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。

第 7 章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

1　紙詰まりになったとき

紙詰まりが発生したときの対処方法は、次のとおりです。

紙詰まり発生時の状態と発生場所

発生時の状態

紙詰まりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに「カミヅマリ」と表示されます。また、エラーメッセージには、「キュウシトレイ」「プリンタナイブ」などのように紙詰まりが発生した場所も表示されます。
紙詰まりに関するエラーメッセージと対処時の参照先については、次の表をご覧ください。

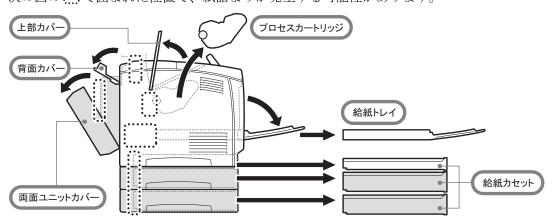
表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	参照先
2200　カミヅマリ キュウシトレイ	・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）
2201　カミヅマリ カセット 1	・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.146） ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）
2202　カミヅマリ カセット 2	
2203　カミヅマリ カセット 3	
2210　カミヅマリ プリンタナイブ	「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）
2211　カミヅマリ プリンタナイブ	・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）
2212　カミヅマリ キュウシトレイ　ヲ　ヒキダス	
2213　カミヅマリ リョウメン　ユニット	・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155） ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.161）
2221　カミヅマリ ハイシグチ	・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.152） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）
2222　カミヅマリ ハイシグチ	
2223　カミヅマリ ハイシグチ	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	参照先
2232　カミヅマリ リョウメン　ユニット	・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.155) ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.161)
2233　カミヅマリ リョウメン　ユニット	
2234　カミヅマリ リョウメン　ユニット	
2312　ヨウシノコリ プリンタナイブ／リョウメン [注]「／リョウメン」は両面ユニットを取り付けている場合	
2321　ヨウシノコリ ハイシグチ	・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.152) ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.155)
2333　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット	・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.155) ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」(→ P.161)

発生場所

次の図の ⬚ で囲まれた位置で、紙詰まりが発生する可能性があります。

※グレーで塗られている部分はオプション品です。

紙詰まりを防ぐために

紙詰まりを防ぐため、次の点を確認してください。

- プリンタを水平に設置する
- 適切な用紙を使用する
- 給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
- カールしていない用紙を使用する
- 給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む
- A4 サイズの場合は、用紙をセットする向きを変えてみる
  A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで紙詰まりが改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。
- セット方向に適した用紙を使用する
  A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。
  A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

詰まった用紙の取り除き方

オペレータパネルで紙詰まりが発生した場所を確認し、以降で説明する部位ごとの取り除き方をご覧になり、詰まった用紙を取り除いてください。
詰まった用紙をすべて取り除いてカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。

重要

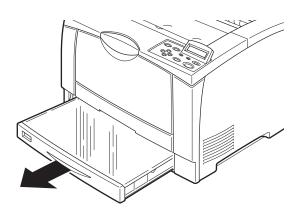
- 詰まった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、詰まった用紙を完全に取り除いてください。
- 詰まった用紙を取り除いた後に、必ず上部カバーを一度開き、内部に紙が残っていないことを確認します。その後、上部カバーを閉じてください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。
- 上部カバーを開くと、オペレータパネルのメッセージが「0006 カバーオープン ウエ / ハイメンカバー」と表示されます。上部カバーを開く前に紙詰まりのエラーメッセージ内容を確認してください。
  また、上部カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。

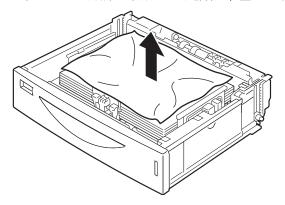
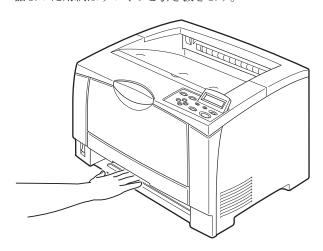
⚠注意

- 詰まった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
  ネックレスやネクタイなどを身に着けていると、プリンタ内部に巻き込まれ、けがの原因になることがあります。必ず外してから操作してください。
  プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- 詰まった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
  紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。
  なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。

給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く

給紙カセット付近で詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 カセットを本体から引き抜きます。

2 カセット内にシワのある用紙があれば取り除きます。

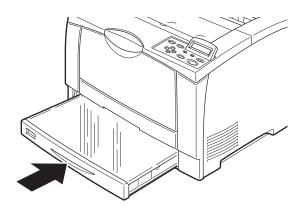
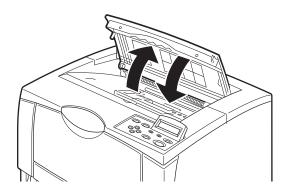
セットしてある用紙が乱れている場合は、整えてください。

3 プリンタの奥に詰まった用紙がないか確認します。

詰まった用紙はゆっくりと引き抜きます。

POINT

・長い用紙が詰まった場合、詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。
長い用紙が詰まった場合は、「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）の手順 7（→ P.158）をご覧になり、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

重要

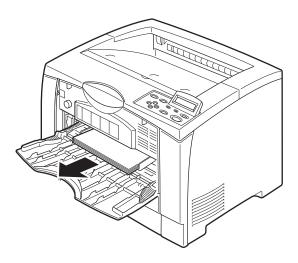
・オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜いて確認してください。
・手を入れる部分が狭くて手が入らない場合は、給紙トレイも引き抜いてください。給紙トレイの引き抜き方は、「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→P.149）をご覧ください。

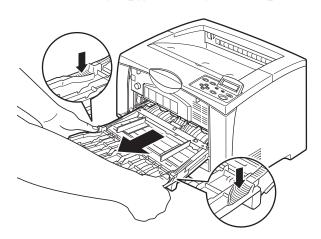
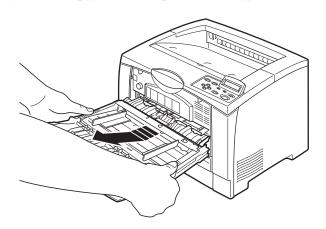
4 カセットを、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

5 上部カバーを開いてプロセスカートリッジを取り外し、内部に用紙が残っていないことを確認して閉じます。

POINT

- トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 上部カバーを開くと、オペレータパネルのメッセージが「0006 カバーオープン ウエ / ハイメンカバー」と表示されます。
  また、上部カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。

給紙トレイで詰まった用紙を取り除く

給紙トレイで詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 **セットされている用紙を取り出します。**

2 **給紙トレイを引き抜きます。**

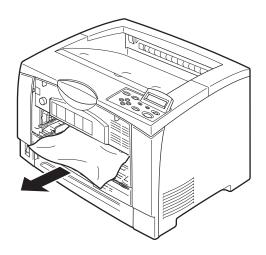
1. 両側のくぼみの部分を持ちながら、給紙トレイを途中で止まる位置まで引き出します。

7

2. 給紙トレイを持つ手の位置を、図のように持ち替えて引き抜きます。

POINT

・給紙トレイを引き抜かなくても、詰まった用紙を取り除ける場合もあります。

3 本体の奥に詰まった用紙がないか確認します。

詰まった用紙はゆっくりと引き抜きます。

POINT

・長い用紙が詰まった場合､詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。
長い用紙が詰まった場合は､「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」(→ P.155)の手順 7(→ P.158)をご覧になり、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

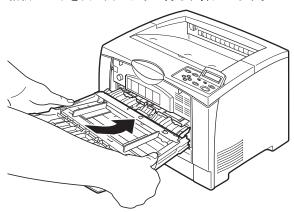
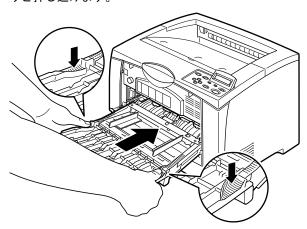
重要

・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

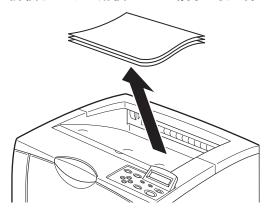
4 給紙トレイを本体に取り付けます。

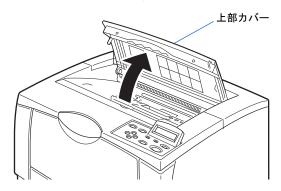
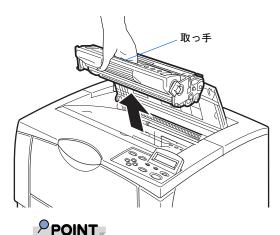
1. 給紙トレイを次の図のように持ち、挿入します。

2. 給紙トレイの両側にあるくぼみの部分を持ち、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

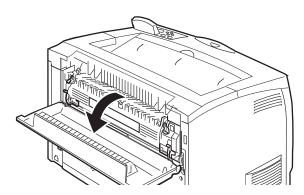
7

定着器付近で詰まった用紙を取り除く

定着器付近で詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 **排紙トレイに用紙がある場合は取り除きます。**

2 **上部カバーを開きます。**

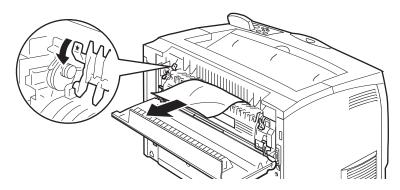
上部カバーを開くときは、必ず上部カバー開閉用のくぼみを使って開いてください。

3 **プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。**

POINT

・トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

4 背面カバーを開きます。

POINT

- 両面ユニットを取り付けている場合は、「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→P.161）をご覧になり、両面ユニットのカバーを開いてから、背面カバーを開いてください。
- 背面カバーを開くと、オペレータパネルのメッセージが「0006 カバーオープン ウエ / ハイメンカバー」と表示されます。
  また、背面カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。

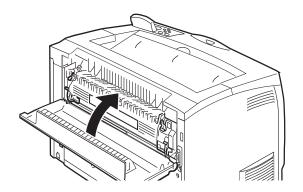
5 ★印の付いたレバーを矢印の方向に倒し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

途中で用紙が破れている場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

POINT

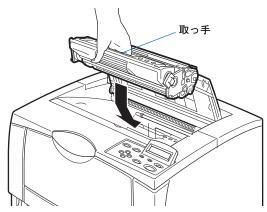
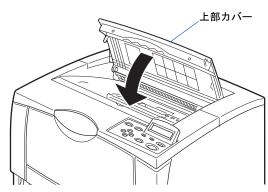
- ★印の付いたレバーは、手を離すと元の位置に戻ります。
  左右にある緑色のレバーは、下がった状態にしておいてください。
  左右にあるオレンジ色のレバーは、上がった状態にしておいてください。
- 長い用紙が詰まった場合、詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、定着器から詰まった用紙を引き抜くと、定着器がトナーで汚れる場合があります。
  長い用紙が詰まった場合は、上部カバーを開いてプロセスカートリッジを取り外し、プリンタ内部から用紙を引き抜いてください。

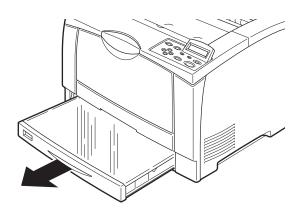
重要

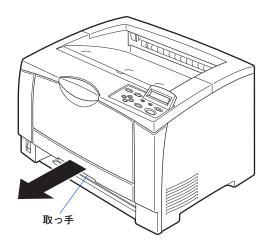
- 定着器は高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、充分に注意してください。

6 背面カバーを閉じます。

7 内部に用紙が残っていないことを確認します。

8 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入します。

取っ手を下に押し、所定の位置にセットしてください（手ごたえがあるまで押し込んでください)。

9 上部カバーを閉じます。

プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く

プリンタ内部に詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 **カセットを本体から引き抜きます。**

2 **給紙トレイを本体から引き抜きます。**

■給紙トレイを開いていない場合
給紙トレイ引き抜き用取っ手を持ち、引き抜きます。

7

■給紙トレイを開いている場合

1. 両側のくぼみの部分を持ちながら、給紙トレイを途中で止まる位置まで引き出します。

2. 給紙トレイを持つ手の位置を、図のように持ち替えて引き抜きます。

POINT

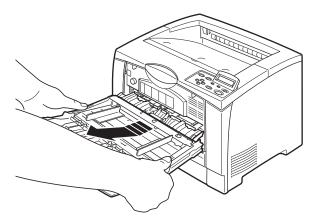
・給紙トレイを引き抜かなくても、詰まった用紙を取り除ける場合もあります。

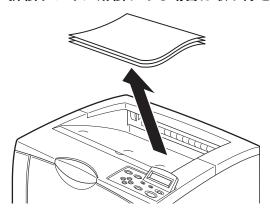
3 本体の奥に詰まった用紙がないか確認します。

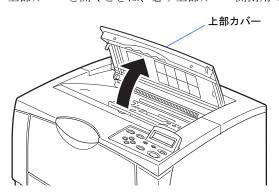
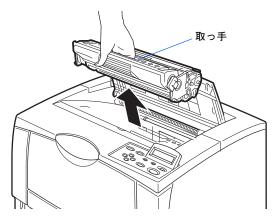
詰まった用紙はゆっくりと引き抜きます。

POINT

・長い用紙が詰まった場合､詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。
　長い用紙が詰まった場合は､「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）の手順 7（→ P.158）をご覧になり、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

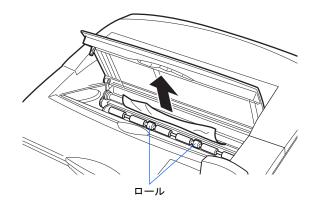
重要

・オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は､すべてのカセットを引き抜いて確認してください。
・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

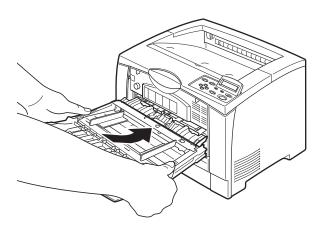
4 排紙トレイに用紙がある場合は取り除きます。

5 上部カバーを開きます。

上部カバーを開くときは、必ず上部カバー開閉用のくぼみを使って開いてください。

6 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げます。

POINT

・トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

7 プロセスカートリッジを取り出した奥を確認し、詰まっている用紙や破れた紙片が残っていたら、取り除きます。

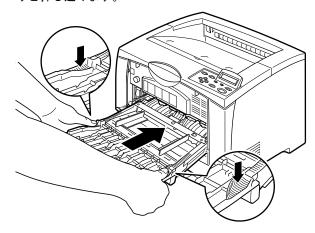
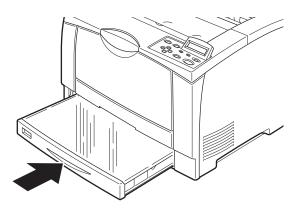
用紙がきつくはさまっている場合は、下図の位置にあるロールを回してください。
用紙がたるみ、簡単に取り除くことができます。
ロールを回しにくい場合は、給紙トレイを外すと回しやすくなります。

POINT

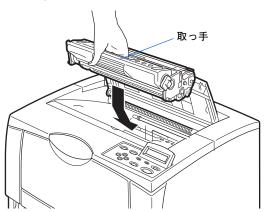
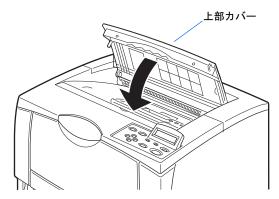
・長い用紙が詰まった場合､詰まった用紙にトナーが未定着のまま残っていることがあります。そのため、給紙トレイ、給紙カセット側から詰まった用紙を引き抜くと、用紙搬送ローラなどがトナーで汚れる場合があります。
長い用紙が詰まった場合は、プリンタ内部からロールを回して用紙を取り除いてください。

8 給紙トレイを本体に取り付けます。

1. 給紙トレイを次の図のように持ち、挿入します。

2. 給紙トレイの両側にあるくぼみの部分を持ち、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

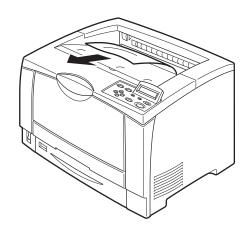
9 カセットを、本体の奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

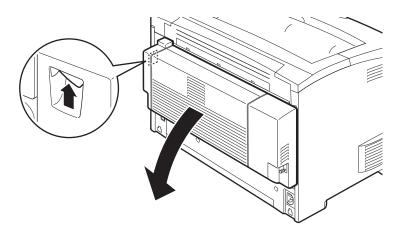
7

10 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入します。

取っ手を下に押し、所定の位置にセットしてください（手ごたえがあるまで押し込んでください）。

11 上部カバーを閉じます。

両面ユニットに詰まった用紙を取り除く

両面ユニットに詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

排紙口付近に詰まった用紙を取り除く

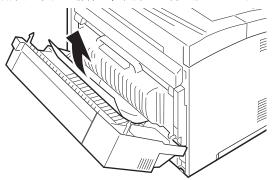
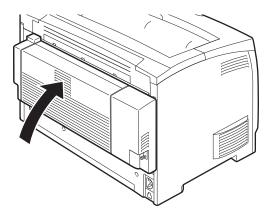
排紙口を確認し、詰まっている用紙を取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

両面ユニットのカバー内に詰まった用紙を取り除く

1 **両面ユニットの左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニットのカバーを開きます。**

POINT

・両面ユニットのカバーを開くと、オペレータパネルに「0023 カバーオープン　リョウメンカバー」というエラーメッセージが表示されます。
　また、両面ユニットのカバーを閉じると、エラーメッセージの内容が変わる場合があります。

7

2 カバー内部を確認し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

用紙が破れた場合は、紙片が内部に残っていないかどうかを確認してください。

3 両面ユニットのカバーを閉じます。

2 故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。まず、次の各項目をご確認ください。

POINT

・パソコンのアプリケーションからの印刷時やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『ソフトウェアガイド』の「第 9 章 こんなときには」をご覧ください。

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
電源が入らない 電源を入れてもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が入っている（「｜」側に倒れている）ことを確認してください。 ・他の電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。	・「安全上のご注意」（→ P.9） ・『設置ガイド』 ・「各部の名称と機能」（→ P.22）
印刷されない	・プリンタの電源が入っていない。 ・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタUSBケーブルが抜けている。 ・オンライン状態でない。	・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタUSBケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、「オンライン」と表示されていることを確認してください。	・『設置ガイド』 ・「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.32） ・「パラレルケーブル接続の場合」（→ P.36） ・「プリンタ USB ケーブル接続の場合」（→ P.35）
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	A4 サイズの用紙をセットしているのに、プリンタがレターサイズと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが表示される。	・Printianavi 機能を利用してプリンタの状態を表示し、カセットの用紙サイズを確認してください。 ・カセットの縦／横ガイドのクリップが正しくセットされているか確認してください。	・『ソフトウェアガイド』 ・「用紙をセットする」（→ P.62）
オペレータパネルのスイッチが機能しない	オペレータパネルの操作が制限されている。	オペレータパネルの操作制限を解除してください。	「オペレータパネルの操作制限」（→ P.130）
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない。 ・プリンタの状態で効かないスイッチがある。	スイッチの中央部をしっかり押してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.103）
オペレータパネルの液晶表示に何も表示されていない	節電モード（節電2またはスリープモード）に入っています。	オペレータパネルの「節電解除」スイッチを押して節電を解除してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.103）
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。 ・給紙カセットの装着が不完全。 ・両面ユニットの装着が不完全。	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 ・両面ユニットを完全に装着してください。	・「用紙をセットする」（→ P.62） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.144） ・「両面ユニットの取り付け」（→ P.49）

7

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
電源を切っても、LED が点灯したまま	プリンタがスリープモード中に電源を切った。	プリンタがスリープモード中は、電源が切れるまで約 10 秒かかります。 電源を切った後、約 10 秒お待ちください。	
用紙が傾く、破れる、詰まる	・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・給紙トレイや給紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。用紙やプリンタの設置状態に異常がなければ、紙送りローラが汚れていないか確認してください。	・「安全上のご注意」（→ P.9） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.133） ・「プリンタを清掃する」（→ P.86）
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。	・「用紙をセットする」（→ P.62） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.133） ・「プリンタを清掃する」（→ P.86）
紙詰まりが発生した	・用紙がくっつきやすい。 ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・印刷中に給紙カセットを引き抜いた。 ・給紙カセットが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・用紙のセット方向を確認してください（A4 は横送り、縦送りの両方でセットできます）。 B5、A5、レターサイズの用紙は、横送りでセットしてください。 A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦送りでセットしてください。 ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。 ・A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。 ・A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。	・「安全上のご注意」（→ P.9） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.133） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.144） ・「プリンタを清掃する」（→ P.86）

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切った。 ・紙詰まりが発生している。 ・給紙カセットのふたがずれている。 ・拡張給紙ユニットの固定クリップが外れている、または外れかけている。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・電源を「○」側に倒して切り、数秒経過後に入れてください。 ・給紙カセットのふたは、必ず閉めて使用してください。 ・拡張給紙ユニット内に、固定クリップが落ちていないか確認してください。 ・拡張給紙ユニット内の固定クリップが外れかけていないか確認してください。	・『設置ガイド』 ・「紙詰まりになったとき」（→ P.144）
エラーメッセージが表示され、印刷されない	─	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。	「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）
裏面が汚れる	・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 ・転写ローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。	・「プリンタを清掃する」（→ P.86） ・「基本的な操作方法」（→ P.109） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.133）
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている。 ・給紙トレイから用紙を補給している。	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「ON」にしてください。 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。	「基本的な操作方法」（→ P.109）
プロセスカートリッジを取り付けても、カートリッジなしとエラーが表示される	・他社製のプロセスカートリッジを取り付けている。 ・プロセスカートリッジが故障している。	・他社製のプロセスカートリッジを使用していないか確認してください。 ・上部カバーを開いている場合には、上部カバーを閉じてください。 純正のプロセスカートリッジを使用していて、次のエラーメッセージが表示される場合にはプロセスカートリッジが故障しています。新しいプロセスカートリッジに交換してください。 ＫＯＯ４　カートリッシ゛　エラー プロセスカートリッシ゛フイッチ	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される	印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	─
印刷中にクールダウンと表示される	・大量に両面連続印刷した。 ・用紙サイズが切り替わった。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	─
・液晶ディスプレイの表示が判読できない ・プリンタの動作が安定しない ・ハングアップする	静電気による誤作動が起きた。	アースが正しく接続されていることを確認してください。	「安全上のご注意」（→ P.9）

7

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
連続印刷にもかかわらず､印刷速度が遅い（1ページ以下／分）	・アプリケーション側で印刷処理に時間がかかっている。 ・定期交換部品の交換時期がきている。	・解像度を下げてみてください。 ・他のアプリケーションと印刷速度を比べてみてください。 ・定期交換キットを交換してください。	・「ソフトウェアガイド」 ・「定期交換部品について」（→ P.202）
連続印刷にもかかわらず､印刷速度が遅い（ユーザ定義サイズの用紙を使用）	－	プリンタの異常ではありません。	「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.196）
・ネットワークに接続できない（オペレータパネルのリンクランプが点灯しない） ・ネットワーク経由での印刷速度が遅い	・LAN ケーブルが抜けている。 ・通信速度に適していないLANケーブルを使用している。 ・プリンタ、もしくはハブユニットのEthernet タイプが一致していない。	・LAN ケーブルが外れていないか確認してください。 ・通信速度に適した LAN ケーブルをご使用ください。 ・プリンタ、またはハブユニットのEthernet タイプを変更してください。印刷速度が向上する場合があります。 Ethernet タイプには速度（自動、100Mbps、10Mbps）、双方向モード（Full、Half）があります。	「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.32）

3 印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置を行っても印刷品質が改善されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。

⚠警告

・プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明） PRINTER	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「ソノタ　ノ　セッテイ」の「インジノウドチョウセイ」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.103）
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。	「プリンタ内部の紙送りローラの清掃」（→ P.91）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXXXXXXXXXXXX カートリッシ゛　シ゛ュンヒ゛	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 プロセスカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。 プロセスカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月 (開封後は 1 年間) の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いします。有効期限は梱包箱に記載しています。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。		
	プリンタドライバで「ドット径を補正する」が☑になっている。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「ドット径を補正する」を☑にすると、ドット径を小さくして印刷します。 「ドット径を補正する」を□にしてください。	「ソフトウェアガイド」
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」

7

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明）	1dot/1line 線を印刷している。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「写真をきれいに印刷する」を☑にする、または解像度を落とすことで、改善される場合があります。	「ソフトウェアガイド」
	図形の網掛けなど、パターンで塗りつぶした文書が薄い	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「図形の中塗りパターンを拡大する」を☑にする、または解像度を 300dpi にすると、改善される場合があります。	「ソフトウェアガイド」
黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「ソノタ　ノ　セッテイ」の「カブリテイゲン」を ON にすると、改善される場合があります。	・「印刷確認済みの用紙」（→ P.205） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140） ・「オペレータパネルの操作」（→ P.103）
	トナー残量が少なくなった。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。		
	定期交換キットの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXXXXXXXXXXXX テイキコウカンキット	オペレータパネルに表示されている定期交換キットを交換してください。	「定期交換部品について」（→ P.202）
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「オペレータパネルの操作」（→ P.103） ・「プリンタ内部を清掃する」（→ P.87） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.144）
黒線が印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
等間隔に汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.103）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
黒く塗りつぶされた部分に白点がある P	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」
指でこすると、印字がはがれる PRINTER	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。	定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。	「定着器」（→ P.25）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「印刷確認済みの用紙」（→ P.205） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	結露している。	プリンタを室温に充分になじませてください。	－
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」
用紙全体に黒色が付いて印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。	「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）
	プロセスカートリッジが正しくセットされていない。	プロセスカートリッジを正しくセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
何も印刷されない	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	プロセスカートリッジが正しくセットされていない。	プロセスカートリッジを正しくセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プロセスカートリッジが寿命、劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。	「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）

7

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
白抜けが起こる	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。	「プリンタ内部の紙送りローラの清掃」（→ P.91）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「印刷確認済みの用紙」（→ P.205） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
	トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXXXXXXXXXXXX カートリッシ゛　シ゛ュンヒ゛		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」
用紙にシワが付く	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。	定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。	「定着器」（→ P.25）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「印刷確認済みの用紙」（→ P.205） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、薄い用紙や再生紙はシワが付きやすい傾向があります。「普通紙 L」に設定し、印刷してみてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「印刷確認済みの用紙」（→ P.205） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXXXXXXXXXXXX カートリッジ　ジュンビ		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」
縦長に白抜けする	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっている。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。	「プリンタ内部の紙送りローラの清掃」（→ P.91）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXXXXXXXXXXXX カートリッジ　ジュンビ		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
不要なトナーが付く	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「ソノタ　ノ　セッテイ」の「インジノウドチョウセイ」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.103）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「印刷確認済みの用紙」（→ P.205） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 プロセスカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。 プロセスカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月 (開封後は 1 年間) の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「オペレータパネルの操作」（→ P.103） ・「プリンタ内部を清掃する」（→ P.87） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.144）
太い文字や図形に影が出る	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。	「ソフトウェアガイド」
	一度印刷された用紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「印刷確認済みの用紙」（→ P.205） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
	裏紙を使用している。		
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙がカールする	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	用紙の表裏を間違っている。	用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。包装された用紙は、開封面が印刷面です。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。 特に、再生紙はカールしやすい傾向があります。「普通紙 L」に設定し、印刷してみてください。	「使用できる用紙」（→ P.134） 「ソフトウェアガイド」

4 メッセージ一覧

オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージと、「Printianavi2」および「Printia LASER Internet Service」利用時に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

・「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.174）

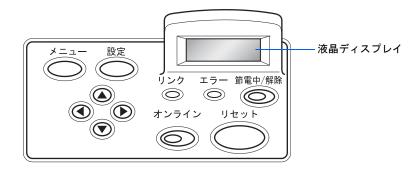
・「Windows 画面に表示されるメッセージ一覧」（→ P.185）

オペレータパネルに表示されるメッセージ

プリンタでエラーなどが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。次の表に従って処置してください。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、以下をご覧ください。

・「オンライン（印刷できる状態）時の表示内容」（→ P.106）
・「エラーメッセージ一覧」（→ P.175）
・「警告メッセージ一覧」（→ P.184）

エラーメッセージ一覧

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0006　カバーオープン ウエ／ハイメンカバー	上カバーまたは背面カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	–
0023　カバーオープン リョウメンカバー	両面ユニットのカバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	–
1007　カセット　ナシ カセット　ヲ　イレテクダサイ	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→P.62）
1010　キュウシトレイ　ナシ トレイ　ヲ　イレテクダサイ	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイがセットされていない場合に表示されます。 給紙トレイをセットしてください。	「用紙をセットする」（→P.62）
1021　カセット　ナシ カセット 1　ヲ　イレテクダサイ 1022　カセット　ナシ カセット 2　ヲ　イレテクダサイ 1023　カセット　ナシ カセット 3　ヲ　イレテクダサイ	給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 表示された給紙カセット（1 ～ 3）に印刷するサイズの用紙を入れてセットすると、印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→P.62）
1100　ヨウシナシ ccccccc →キュウシトレイ	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	「用紙をセットする」（→P.62）
1101　ヨウシナシ ccccccc →カセット 1	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 1 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→P.62）
1102　ヨウシナシ ccccccc →カセット 2	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 2 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→P.62）
1103　ヨウシナシ ccccccc →カセット 3	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 3 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→P.62）
1106　ヨウシナシ ccccccc →トレイ／カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 3）または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→P.62）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1107　ヨウシナシ ccccccc →カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 3）に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
1220　サイズフイッチ ccccccc →キュウシトレイ	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
1221　サイズフイッチ ccccccc →カセット 1	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
1222　サイズフイッチ ccccccc →カセット 2	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
1223　サイズフイッチ ccccccc →カセット 3	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 3 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
1226　サイズフイッチ ccccccc →トレイ／カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット（1 ～ 3）または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの縦／横のガイドグリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦／横のガイドグリップが正しく設定されているか確認してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
1227　サイズフイッチ ccccccc →カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
1320　サイズカクニン ccccccc →キュウシトレイ	・給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.62） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1321　サイズカクニン ccccccc →カセット 1	・カセット1から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.62） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
1322　サイズカクニン ccccccc →カセット 2	・カセット2から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.62） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
1323　サイズカクニン ccccccc →カセット 3	・カセット3から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.62） ・「使用できる用紙」（→ P.134） ・「使用できない用紙」（→ P.140）
1400　サイズフソク A4　LEF →　キュウシトレイ	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 LEF 方向（横送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を LEF（横送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）

7

表：エラーメッセージ一覧

<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>表示内容と処置</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>2200　カミヅマリ
キュウシトレイ</td><td rowspan="11">紙詰まりが発生すると表示されます。
表示されている給紙カセット、給紙トレイ、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。</td><td>・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）</td></tr>
<tr><td>2201　カミヅマリ
カセット 1</td><td rowspan="3">・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.146）
・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）</td></tr>
<tr><td>2202　カミヅマリ
カセット 2</td></tr>
<tr><td>2203　カミヅマリ
カセット 3</td></tr>
<tr><td>2210　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td>「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）</td></tr>
<tr><td>2211　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td rowspan="2">・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）</td></tr>
<tr><td>2212　カミヅマリ
キュウシトレイ　ヲ　ヒキダス</td></tr>
<tr><td>2213　カミヅマリ
リョウメン　ユニット</td><td>・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.149）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）
・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.161）</td></tr>
<tr><td>2221　カミヅマリ
ハイシグチ</td><td rowspan="3">・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.152）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）</td></tr>
<tr><td>2222　カミヅマリ
ハイシグチ</td></tr>
<tr><td>2223　カミヅマリ
ハイシグチ</td></tr>
</table>

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2232　カミヅマリ リョウメン　ユニット	（紙詰まりエラー続き）	・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155） ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.161）
2233　カミヅマリ リョウメン　ユニット		
2234　カミヅマリ リョウメン　ユニット		
2312　ヨウシノコリ プリンタナイブ／リョウメン ［注］「／リョウメン」は両面ユニットを取り付けている場合		
2321　ヨウシノコリ ハイシグチ		・「定着器付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.152） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155）
2333　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット		・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.155） ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.161）
7002　メモリオーバー 1ブ　インサツ→セッテイ	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと1部のみ印刷します。 「Printianavi2」を使用している場合は、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。	－
7003　メモリフソク カタメン　インサツ→セッテイ	メモリを増設していない状態でA3、B4、Legalの用紙を1200dpiで両面印刷するときに、次の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を☑にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が☐のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」使用時は、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷されます。	「プリンタRAMモジュールの取り付け」（→ P.44）
7004　キュウシシテイ　エラー ジドウキュウシ　ムコウ	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙設定を「ユウコウ（有効）」にして、印刷をし直してください。	「基本的な操作方法」（→ P.109）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
7005　アンダーラン　エラー インサツ　セッテイ　カクニン	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	－
7007　カイゾウドムコウ インサツ　セッテイ　カクニン	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	－
7008　データ　エラー インサツデータ　カクニン	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	－
7009　データ　エラー インサツデータ　カクニン		
7020　データ　エラー インサツデータ　カクニン		－
9001　コントローラ　エラー RAM　エラー	ROM および RAM の異常を検出した場合に、「デンゲン　ヲ　OFF ／ ON　シテクダサイ」というメッセージと交互に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	－
9003　コントローラ　エラー MAC アドレスエラー		
9004　コントローラ　エラー Flash-ROM エラー		
9006　コントローラ　エラー EEPROM エラー		
9007　コントローラ　エラー プログラム　ROM　エラー		
9008　コントローラ　エラー USB　デバイス　エラー		
9101　カクチョウメモリエラー メモリ　ヲ　コウカン		
9102　メモリバス　エラー カクチョウメモリ　トリハズシ		
9103　セッテイメモリ　エラー トウロク　ショキカ　シマス		
9104　ログメモリ　エラー データ　ショキカ　シマス		
9105　プログラム　エラー		
H073　ユニット　カクニン リョウメン　ユニット	両面ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	「両面ユニットの取り付け」（→ P.49）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
H074　ユニット　カクニン テイチャクキ	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、定着器が正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	
H075　ユニットカクニン カクチョウ　キュウシ	拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	「拡張給紙ユニットの取り付け」（→ P.54）
K001　カートリッジカクニン カートリッジ　ナシ	プロセスカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 プロセスカートリッジをセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
K003　カートリッジコウカン ケイゾク→セッテイ	メニューモードで「カートリッジ　ジュンビ」→「テイシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）が近づくと表示されます。本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
K004　カートリッジ　エラー プロセスカートリッジ　フイッチ	セットされたプロセスカートリッジが使用できない場合に表示されます。 プロセスカートリッジを交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
K006　カートリッジコウカン カートリッジジュミョウ	「環境共生トナー」（→ P.203）使用時に、プロセスカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、5000 ページ以上印刷した場合に表示されます。本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
K013　カートリッジコウカン ケイゾク→セッテイ	メニューモードで「カートリッジ　ジュンビ」→「テイシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に近い）が近づくと表示されます。特に、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあってもプロセスカートリッジの感光体（ドラム）が寿命に近づき、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
K014　カートリッジコウカン カートリッジ　ジュミョウ	プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に達した）になると表示されます。特に、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあってもプロセスカートリッジの感光体（ドラム）が寿命に達し、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	
K023　カートリッジコウカン ケイゾク→セッテイ	メニューモードで「カートリッジ　ジュンビ」→「テイシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に近い、かつトナー残量が少ない）が近づくと表示されます。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	
K024　カートリッジコウカン カートリッジ　ジュミョウ	プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に達した、かつトナー残量が少ない）になると表示されます。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	
K026　カートリッジコウカン カートリッジ　ジュミョウ	「環境共生トナー」（→ P.203）使用時に、プロセスカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）を検出後、5000 ページ以上印刷し、感光体 (ドラム）も寿命が近い状態で表示されます。本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
M001　ハード　エラー テイチャクキ　エラー	ハードウェアの異常を検出した場合に、「デンゲン　ヲ OFF／ON　シテクダサイ」というメッセージと交互に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	－
M002　ハード　エラー ROS　モータ　エラー		
M003　ハード　エラー メイン　モータ　エラー		
M004　ハード　エラー ファン　エラー		
M005　ハード　エラー NV コード　エラー		
M006　ハード　エラー NV コード　エラー		
M007　ハード　エラー NV コード　エラー		
M101　ハード　エラー ツウシン　エラー		
M102　ハード　エラー ツウシン　エラー		
M103　ハード　エラー ツウシン　エラー		
M201　ハード　エラー タイムアウト　エラー		
M202　ハード　エラー タイムアウト　エラー		

警告メッセージ一覧

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

・警告メッセージの例

オンライン カセットカクニン１

POINT

・警告が複数発生している場合は、次の表の該当する警告が、表の上から順番に交互に表示されます。

表：警告メッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置
データアリ	未処理データがある状態です。
カートリッジ	プロセスカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。本メッセージが表示されてからの印字品質は保証できませんので、お早めに新しいプロセスカートリッジに交換してください。 なお、オンライン／オフライン中は、次の表示になります。[注 1] ・「カートリッジ　コウカン」：プロセスカートリッジの交換時期 ・「カートリッジ　ジュンビ」：プロセスカートリッジの交換準備
ソウチジュミョウ	本製品の寿命として規定している印刷ページ数に近づいた場合に表示されます。残り寿命が 20%（消耗率 80%）になると、20%、10%、0% と、10% 単位で残り寿命が表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷ができなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。 また、この警告が表示されなくても、装置導入後 5 年を経過した場合は装置寿命となります。詳しくは、「本体仕様」（→ P.194）をご覧ください。 なお、オンライン／オフライン中は、次の表示になります。 ・「ソウチジュミョウ　ノコリ xx%　（xx：20、10）」
テイキコウカン	定期交換キットの交換時期になると表示されます。「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。 なお、オンライン／オフライン中は、次の表示になります。 ・「テイキコウカンキット」
カセットカクニン n	セットされていない給紙カセットがあると、表示されます。給紙カセットをセットしてください（n：カセット番号）。

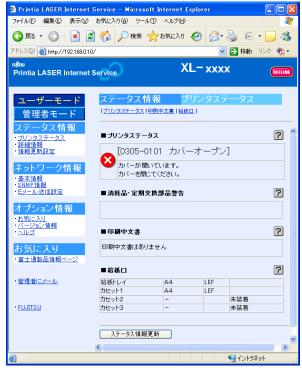
注 1　：　プリンタのオペレータパネルから、「メニューモード」→「ショキセッテイ」→「カートリッジ　ジュンビ」（→ P.115）の設定で、プロセスカートリッジの交換時期が近づくと印刷を停止させることができます。

Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

「Printianavi2」および「Printia LASER Internet Service」を利用時に、Windows 画面に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。
「Printianavi2」および「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■「Printianavi2」／「Printianavi」の場合

■「Printia LASER Internet Service」の場合

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧
（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0000	2000	[情報取得中...] しばらくお待ちください。	プリンタの状態情報を取得中に表示されます。	−
0000	2000	通信中	プリンタと通信中に表示されます。	−
0300	0101	[****-**** プリンタリセット] プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.103）
0300	0102	[****-**** オフライン] プリンタがオフラインとなっています。		
0300	0103	[****-**** リモート設定中] プリンタがリモート設定中です。	しばらくお待ちください。	−
0300	0104	[****-**** プリンタリセット] プリンタが初期化中です。		−
0301	00**	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0301	01**	[****-****　用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット1を指定して印刷したときに､給紙カセット 1 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.62)
0301	02**	[****-****　用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット2を指定して印刷したときに､給紙カセット 2 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.62)
0301	03**	[****-****　用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット3を指定して印刷したときに､給紙カセット 3 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 3 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.62)
0301	10**	[****-****　用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 3）に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.62)
0301	80**	[****-****　用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	「用紙をセットする」(→ P.62)
0304	11**	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 1 がセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。	給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 カセット * で表示された給紙カセット（1 ～ 3）に印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.62)
0304	12**	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 2 がセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。		
0304	13**	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 3 がセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。		
0304	20**	[****-**** カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。(用紙サイズ) 給紙カセットをセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.62)
0304	30**	[****-**** 用紙サイズ不一致] プリンタにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット（1 ～ 3）または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの縦／横のガイドグリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。 縦／横のガイドグリップが正しく設定されているか確認してください。	「用紙をセットする」(→ P.62)

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧
（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0304	31**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 1 にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	32**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 2 にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	33**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 3 にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 3 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	40**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセットにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	41**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 1 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 1 の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 1 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	42**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 2 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 2 の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 2 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	43**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 3 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 3 の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 3 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	a60c	[****-**** 用紙サイズ不足] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイに A4 を LEF 方向（横置き）にセットし、プリンタ側の用紙サイズ設定スイッチを A4 に合わせると印刷を続行します。	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 LEF 方向（横送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を LEF（横送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	「用紙をセットする」（→ P.62）

7

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0304	b0**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙トレイにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	c0**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙トレイの設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙トレイの用紙を正しくセットし直してください。	給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0304	e000	[****-**** 給紙トレイなし] 給紙トレイがセットされていない為、印刷が行えません。 給紙トレイをセットしてください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイがセットされていない場合に表示されます。 給紙トレイをセットしてください。	「用紙をセットする」（→ P.62）
0305	0003	[****-**** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。	両面ユニットのカバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	－
0305	0101	[****-**** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。	上カバーまたは背面カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	－
0313	1002	[****-**** カートリッジ寿命] プロセスカートリッジの交換時期です。	プロセスカートリッジを交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
0314	2200 2201 2202 2203 2204 2210 2211 2212 2213 2221 2222 2223 2232 2233 2234	[****-**** 紙詰まり] 紙詰まりが発生しました。 カバーを開け、カセット／プリンタ内／排紙口／両面ユニットに詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、給紙トレイ、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。	「紙詰まりになったとき」（→ P.144）
0315	2312 2321 2333	[****-**** 用紙残り] 用紙が装置内に残っています。 カバーを開け、カセット／プリンタ内／排紙口／両面ユニットに詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外してプリンタ内部を確認してください。	「紙詰まりになったとき」（→ P.144）
0319	0000	[****-**** カートリッジなし] プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットし直してください。	プロセスカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 プロセスカートリッジをセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
0330	0104	[****-**** ユニット確認] ユニットが外れています。 プリンタの電源を切り、ユニットを正しく装着してください。	両面ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	「両面ユニットの取り付け」（→ P.49）

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

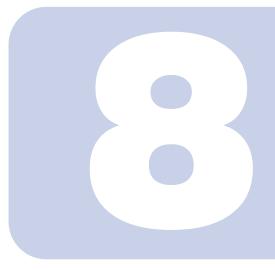
エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0330	0108	[****-**** ユニット確認] 定着期が外れています。 プリンタの電源を切り、定着器を正しく装着してください。	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、定着器が正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	–
0330	0707	[****-**** ユニット確認] ユニットが正しく接続されていないか、故障しているため認識できません。 プリンタの電源を切り、ユニットの接続を確認してください。	拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	–
0350	0703	[****-**** 論理エラー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 （部単位印刷） プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 一部のみ印刷します。	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 「Printianavi2」を使用している場合は、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。	–
0350	0704	[****-**** 論理エラー] プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。 プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 片面印刷で続行します。	メモリを増設していない状態で A3、B4、Legal の用紙を 1200dpi で両面印刷するときに、次の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を☑にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が☐のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷されます。	「プリンタ RAM モジュールの取り付け」（→ P.44）
0350	0706	[****-**** 論理エラー] 印刷中にアンダーランエラーが発生しました。 「プロテクトモードで印刷する」にチェックを付けるか、プリンタドライバの解像度を低く設定し直して、再度印刷してください。	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	–
0350	0708	[****-**** 論理エラー] 印刷できない解像度が指定されました。 印刷先のプリンタ装置に合ったプリンタドライバをインストールしてください。	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	–
0350	070b 070c 070d	[****-**** 印刷データエラー] 印刷処理中の印刷データにエラーがあります。 ケーブルが正しく接続されていることを確認し、再度印刷を行ってください。	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	–
0350	0712	[****-**** 論理エラー] プリンタの給紙口が全て自動給紙無効となっているため、自動給紙が行えません。 プリンタドライバで給紙口を指定するか、プリンタの自動給紙設定を有効にして、再度印刷してください。	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙設定を「ユウコウ（有効）」にして、印刷をし直してください。	–

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0362	0000 0100 0200 0400 1000 2000 4000 8000	[****-**** 未サポートプリンタ] プリンタドライバが未サポートのプリンタに接続されています。	印刷先のプリンタに適合したプリンタドライバをインストールしてください。	「ソフトウェアガイド」
0374	****	[****-**** 定義外エラー] 定義外のエラーが発生しました。	プリンタでコントローラエラーが発生しているなど、プリンタの状態が正しく通知されなかった場合に表示されます。 プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。コントローラエラーの場合は、プリンタの電源を入れ直してください。	「エラーメッセージ一覧」（→ P.175）
0420	0001	[****-**** カートリッジ不一致] 装着されたプロセスカートリッジは使えません。 プロセスカートリッジを交換してください。	セットされたプロセスカートリッジが使用できない場合に表示されます。 プロセスカートリッジを交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
0420	1002 1003 1007 200C 2001 2002	[****-**** カートリッジ寿命] プロセスカートリッジの交換時期です。 プロセスカートリッジを交換してください。	プロセスカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のプロセスカートリッジを準備してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.80）
0500	d300	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	－
0520	d001 d002 d003 d004 d005 d006 d100 d201 d202 d203 d204 d211 d212 d213 d220			
0700	0001 0002 0003 0004 000a 000b 000c 2001 2002 2003 2101 2102	[****-**** ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	－
1500	0000	[****-**** 応答なし] プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。	－
1520 ～ 1572 1574 ～ 1599	****	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	－
1573	0000			

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧
（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1900	0000	[****-**** メモリ不足] メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているパソコンで、使用していないアプリケーションを終了してください。	－
1901 ～ 1999 2900 ～ 2999	****	[****-**** システムエラー] システムエラーが発生しました。	プリンタドライバ、「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」をインストールし直してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）へご連絡ください。	－
5900 5901	0000	[****-**** システムエラー] システムエラーが発生しました。		－
5500 5501 5502 5503 5504 5505	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	－
5510	0000	[****-**** 通信エラー] プロキシサーバーとの通信でエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡し、プロキシサーバーで処理できる HTTP リクエストのデータサイズを大きくするよう依頼してください。	－
5511	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。	「ソフトウェアガイド」
5512 5520	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	－
5521	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。	「ソフトウェアガイド」
5522 5530 5531 5532	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	－
7510	****	[****-**** 情報取得失敗] プリンタからの情報取得ができません。	環境を確認してください。	－

第 8 章

付録

この章では、本製品を使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

1 仕様

本製品の本体仕様とインターフェース仕様は、次のとおりです。

本体仕様

表：本体仕様

<table>
<tr><th>型名</th><th colspan="3">XL-9320</th></tr>
<tr><td>印刷方式</td><td colspan="3">電子写真方式</td></tr>
<tr><td rowspan="14">印刷速度（コピー動作による連続印刷時）
単位：ページ / 分</td><td colspan="3">普通紙</td></tr>
<tr><td></td><td>片面</td><td>両面</td></tr>
<tr><td>A4 LEF</td><td>32.0</td><td>21.4</td></tr>
<tr><td>A4 SEF</td><td>23.0</td><td>15.5</td></tr>
<tr><td>A3</td><td>17.4</td><td>12.2</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>30.6</td><td>21.4</td></tr>
<tr><td>B4</td><td>19.5</td><td>13.6</td></tr>
<tr><td>B5</td><td>30.6</td><td>21.4</td></tr>
<tr><td colspan="3">ユーザ定義サイズの用紙［注 4］</td></tr>
<tr><td></td><td>7.1 ～ 30.0</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">長尺紙</td></tr>
<tr><td></td><td>1.0</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">・両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。
・厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。
・用紙幅の狭い用紙から広い用紙に切り替わった場合、クールダウンのため一時的に印刷速度が遅くなる場合があります。
・ユーザ定義サイズの用紙の場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。
・大量に印刷すると、クールダウンのため、いったん停止します。
・大量に印刷すると、A4SEF の印刷速度が遅くなる場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="3" style="display:none"></td></tr>
<tr><td>ウォームアップ時間</td><td colspan="3">17 秒以下（22 ℃、電源電圧 100V 時）</td></tr>
<tr><td>エンジン解像度</td><td colspan="3">600dpi ／ 1200dpi</td></tr>
<tr><td>データ処理解像度</td><td colspan="3">300dpi × 300dpi
600dpi × 600dpi
1200dpi × 1200dpi</td></tr>
<tr><td>スムージング処理</td><td colspan="3">Super FEIT（1200dpi 以外）
［注］FEIT=Fujitsu Enhanced Image Technology</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td colspan="3">・給紙トレイ（標準）
普通紙（60g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、厚紙 1（91g/ ㎡～ 157g/ ㎡）、厚紙 2（158g/ ㎡～ 216g/ ㎡）、OHP フィルム、ラベル紙 1（60g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、ラベル紙 2（91g/ ㎡～ 135g/ ㎡）、はがき、長尺紙
・給紙カセット（標準）
普通紙（60g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、厚紙 1（91g/ ㎡～ 157g/ ㎡）、厚紙 2（158g/ ㎡～ 216g/ ㎡）、OHP フィルム
・拡張給紙ユニット（オプション）
普通紙（60g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、厚紙 1（91g/ ㎡～ 157g/ ㎡）、厚紙 2（158g/ ㎡～ 216g/ ㎡）</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="3">・給紙トレイ（標準）
A3、B4、B5、A4、A5、リーガル、レター、郵便はがき、長尺紙（幅 297 ㎜固定、長さ 420.1 ㎜～ 900.0 ㎜）、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 297 ㎜、長さ 148 ㎜～ 432 ㎜）
・給紙カセット（標準）／拡張給紙ユニット（オプション）
A3、B4、B5、A4、A5、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 297 ㎜、長さ 148 ㎜～ 432 ㎜）</td></tr>
<tr><td>給紙方式［注 1］</td><td colspan="3">給紙カセットによる自動給紙（収容枚数：250 枚、拡張給紙ユニット使用時：1550 枚）
給紙トレイによる自動給紙（収容枚数 200 枚（はがき 60 枚））</td></tr>
<tr><td>両面印刷（オプション）</td><td colspan="3">用紙種類：普通紙（60g/ ㎡～ 90g/ ㎡）
用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル</td></tr>
<tr><td>排紙方法［注 1］</td><td colspan="3">フェースダウンスタッカ（スタック枚数：250 枚）</td></tr>
</table>

表：本体仕様

型名	XL-9320
使用環境条件	温度 :10 ～ 32 ℃、湿度 :15 ～ 85%RH（推奨紙使用時） 温度 32 ℃のときは湿度 70%RH 以下、湿度が 85%RH 前後のときは温度 28 ℃以下で使用してください（ただし、結露しないこと）。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、充分にプリンタの性能を発揮できない場合があります。 冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。 %RH 80 60 40 20 / 10 20 30 ℃ 使用可能温湿度範囲：10℃ 85%、28℃ 85%、32℃ 70%、32℃ 15%、10℃ 15% 推奨温湿度範囲：18℃ 65%、27℃ 65%、18℃ 20%、27℃ 20%
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz ＋ 2%－ 4%（安定した正弦波であること） [注]：矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。また、本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。
消費電力	動作時 1020W 以下、節電 1 時：約 12W（冷却ファン停止後は約 6W）、節電 2 時：約 4W 平均消費電力：640W 以下（片面印刷時） スリープモード（10base-T/100base-TX 接続時）約 0.9W スリープモード（1000base-T 接続時）：約 1.5W 電源オフ時：0W［注 5］
定格電流	11A
突入電流	最大突入電流 100A 以下（定着器ヒーター ON 時 突入時間：10m 秒以下）
騒音	動作時 54dB(A)、待機時 33dB(A)（フルオプション 59dB(A)）
外形寸法	幅 515 ㎜、奥行き 406（607）㎜、高さ 324 ㎜ （）：カセット延長時
質量	約 20kg （消耗品、オプションを除く）
インターフェース	IEEE1284 双方向パラレルポート USB2.0 準拠 USB インターフェース 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T LAN ポート
対応ネットワーク	TCP/IPv4(IPP,HTTP,BPP,LPR,DHCP,SNMP,SMTP,DNS,RAW(Port9100)) TCP/IPv6(IPP,HTTP,BPP,LPR,SNMP,RAW(Port9100)) 対応 OS：7/2008/Vista
プリンタシーケンス［注 2］	XL プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	ESC/P 用：ANK、明朝体、ゴシック体
耐用期間［注 3］	5 年（8 時間 / 日）または 60 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（ LEF））のいずれか早いほう
電源コード	2 本（平行 2 極プラグ／ 3 極プラグ）、約 2.5m

注 1　:　収容および排紙枚数は 64g/ ㎡で換算

注 2　:　データ処理解像度
・XL プリンタドライバ：1200dpi/600dpi/300dpi（スーパー FEIT：2400dpi × 600dpi 相当）
・ESC/P:180dpi

注 3　:　耐用期間のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作の頻度などにより異なります。
推奨日間印刷ページ数は平均500ページ、推奨月間印刷ページ数は10000ページ以下です（A4サイズ横送り（ LEF）の場合）。
また、本製品には、有寿命部品、消耗品および定期交換部品が含まれています。詳しくは「有寿命部品／消耗品／定期交換部品／ 24 時間運用について」（→ P.201）をご覧ください。

注 4　:　ユーザ定義サイズの用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.196）に記載の速度で印刷します。

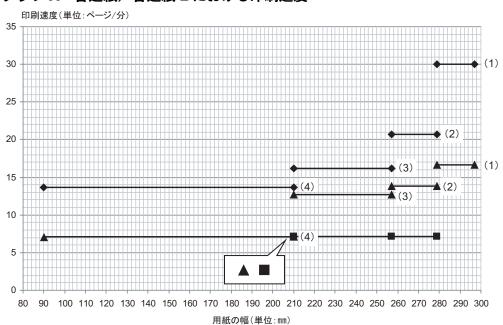
注 5　:　電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチがオフの場合、電力の消費はありません。

ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度

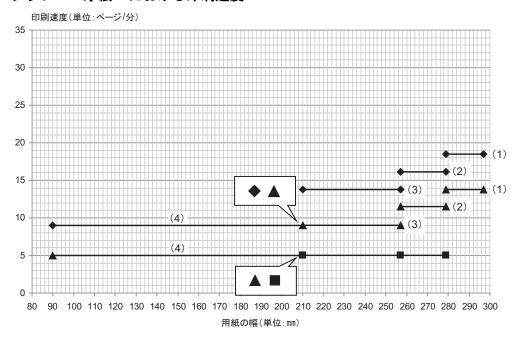
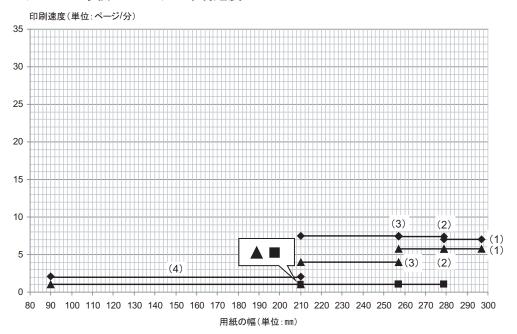
ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合、次の表とグラフで示すように、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。一般的に、用紙の長さが短いほど、印刷速度は速くなります。

表：ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度

ユーザ定義サイズ		印刷速度（単位：ページ / 分）			グラフの線
用紙の幅	用紙の長さ	普通紙／普通紙 L（グラフ A を参照）	厚紙 1（グラフ B を参照）	厚紙 2（グラフ C を参照）	
279 ㎜以上	216 ㎜以下	30.0	18.5	8.5	◆—◆ (1)
	432 ㎜以下	16.7	13.8	7.0	▲—▲ (1)
257 ㎜以上	184 ㎜以下	20.7	16.1	9.1	◆—◆ (2)
	364 ㎜以下	13.8	11.5	7.4	▲—▲ (2)
210 ㎜以上	149 ㎜以下	16.2	13.8	9.1	◆—◆ (3)
	270 ㎜以下	12.7	9.0	4.0	▲—▲ (3)
210 ㎜未満	250 ㎜以下	13.7	9.0	2.0	◆—◆ (4)
	432 ㎜以下	7.1	5.0	1.0	▲—▲ (4)
長尺		1.0	1.0	1.0	—
上記以外		7.1	5.0	1.0	■—■

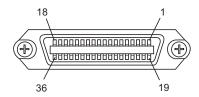
グラフ A：普通紙／普通紙 L における印刷速度

グラフ B：厚紙 1 における印刷速度

グラフ C：厚紙 2 における印刷速度

8

インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースを採用しています。

パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

- 基本仕様
  IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェース
- インターフェースコネクタ
  プリンタ側：36 極コネクタ（メス）アンフェノール　57-40360 相当品
  ケーブル側：36 極コネクタ（オス）アンフェノール　57-30360 相当品
- ケーブル
  1.5m 以下のケーブルを使用してください（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること）。
- 信号レベル
  LOW：0.0V 〜 +0.4V HIGH：+2.4V 〜 +5.0V
- データ転送方式
  8 ビットパラレル
- コネクタピン配列

インターフェースコネクタ（36ピン）

表：コネクタピン仕様

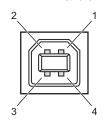
ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊ Ack	パソコン
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊ AutoFd	パソコン
15	—	—
16	SG	—
17	FG	—
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	—
20	-RET	—
21	-RET	—

表：コネクタピン仕様

ピン番号	信号名称	発信元
22	-RET	—
23	-RET	—
24	-RET	—
25	-RET	—
26	-RET	—
27	-RET	—
28	-RET	—
29	-RET	—
30	-RET	—
31	＊ Init	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	-RET	—
34	—	—
35	—	—
36	＊ SelectIn	パソコン

「＊」は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

- 基本仕様
  USB 仕様の Revision2.0 準拠
- インターフェースコネクタ
  プリンタ側：B レセプタクル（メス）
- ケーブル
  XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
- 伝送モード
  High Speed（最大 480Mbps）、Full Speed（最大 12Mbps）
- 電力制御
  セルフパワーデバイス
- USB ピン配列

表：コネクタピン仕様

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

8

2　オプション品一覧

本製品で使用できるオプション品の一覧は次のとおりです。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

表：拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25MF	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約 250 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。 給紙カセット添付
拡張給紙ユニット -B	XL-EF55MF	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約 550 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。 給紙カセット添付

両面ユニット

表：両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPMF	両面印刷用のユニットです。

プリンタ RAM モジュール

表：プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256MC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

プリンタケーブル

■パラレルケーブル

表：パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	富士通製パソコン、各社 PC/AT 互換機に接続できます。（1.5m）

■プリンタ USB ケーブル

表：プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	7/2008/Vista/2003/XP/2000 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。（1.5m）

3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／ 24 時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境（22 ℃／ 55%RH）において 1 日 8 時間のご使用で約 5 年、または 60 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（LEF））のいずれか早いほうです（A4 LEF より長い用紙を使用した場合は A4 LEF 印刷時の半分程度）。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

光学ユニット、制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

消耗品について

プロセスカートリッジなどの消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

サプライ品については、「サプライ品一覧」（→ P.203）をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（→ P.210）にご連絡ください。なお定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳しくは弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスについて詳しくは、弊社ホームページ「製品サポート」（http://segroup.fujitsu.com/fs/products/）のコーナーをご覧ください。補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後5年間です。

表：定期交換部品の交換時期の目安

定期交換部品	交換時期の目安
定着器	10 万ページ印刷ごとを目安に「定期交換キット」で交換
用紙搬送ロールキット （給紙トレイ･給紙カセット用）	
転写ロール	

［注］上記は、A4 サイズ横送り（LEF）／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期が早まることがあります。
A4 LEF より長い用紙を使用した場合、寿命は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

24 時間以上の連続運用について

本製品は、24 時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。
24 時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

4 サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店、または富士通コワーコ にご相談ください。

- 富士通コワーコお客様総合センター
  通話料無料　0120-505-279
  月曜～金曜 9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始を除く）
  URL:http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

注意

- プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。指定外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になります。

重要

プロセスカートリッジ（環境共生トナーを含む）は、安定した画質を維持するために、製造から 30ヶ月（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

表：サプライ品一覧

商品名	商品番号	備考
プロセスカートリッジ LB319A	0896110	印刷量の目安は、約 6000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく)。
プロセスカートリッジ LB319B	0896120	印刷量の目安は、約 10000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく)。
環境共生トナー　LB319AF	0896114	環境共生トナーは、使用後のプロセスカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 6000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく)。 ・プロセスカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。 ・交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、約 5000 ページの印刷でプロセスカートリッジの動作を停止します。
環境共生トナー　LB319BF	0896124	環境共生トナーは、使用後のプロセスカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 10000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく)。 ・プロセスカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。 ・交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、約 5000 ページの印刷でプロセスカートリッジの動作を停止します。
レーザプリンタ置台	0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法：600（W）× 610（D）× 440（H）㎜

注１　：　上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。
また、低印字率での運用環境では、オペレータパネルに「カートリッジ　ジュンビ」または「カートリッジ　コウカン」の警告表示が出る前に、黒筋、薄黒い汚れやカスレが発生する場合があります。
プロセスカートリッジの寿命ですので、新しいプロセスカートリッジに交換してください。

POINT

・プロセスカートリッジは、純正品をご使用ください。リサイクル品や他社製サプライ品を使用すると、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

印刷確認済みの用紙

本製品で印刷確認を行った用紙は、次の表のとおりです。なお、印刷確認は、包装した状態の用紙を、温度 22 ℃、湿度 55 ～ 60% 環境下に 12 時間放置した後、印刷直前に包装紙から取り出して実施しています。

POINT

安定した搬送性・印字品質を確保するために、推奨紙の使用をお勧めします。

表：印刷確認済みの用紙一覧 ［注 1］

メーカー名	用紙種類	品名	サイズ	商品番号［注 2］	備考
富士通コワーコ (株)	普通紙	オフィス用紙 W	A3	0411650	推奨用紙
		オフィス用紙 W	B4	0411620	推奨用紙
		オフィス用紙 W	A4	0411610	推奨用紙［注 3］
		オフィス用紙 W	A4Y	0411612	推奨用紙［注 4］
		オフィス用紙 W	B5Y	0411645	
		オフィス用紙 W	A5Y	0411635	
	普通紙	コピー用紙 N	A3	0416390	
		コピー用紙 N	A4	0416361	
		コピー用紙 N	B4	0416370	
		コピー用紙 N	B5	0416380	
	再生紙	再生オフィス用紙 EC	A3	0416440	古紙 40%、FSC 認証用紙
		再生オフィス用紙 EC	A4	0416410	古紙 40%、FSC 認証用紙
		再生オフィス用紙 EC	B4	0416420	古紙 40%、FSC 認証用紙
		再生オフィス用紙 EC	B5	0416430	古紙 40%、FSC 認証用紙
	再生紙	再生コピー用紙オゾン R100	A3	1461414	古紙 100%、グリーン購入法適合
		再生コピー用紙オゾン R100	A4	1461411	古紙 100%、グリーン購入法適合
	偽造防止用紙	汎用偽造防止用紙	A4	0415210	
	ラベル紙	OA ラベル A4（単票用紙）Ⅱ	A4	0412270	
	長尺用紙	長尺用紙	297mm × 900mm	0421015	［注 5］
富士ゼロックス (株)	普通紙	P 紙	A3	ZGAA1302	
		P 紙	A4	ZGAA1299	
		P 紙	B4	ZGAA1300	
		P 紙	B5	ZGAA1301	
	普通紙	C2	A3	Z628	
		C2	A4	Z625	
		C2	A5	ZGAA0326	
		C2	B4	Z626	
		C2	B5	Z627	
	普通紙	省資源対応用紙 SP	A4	ZGAA0893	60g/ ㎡用紙
	再生紙	リサイクル用紙 GR70-W	A3	ZGAA1310	古紙 70%、グリーン購入法適合
		リサイクル用紙 GR70-W	A4	ZGAA1307	古紙 70%、グリーン購入法適合

表：印刷確認済みの用紙一覧 ［注 1］

メーカー名	用紙種類	品名	サイズ	商品番号［注 2］	備考
富士ゼロックス（株）	再生紙	GR100	A3	ZGAA1288	古紙100%、グリーン購入法適合
		GR100	A4	ZGAA1285	
		GR100	B4	ZGAA1286	
		GR100	B5	ZGAA1287	
	OHP シート	OHP シート	A4	GAAA5224	
	ラベル紙	ラベル紙	A4	Z776	20 面カット
		ラベル紙	B4	Z798	24 面カット
（株）リコー	普通紙	マイペーパー	A4	―	
	普通紙	タイプ 6200	A4	―	
	再生紙	マイリサイクルペーパー GP	A4	―	古紙 70%
	再生紙	マイリサイクルペーパー 100	A4	―	古紙100%、グリーン購入法適合
		マイリサイクルペーパー 100	B5	―	
キヤノン（株）	再生紙	再生コピー用紙	A4	GF-R100	古紙 70%
エーワン（株）	再生ラベル紙	再生ラベル紙	A4	31362	再生紙、12 面カット
	ラベル紙	ラベル紙	A4	28362	12 面カット
		ラベル紙	B4	28436	24 面カット
コクヨ（株）	ラベル紙	LBP 用ラベル紙	A4	LBP-A693	20 面カット
（株）東洋印刷	ラベル紙	ナナコピー	A4	C20S	
郵便事業（株）郵便局などで発売	はがき	郵便はがき	はがき	―	多色刷りはがきは除く

注 1 ： 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。
高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。
プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。

注 2 ： 各商品で梱包単位（枚数）が異なりますので、購入時は事前に確認をお願いします。

注 3 ： 用紙をセットする向き（搬送方向）が A4 縦（SEF）の場合。

注 4 ： 用紙をセットする向き（搬送方向）が A4 横（LEF）の場合。

注 5 ： プリンタドライバで「用紙種類」を「厚紙 2」に設定してください。

POINT

- 古紙 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。
  A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やプロセスカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。
- A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙を推奨します。
  A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙を推奨します。

用紙の印刷方向と印刷可能領域について

本製品は、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

印刷方向

A4 縦送り（SEF）、A3、B4、リーガル、長尺紙サイズの用紙の場合

縦方向印刷

横方向印刷

A4 横送り（LEF）、A5、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合

縦方向印刷

横方向印刷

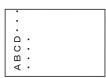
ユーザ定義サイズの用紙の場合

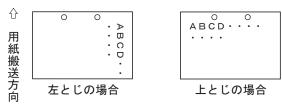
■縦長（幅<長さ）の用紙の場合

縦方向印刷

横方向印刷

■横長（幅>長さ）の用紙の場合

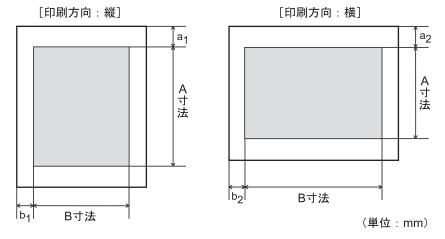
縦方向印刷

横方向印刷

とじ穴のある A4 サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

POINT

- 用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプか、『ソフトウェアガイド』の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

（単位：mm）

Printia XL ドライバ使用時

a1=a2=5 ㎜、b1=b2=5 ㎜

表：印刷可能領域（Printia XL ドライバ使用時）

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

ESC/P モード使用時

a1=a2=8.5 ㎜または 22 ㎜（はがき：10 ㎜）、b1=b2=5 ㎜

表：印刷可能領域（ESC/P モード使用時）

用紙方向	用紙サイズ		A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	8.5 ㎜時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22 ㎜時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	8.5 ㎜時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22 ㎜時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

7 アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後5年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障時は下記にご連絡ください。
  ハードウェア修理相談センター
  通話料無料：0120-422-297
  受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）
- 本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または弊社の担当営業／ SE にお問い合わせください。なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。
回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。
当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

- エコ受付センター
  通話料無料：0120-300-693
  平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
- プリンタ消耗品無償回収サービス
  http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/solution/eco/recovery/

ご協力をお願いいたします。

修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

1 **オペレータパネルから設定の一覧を印刷し、設定を復元するときに必要となる情報を控えます。**

詳しくは「設定の一覧印刷」（→ P.121）をご覧ください。

2 **両面ユニット、拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、取り外します。**

詳しくは両面ユニットの「取り外し」（→ P.52）、および拡張給紙ユニットの「取り外し」（→ P.59）をご覧ください。

3 **「梱包して運搬する」（→ P.102）の手順に従って、本製品の梱包を行います。**

本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

本マニュアルで紹介している URL について

本マニュアルで紹介している URL は、以下のとおりです。

- 富士通製品情報
  http://www.fmworld.net/biz/
- 富士通コワーコお客様総合センター
  http://jp.fujitsu.com/group/coworco/
- プリンタ消耗品無償回収サービス
  http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/solution/eco/recovery/
- 保守サービスについて
  http://segroup.fujitsu.com/fs/products/
- 本製品の廃棄について
  http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html

索引

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行